

各部の名前とはたらき	14
充電する	17
現在地を表示する	20
基本操作のしかた	23
地図の見かたと操作	28
自宅を登録／変更する	36
行き先・経由地を決めて出発する	38
自宅に帰る	42

ナビゲーションのいろいろな操作	43
-----------------	----

編集・設定をする	85
----------	----

アプリケーション機能を楽しむ	101
----------------	-----

パソコンやブルーレイディスクレコーダーと接続して使う	125
----------------------------	-----

その他	133
-----	-----

困ったときは	175
--------	-----

索引・付録	185
-------	-----

SONY®

SONY

パーソナルナビゲーションシステム

パーソナルナビゲーションシステム

取扱説明書

nav-u


PetaMap
ベタマップ
NV-U97VT
NV-U97V

©2011 Sony Corporation

nav-u™本体の取り扱いなどに関するお問い合わせ先

■ 困ったときは

- ・“nav-u” 関連のサポートページ（下記 URL）でお調べください。最新サポート情報や「よくあるお問い合わせ（Q&A）」などを掲載しています。
http://www.sony.jp/support/nav-u/
- ・お使いの携帯電話で下記の2次元コードを読み取り「かんたん操作ガイド」でお調べください。詳しくは、「かんたん操作ガイドのご案内」（11ページ）をご覧ください。

2次元コード



http://www.sony.net/helpguide/r/nav-u/nvu97/

■ お問い合わせの前に

お使いの“nav-u”の機種名をご確認ください。機種名は、“nav-u”本体背面の機銘板に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS一部のIP電話 ……………0466-31-2531
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「307」+「#」
 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

地図・検索データの内容についてのお問い合わせ先

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター


0120-210-616
株式会社ゼンリン

受付時間 10:00～17:00月～金（祝日・ゼンリン指定休日は除く）

※携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

Printed in China

**警告****安全のために**

163 ~ 169ページも必ずお読みください。

お買上げいただきありがとうございます。

本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**本書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本書で使用しているイラストは、実際の製品とは外観が異なる場合があります。

本機はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより、人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

本書および別冊の説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 運転中に画面を注視しない。
運転中にナビゲーションシステムの画面を凝視することは法律により制限されています。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ・ 案内音声が出たとき、急な運転操作を行わない。
- ・ ナビゲーションでのルート案内時も、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

警告表示の意味

本書および別冊の説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

定期的に点検する

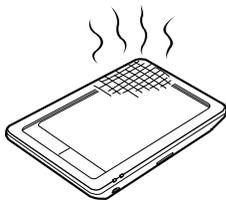
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を停める。
- ② 電源を切る。
- ③ シガー電源コードを接続している場合は、シガーライターソケットから抜く。
ACアダプターを接続している場合は、コンセントから抜く。
- ④ お買い上げ店またはソニーの相談窓口へ修理を依頼する。



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

目次

安全のために	2
重要なご注意	7
かんたん操作ガイドのご案内	11
「かんたん操作ガイド」の使いかた	11

基本編(ここだけ読んで使えます)

各部の名前とはたらき	14
充電する	17
シガー電源コードで充電する	17
ACアダプターで充電する	18
USBケーブルで充電する	19
現在地を表示する	20
現在地を表示する	20
時刻の調整	22
デモンストレーションを停止する	22
基本操作のしかた	23
トップメニューの操作	23
ナビモードを切り替える	25
文字入力	26
地図の見かたと操作	28
地図を動かす／スクロール	30
地図の縮尺を変更する	32
常に地図を北上にする／ 進行方向を上にする	33
2Dマップ／3Dマップに変更する	34
地図を2画面で表示する	35
地図上の地点の情報を見る	35
自宅を登録／変更する	36
自宅を登録する	36
自宅を変更する	37
行き先・経由地を決めて出発する	38
自宅に戻る	42

ナビゲーションのいろいろな操作

メニュー画面の見かた	44
行き先・経由地を決めて出発する (「行き先」メニュー)	45
「住所」で探す	45
「電話番号」で探す	46
「ガイドブック」で探す	48
「ジャンル」で探す	49
「名称」で探す	51
「マーク」で探す	53
「緯度経度」で探す	54
「履歴」で探す	55
保存したルートを使って探す	57
日時を指定してルートを探索する	57
近くの施設を探して出発する (「最寄検索」メニュー)	58
「ジャンル」で探す	58
「名称」で探す	59
「ガイドブック」で探す	60
「かんたん最寄」で探す	61
検索範囲を変更する	63
よく行く場所へ出発する (「自宅/お気に入り」メニュー)	63
お気に入りを登録する	63
お気に入りの場所へ出発する	64
ルートを確認する	64
ルートの概要を確認する	64
ルートをシミュレーションする	65
ツールバー	65
 (ワンセグ) /  (ビデオ) /  (音楽)	66
「表示切替」	66
「ナビ」	69
「最寄」	70
「行き先」 / 「ルート確認」	70
 (音量)	70

徒歩モード	71
こんなことができます.....	71
徒歩モードでお使いになる前にお読み ください.....	71
徒歩モードを開始する.....	72
ルートを探索する.....	74
徒歩モードから他のモードに 切り替える.....	75
アウトドアモード	75
こんなことができます.....	75
アウトドアモードでお使いになる前にお読み ください.....	76
アウトドアモードを開始する.....	77
“nav-u”本体で経由地や目的地を 設定する.....	77
経由地や目的地を編集する.....	78
“nav-u”にルートや経由地をインポートして 出発する.....	78
アウトドアモードから他のモードに 切り替える.....	79
アウトドア地図	80
こんなことができます.....	80
アウトドア地図を使う.....	80
アウトドア地図をダウンロードする.....	80
アウトドア地図を表示する.....	80
アウトドア地図を終了する.....	80
アウトドア地図の見かた.....	81
標高グラフ	81
こんなことができます.....	81
出発前にルートの標高を確認する.....	81
ルートガイド中に標高を表示する.....	82
GPSログを保存する	83
こんなことができます.....	83
GPSログを保存する.....	83

編集・設定をする

各種の編集・設定をする (編集・設定メニュー)	86
「ルートの編集」(自動車モードのみ).....	86
「ルートの編集」(アウトドアモードのみ).....	88
「マークの編集」.....	89
「施設アイコン」.....	90
「交通情報」.....	91
「自宅／お気に入り編集」(自動車モード、 徒歩モードのみ).....	91
「ナビモード切替」.....	91
「設定」.....	92

アプリケーション機能を楽しむ

ワンセグを見る／録画する	102
こんなことができます.....	102
ワンセグを見るための準備.....	102
ワンセグ視聴画面.....	102
ワンセグを見る.....	103
チャンネルを切り替える.....	104
ワンセグを録画する.....	105
録画予約を確認／変更する.....	107
録画した番組(ワンセグビデオ)を 再生する.....	110
設定を変更する(設定メニュー).....	110
ガイドブックを見る	111
こんなことができます.....	111
スポット詳細画面.....	111
ガイドブックを表示する.....	112
音楽を聞く	113
こんなことができます.....	113
音楽ファイルを転送する.....	114
音楽再生画面.....	115
音楽を再生する.....	115
設定を変更する(オプションメニュー).....	116

ビデオを見る	117
こんなことができます	117
ビデオファイルを転送する	117
ビデオ再生画面	118
ビデオを再生する	119
ビデオファイルを削除する	120
設定を変更する(オプションメニュー)	120
設定を変更する(設定メニュー)	121
写真を見る	121
こんなことができます	121
写真表示画面	123
写真を見る	123
設定を変更する(設定メニュー)	124

パソコンやブルーレイディスクレコーダーと接続して使う

パソコンと接続する	126
こんなことができます	126
準備する	128
パソコンと本機を接続する	129

ブルーレイディスクレコーダーと接続する(おでかけ転送)	131
こんなことができます	131
ブルーレイディスクレコーダーと本機を接続する	131

その他

現在地表示について	134
地図について	136
検索データについて	139
地図に表示される記号について	140
アウトドア地図について	141
VICSについて	141
VICS情報有料放送サービス契約約款(NV-U97VTのみ)	143
ガイドブックデータについて	145

ワンセグの受信について	145
“メモリスティックデュオ”について	147
ソフトウェア使用許諾契約書について	149
商標と著作権について	162
使用上のご注意とお手入れ	163
安全のために	163
内蔵電池についての安全上のご注意	168
本機の取り扱い	169
液晶画面の輝点・減点について	170
ヒューズの交換について	170
内蔵バッテリーについて	170

廃棄時のお願い	171
主な仕様	172
保証書とアフターサービス	174
保証書	174
アフターサービス	174

困ったときは

困ったときは	176
エラーメッセージ	184

索引・付録

索引	186
ジェスチャー操作一覧	190

重要なご注意

重要!

必ず下記のことを守ってください。

電源の接続について

“nav-u”本体およびクレードルに使用するシガー電源コードやACアダプターは、必ず付属品をご使用ください。

指定以外のものを使用すると、“nav-u”本体およびクレードルの対応電圧より高い電圧が加えられることにより、発煙・発火の原因となり思わぬ事故につながる場合があります。

“nav-u”本体およびクレードルの端子に車のバッテリー電源を直接接続しないでください。故障の原因となります。

シガーライターソケットの形状によっては、シガー電源コードが正しく接続できないことがあります。

本機に付属のシガー電源コード、ACアダプターは、他の機器に使用しないでください。故障の原因となります。

本機に付属のACアダプターは家庭用です。車で使用しないでください。

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

移動速度の表示について

地図画面に表示される移動速度は、GPSの測位から算出された速度です。実際の速度と異なる場合がありますので、運転中は必ず車のスピードメーターで速度を確認してください。

“nav-u”本体のフラッシュメモリーについて

下記のことを守らないと本機の機能が使えなくなります。

- “nav-u”本体のフラッシュメモリーに格納されているファイルを削除/移動したり、ファイル名を変更したりしないでください。
- “nav-u”本体のフラッシュメモリーには、決められた種類のファイル(ガイドブックなど)以外を追加しないでください。
- ガイドブックを追加する場合は、nav-uツール(PCアプリケーション)をご使用ください。

地図データのバックアップのお願い

地図データ/ガイドブックは、nav-uツール(PCアプリケーション)を使ってパソコンにバックアップしてください。誤って削除/変更してしまった“nav-u”本体の地図データ/ガイドブックをリストア(復帰)するためには、バックアップした地図データ/ガイドブックが必要です。

nav-uツール(PCアプリケーション)のインストールや使いかたについては、“nav-u”のサポートページ(下記URL)の「ソフトウェアダウンロード」でご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

データのバックアップのお願い

ソフトウェア更新時や修理時に、まれに登録済みデータが消失したり変更されたりすることがあります。これらの作業を行う前には必ず、自前で、登録済みデータをバックアップしてください。データの消失に関する補償やそれに付随する損害には、弊社は一切の責任を負いかねます。なお、“メモリスティック”などの記録媒体そのものの故障の場合にも、データの修復はできません。大切なデータは定期的にバックアップすることをおすすめします。

本機の取り扱いについて

タッチパネルにはガラスを使用しています。硬いものをぶつかけたり、手をついたり、重いものを載せたり、“nav-u”本体を落としたりするなど強い衝撃を与えると、本機が破損することがありますので、特に以下の点にご注意ください。

- 本機を車に取り付けるときは、以下の点に注意し、付属の「取付と接続」に従って正しく取り付けてください。正しく取り付けないと、走行中の振動により本機が落下することがあります。
 - 取り付ける前に、吸盤を取り付ける面(ダッシュボード)をきれいに拭く。
 - 取り付けるときは、ボタンを強く押して確実に吸盤をロックする。
 - 取り付け後は、確実に取り付けられていることを確認する。
- “nav-u”本体をクレードルに無理に取り付けしないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面を強く押さないでください。“nav-u”本体をクレードルに取り付けたり、はずしたりするときも充分注意してください。
- 市販の保護フィルムは使わないでください。タッチパネルが正しく動作しないことがあります。
- 雨または湿気にさらさないでください。
- 接続端子には金属や異物などが触れないように注意してください。接続端子がショートして故障の原因になったり、接触不良により本機が正しく動作しないことがあります。
- “メモリスティックデュオ”スロットに異物を入れないでください。
- 車から“nav-u”本体をはずした場合は、必ずホイップアンテナを収納してください。ホイップアンテナが破損することがあります。
- 磁気カードなどをクレードルに近づけないでください。クレードルに内蔵されている磁石の影響で、磁気カードなどのデータが壊れることがあります。

タッチパネル操作について

硬いものや先のとがったもので画面を操作したり、強打したりしないでください。

エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車で本機をお使いの場合

本機を使用しないときは、“nav-u”本体をクレードルからはずし、シガー電源コードを車から抜いてください。

エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車でシガー電源コードを差したままにすると、微小電力を消費し、車のバッテリーあがりの原因になります。

初めて使うときのGPSの受信について

- お買い上げ後初めて電源を入れると、GPSを受信するまでの間、現在地は品川付近に表示されます。
- GPSを受信するには本機を車に正しく取り付け、安全で見晴しの良い場所にしばらく停車してください。
- 走行中よりも停車中のほうが、より早く現在地を表示できます。
- 屋内ではGPSを受信できません。
- GPSを受信し現在地を表示するまでの間、受信の進行状況を示すアイコンとメッセージが表示されます。

長時間放置した場合

- 充電した本機を長時間使用しなかった場合、放電によって内蔵電池の残量がなくなり、電源が入らないことがあります。半年から1年ごとに充電をするようにしてください。
- 本機を使わずに長時間放置した場合、シガー電源コード(付属)またはACアダプター(付属)を接続した状態でI/Oボタンを押しても電源が入らないことがあります。このような場合は、リセットボタンを押してからI/Oボタンを押してください。
- 本機を使わずに長時間放置した場合、本機の内蔵電池の残量が少ないと、USBケーブルでパソコンと接続しても電源が入らないことがあります。そのような場合は充電ランプが赤色に点灯していることを確認し、パソコンに接続したままお待ちください。

高温／低温時の充電について

直射日光の強いところや炎天下の車内などで本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電されないことがあります。そのため、内蔵電池での使用時間が短くなる場合があります。高温／低温の場所を避けて充電をしてください。

システム初期化について

- ・「システム初期化」をタッチした場合は、システム初期化が完了するまで(90秒以上)お待ちください。
- ・システム初期化を行う場合は、必ずACアダプター(付属)かシガー電源コード(付属)を使ってください。途中で電源が切れると、本機のデータやシステムが破壊されて起動しなくなることがあります。
- ・システム初期化中に「nav-u」本体のI/Oボタンを押したり、リセットボタンを押さないでください。本機のデータやシステムが破壊されて起動しなくなることがあります。

本機をご家庭でご使用になる場合

- ・ACアダプター(付属)は、すぐに手が届くコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ・ACアダプター(付属)は本棚や組込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- ・ACアダプター(付属)に水をかけたり、ぬらさないようにしてください。
- ・コード類につまずいたり、コード類が他のものにはさまったりしないようにしてください。
- ・外部ワンセグアンテナ端子に家庭用のTVアンテナ端子を接続しないでください。故障の原因となる場合があります。

本機とパソコンを接続する場合

本機に付属のUSBケーブルを使ってください。本機に付属のUSBケーブル以外を使うと、故障の原因となることがあります。

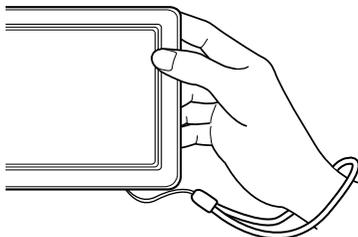
置き場所について

本機を以下のような場所に置くと、故障や変形の原因となります。

- ・濡れた場所
- ・風呂場など湿気の多い場所
- ・異常に高温 / 低温 / 多湿になる場所
- ・突起のある場所、異物の上
- ・ほこりの多い場所

徒歩モード、アウトドアモードでご使用になる場合

- ・徒歩モード、アウトドアモードでお使いの場合は、市販のハンドストラップを必ず本機に取り付け、ハンドストラップを手首にかけてお使いください。



- ・歩きながら本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所で立ち止まって行ってください。
- ・徒歩モード用のルートは、徒歩では通行できない場合や、遠回りの場合があります。実際の道路状況や交通規制標識、道路表示などに従って歩行してください。
- ・安全のため歩行中はヘッドホンを使用しないでください。

本機にハンドストラップを取り付けた場合

本機にハンドストラップを取り付けた状態であっても、ハンドストラップを持ち本機を振り回すなど、本機およびハンドストラップに過度の力を加えないでください。本機の故障の原因となるだけでなく、ハンドストラップが切れるなどし、周囲の人を傷つけたり、他の物に損傷を与える可能性があります。

アウトドア地図でご使用になる場合

- ・歩きながら本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所で立ち止まって行ってください。
- ・アウトドア地図に表示される現在地は、実際と異なる場合があります。実際の地形や標識を参考にしながら、現在地を把握してください。
- ・アウトドア地図は、国土地理院2万5千分の1の地形図を利用しています。表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。また、アウトドア地図以外の地図（ゼンリン製）で表示される地図と道、建物等の表示内容が異なる場合もあります。

発熱について

- ・“nav-u”本体、クレードル、FM VICSユニット（NV-U97VTのみ）、別売アクセサリが通常よりも異常に熱くなったときは“nav-u”本体上部のI/Oボタンで電源を切り、クレードルのシガー電源コード（付属）を抜いてください。
次にソニーの相談窓口（裏表紙）に修理をご依頼ください。
- ・ACアダプター（付属）が通常よりも異常に熱くなったときは、ACアダプターの電源コードを抜いてください。
次にソニーの相談窓口（裏表紙）に修理をご依頼ください。

飛行機でのご使用について

飛行機の離着陸時には、機内の案内に従って電源をお切りください。

業務用車両などでのご使用について

本機を業務用車両（バス、トラック、タクシー、商用車など）や緊急用車両などで使用した場合の保証はできません。

到着予想時刻／出発予想時刻について

本機でルート探索したときに表示される到着予想時刻／出発予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。実際の交通状況により、表示／指定した日時に到着できない場合があります。

著作権について

本機に搭載されているコンテンツは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

かんたん操作ガイドのご案内

お使いの携帯電話で本機の操作方法をご確認いただけます。

「かんたん操作ガイド」の使いかた

1 2次元コードに対応したカメラ付き携帯電話で右にある2次元コードを読み取る。

「かんたん操作ガイド」のURLが表示されます。
(直接URLを入力してもお使いいただけます。)

2次元コード



<http://www.sony.net/helpguide/r/nav-u/nvu97/>

2 表示されたURL情報をクリックする。

「かんたん操作ガイド」が表示されます。

ちょっと一言

表示されたページを携帯電話の「お気に入り」または「ブックマーク」に登録しておくと、おでかけ先ですぐに使用して便利です。

ご注意

- ・携帯電話の操作は安全な場所に停車して行ってください。
- ・携帯電話の操作方法について詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・「かんたん操作ガイド」の使用は無料ですが、パケット通信料が別途かかります。
- ・本サービスは、予告なく変更・一時停止・終了することがありますがご了承ください。
詳しくは「かんたん操作ガイド」の「はじめにお読みください」をご覧ください。

2次元コードは下記からもご確認いただけます。

“nav-u”本体の画面

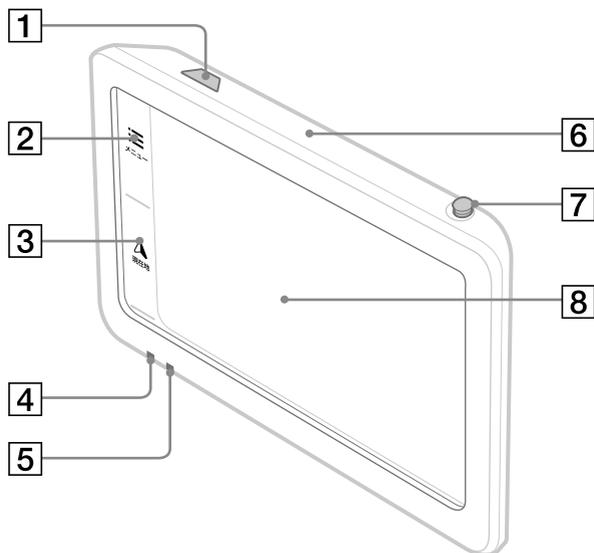
以下の手順で表示できます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [設定] タブをタッチする。
- 3 「設定」をタッチする。
- 4 「本機の使い方」をタッチする。
画面に2次元コードが表示されます。

基本編(ここだけ読んでも使えます)

各部の名前とはたらき	14
充電する	17
現在地を表示する	20
基本操作のしかた	23
地図の見かたと操作	28
自宅を登録／変更する	36
行き先・経由地を決めて出発する	38
自宅に戻る	42

各部の名前とはたらき



1 I/O(パワーオン/スタンバイ)ボタン

本機の電源を入/切します。

オートディマーセンサー

周囲の明るさを検知し、自動的に画面の明るさを調整します。

2 メニューボタン

メニュー画面を表示します。

3 現在地ボタン

現在地の地図を表示します。

ルートガイド中に現在地を表示しているとき、タッチすると、再度音声案内します。

4 充電ランプ

充電時に以下の色で点灯します。

- ・ 赤色: 充電中
- ・ 緑色: 充電完了

充電にはシガー電源コード(付属)またはACアダプター(付属)、USBケーブル(付属)をお使いください。

ちょっと一言

充電について詳しくは、17ページをご覧ください。

ご注意

直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電しなくなることがあります。

- ・ 温度が上昇して充電できない場合、充電ランプが点灯しません。
- ・ 温度が低下して充電できない場合、赤色の充電ランプが点灯しますが充電されていません。

5 録画ランプ

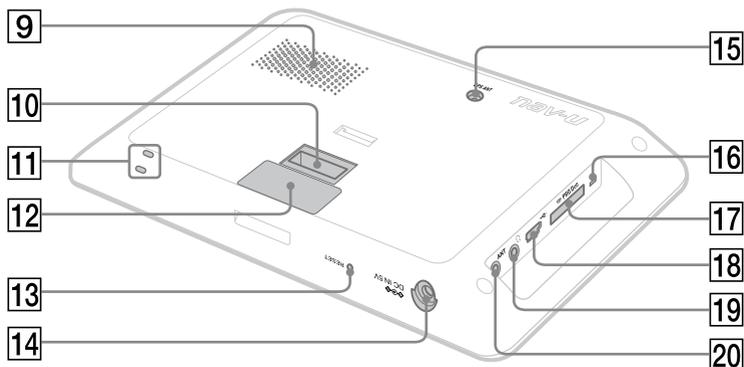
録画中、赤色に点灯します。

6 内蔵GPSアンテナ

7 ホイップアンテナ

ワンセグ受信用のアンテナです。

ワンセグを視聴するときに伸ばしきり、受信状況が良くなるよう角度を調節します。

**8** タッチパネル**9** スピーカー**10** クレードル接続端子**11** ハンドストラップ穴**12** 機銘板

機種名やシリアル番号などの記載があります。

13 リセットボタン

つまようじの先などで押して本機をリセットします。

ちょっと一言

本機をリセットしても、自宅、お気に入り、マーク、編集・設定メニューでの設定項目は保持されます。最後に設定したルートは保存されません。

14 DC IN 5V端子

ACアダプター(付属)を接続します。

15 外部GPSアンテナ端子

外部GPSアンテナ(別売)を接続します。接続すると、外部GPSアンテナに切り替わります。

16 “メモリースティック”アクセスランプ**17** “メモリースティックデュオ”スロット

“メモリースティックデュオ”(別売)を挿入します。

18 USB端子

USBケーブル(付属)を使って、パソコンと接続します。USB出力電源(別売)を接続することもできます。

詳しくは、「USBケーブルで充電する」(19ページ)、「パソコンと接続する」(126ページ)をご覧ください。

USB出力電源について詳しくは、“nav-u”関連のホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/nav-u/>

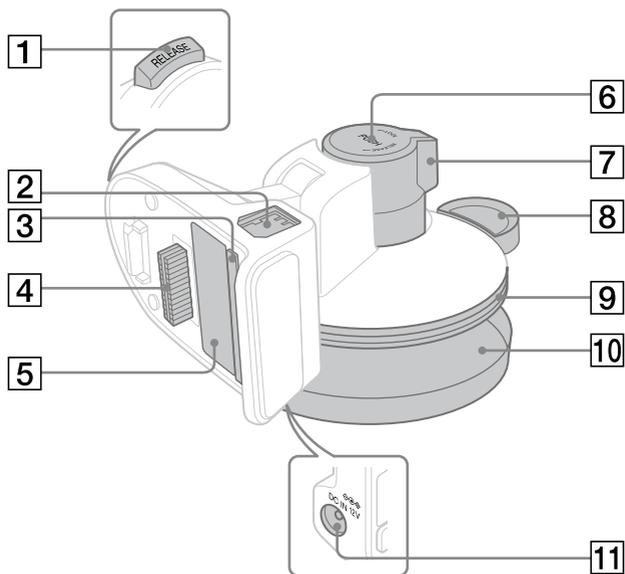
19 ヘッドホンジャック

ステレオヘッドホンを接続します。ヘッドホンをつなぐと、“nav-u”本体のスピーカーから音は出ません。

20 外部ワンセグアンテナ端子

外部ワンセグアンテナ(別売)を接続します。接続すると、外部ワンセグアンテナに切り替わります。

クレードル



① RELEASEボタン

クレードルから“nav-u”本体を取りはずすときに押します。

② VICS端子

VICS接続ケーブル(NV-U97VT、別売のVICSビーユニットに付属)を接続します。

③ 本体検知部

“nav-u”本体をクレードルに取り付けたとき、磁石で本体とクレードルの取り付け状態を判別します。

④ “nav-u”接続端子

⑤ 機銘板

機種名やシリアル番号などの記載があります。

⑥ 吸盤PUSHボタン

強く押して吸盤をダッシュボードに吸着させます。

⑦ 吸盤LOCK/RELEASEレバー

吸着させた吸盤を固定／ゆるめます。

⑧ タブ

上に引き、ダッシュボードからクレードルをはずします。

⑨ 吸盤

⑩ 吸盤保護カバー

ご購入時は、吸盤保護カバーが吸盤に取り付けられた状態になっています。

⑪ DC IN 12V端子

シガー電源コード(付属)を接続します。

充電する

車内では、付属のシガー電源コードを使って充電できます。

屋内では、ACアダプター(付属)またはUSBケーブル(付属)を使って充電してください。

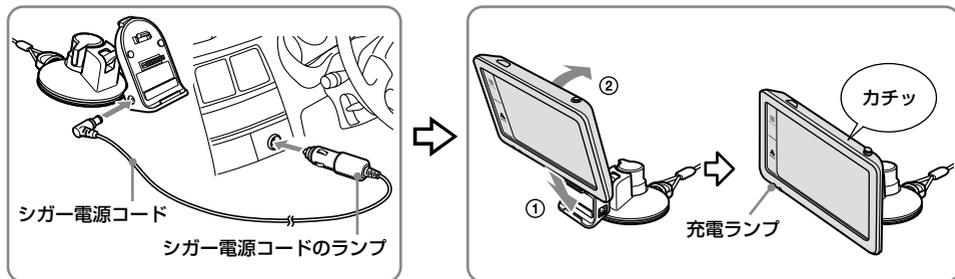
充電時間などについて詳しくは、「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- “nav-u”の電源を切った状態で充電を開始すると、短時間で充電できます。
- 本機に付属のACアダプターは家庭用です。車で使用しないでください。

シガー電源コードで充電する

シガー電源コード(付属)を接続し、“nav-u”本体をクレードルに取り付けます。エンジンをかけると充電ランプが点灯し、充電が開始されます。接続や取り付けかたについて詳しくは、別紙「取付と接続」をご覧ください。



ちょっと一言

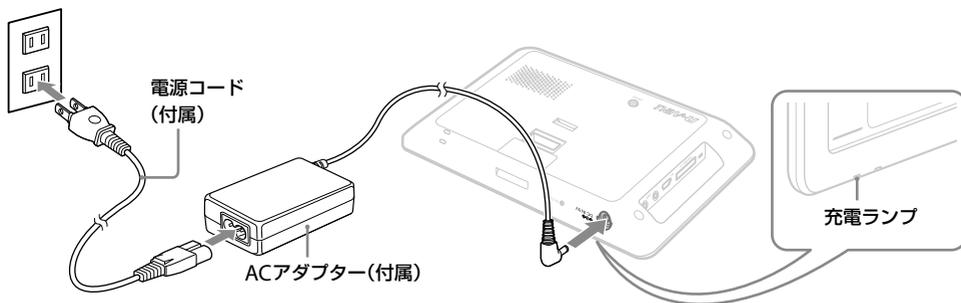
- 本機は充電中も使用できます。
- シガー電源コードがシガーソケットに正しく接続されると、エンジンをかけたときにシガー電源コードのランプが緑色に点灯します。

ご注意

本機を使用しないときは、“nav-u”本体をクレードルからはずし、シガー電源コードを車から抜いてください。エンジンを切ってもシガーソケットの電源が切れない車でシガー電源コードを差したままにすると、微小電力を消費し、車のバッテリーあがりの原因になります。

ACアダプターで充電する

ACアダプター(付属)と電源コードを接続します。
充電ランプが点灯し、充電が開始されます。



ちょっと一言

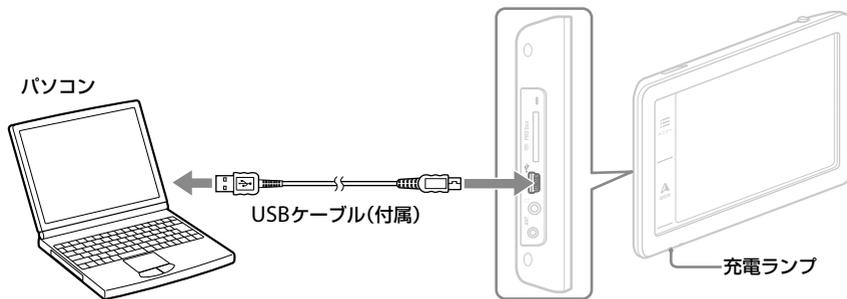
- 本機は充電中も使用できます。
- "nav-u"の電源を切ると、電源を入れた状態よりも短時間で充電できます。

USBケーブルで充電する

パソコンの電源を入れた状態で、USBケーブル(付属)を接続します。

充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

USBケーブルを使用して充電しているときは、本機を使用することはできません。



ご注意

本機の内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らないことがあります。そのような場合は、充電ランプが赤色に点灯していることを確認し、パソコンに接続したままお待ちください。

ちょっと一言

- パソコンの電源を入れた状態で接続してください。パソコンがスタンバイ状態のときは充電されません。
- "nav-u"の電源を切ると、電源を入れた状態よりも短時間で充電できます。
- USBケーブルで"nav-u"とパソコン、USB出力電源(別売)を接続すると、本機の画面に「ナビゲーションを起動」と表示されますが、充電する場合はタッチしないでください。タッチすると"nav-u"に地図が表示され、充電されなくなります。そのまま使い続けると"nav-u"の内蔵電池が空になり、電源が切れることがあります。再度充電を開始したい場合は、USBケーブルをいったん抜いてから接続しなおしてください。

現在地を表示する

現在地を表示する

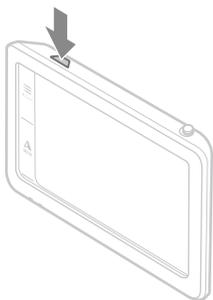
- 1** 周りに高い建物や木がない場所に停車する。
屋内や高架下などではGPSを受信できないため、現在地を表示できません。

ちょっと一言

走行中よりも停車中のほうが、より早く現在地を表示できます。

- 2** I/Oボタンを押す。

本機の電源が入り、GPSの受信を開始します。



ちょっと一言

最初に電源を入れたときやリセットしたときなどに、品川付近が表示されますが、GPSの受信が完了すると現在地の表示に変わります。

ご注意

本機を初めてお使いになる場合、内蔵電池の残量が充分でなく、電源が入らないことがあります。このような場合は、充電してからお使いください。充電方法について詳しくは、「充電する」(17ページ)をご覧ください。

3 GPSの受信が完了するのを待つ。

GPSの受信が完了すると現在地のアイコン  が赤に変わり、現在地が表示されます。

GPSの受信状況により、現在地のアイコンの色が変わります。

赤色:GPSを受信し、現在地を表示している場合

オレンジ:GPSは受信していないが、現在地を推測して表示している場合(高架下やトンネル内など)

グレー:GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

ちょっと一言

- GPSについて詳しくは、「現在地表示について」(134ページ)をご覧ください。
- 以下の条件を満たす場合、地図画面にGPSの受信状況が表示されます。
 - 電源を入れてからGPSを受信するまでの間
 - 地図をスクロールさせていない場合
 地図のスクロールについて詳しくは、「地図を動かす—スクロール」(30ページ)をご覧ください。
- また、GPS受信確認画面で「測位情報」をタッチすると測位情報画面が表示されます。測位情報について詳しくは、「受信状況を確認するには」(21ページ)をご覧ください。
- GPSの受信状況の表示を、アイコン/メッセージ表示に切り替えることができます。GPSの受信状況の表示は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[GPS受信確認](94ページ)で変更できます。
- GPS衛星からの電波を受信したり、ワンセグを受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。手動では時刻調整できません。

ご注意

以下のような場合には、現在地が表示されるまでに時間がかかることがあります。

- はじめてお使いになる場合
- リセットボタンを押した場合
- 空になった内蔵電池を充電して電源を入れた場合
- 電源を切った状態で3時間以上おいて、再度電源を入れた場合

受信状況を確認するには

GPSの受信状況は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→「測位情報」(94ページ)で確認できます。



GPSの受信状況(現在地の測定には、目安として黄色とオレンジの受信が合わせて4個以上必要です)

現在地の表示に画面を戻すには

現在地ボタンをタッチします。

ご注意

現在地を表示するには、GPS衛星を受信している必要があります。

電源を切るには

I/⏻ボタンを押します。

時刻の調整

GPS衛星からの電波を受信したり、ワンセグを受信すると、正しい時刻に調整されます。
手動では時刻調整できません。

デモンストレーションを停止する

停車しているときやACアダプターで使用中に一定時間何も操作をしないと、自動でデモンストレーションが開始されます。

画面をタッチするとデモンストレーションは一時的に停止します。

デモンストレーションを自動で開始させないためには

メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[デモンストレーション]→[オートデモスタート]を「OFF」にします(94ページ)。

ちょっと一言

しばらく走行すると「オートデモスタート」の設定が自動的に「OFF」に変わります。

基本操作のしかた

本機の操作は、タッチパネルで行います。
タッチパネルを指先でタッチしてください。

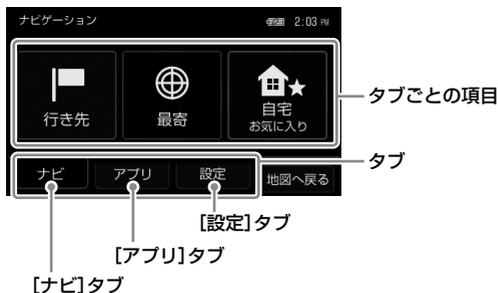
ご注意

タッチパネルは指で強く押ししたり、ペンやつめ、つまようじなどの先の鋭いもので触れないでください。タッチパネルの故障の原因になったり、正しく動作しないことがあります。

トップメニューの操作

使いたいメニュー項目を表示するには、次のように操作します。

- 1 **メニューボタンをタッチする。**
メニュー画面が表示されます。
- 2 **タブをタッチし、使いたい項目を表示させる。**



- 3 **使いたい項目をタッチする。**

ちょっと一言

項目について詳しくは、「ナビゲーションのいろいろな操作」(43ページ)をご覧ください。

操作の途中で地図画面に戻るには

メニューボタンまたは現在地ボタンをタッチします。

メニューボタンをタッチすると、最後に表示していた地図画面が表示されます。

現在地ボタンをタッチすると、現在地の地図画面が表示されます。

1ステップ前に戻るには

「戻る」をタッチします。

ツールバーについて

画面下部をタッチすると、よく使う機能をまとめたツールバーが表示されます。

ツールバーの項目をタッチするとその機能を簡単に操作できます。

表示される項目については、「ツールバー」(65ページ)をご覧ください。



ご注意

安全のため走行中は以下の操作ができません。操作は安全な場所に停車して行ってください。

- ・メニュー
- ・ツールバー → 「ナビ」 →
 - 「マーク登録」の「名称」、「よみ」、「グループ」、マークアイコン、「サウンド設定」
 - 「マーク編集」
 - 「ナビモード切替」(「nav-u」本体をクレードルからはずしている場合のみ表示されます。)

ナビモードを切り替える

本機では、自動車モードの他に、徒歩モード(71ページ)やアウトドアモード(75ページ)に切り替えることができます。

- 1 クレードルから“nav-u”本体を取りはずす。
- 2 メニューボタンをタッチする。
メニュー画面が表示されます。
- 3 [設定]タブをタッチする。
- 4 「ナビモード切替」をタッチする。
- 5 使いたいモードをタッチする。



ナビモードが切り替わります。

ちょっと一言

クレードルから“nav-u”本体を取りはずし、画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させてから、ツールバーの「ナビ」→「ナビモード切替」(69ページ)をタッチして、ナビモードを切り替えることもできます。

ご注意

ナビモードを切り替えると、ルートガイドは終了します。経由地や目的地は、メニューボタン→「行き先」→「履歴」から再度呼び出すことができます。履歴は36件まで保存されます。

文字入力

文字や数字は、施設の名称や電話番号などを入力するときに使います。機能によって、文字入力画面は異なります。ここでは代表的な文字入力画面を例に、文字入力のしかたを説明します。

名称検索画面

行き先の名称を入力するときに使用します。

名称検索画面は、メニューボタン→「行き先」→「名称」で表示されます。

携帯キー



1 文字入力領域

入力した文字を表示します。

2 携帯キー

タッチして文字を入力します。続けてタッチすると、各行の文字が順次送られ、入力されます。
(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)

ちょっと一言

- 「一」は、「わ」を繰り返しタッチすると入力できます。
- 入力した文字は、しばらくすると自動で確定されます。確定するまでの時間は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「入力文字の自動確定」(93ページ)で変更することもできます。

50音キー

絞込み検索の場合



3 50音キー

タッチして文字を入力します。絞込み検索の場合、タッチできない文字はグレー表示されます。

4 ◀/▶

文字入力領域のカーソル位置を変更します。

5 名称検索／検索

文字入力後、検索を実行します。

6 該当数

絞込み検索の候補数が表示されます。

7 すべて表示

絞込み検索の候補をすべて表示します。

8 削除 / [X] (削除)

文字を削除します。

9 50音キー／携帯キー

50音キーと携帯キーを切り替えます。

10 キーワード／絞込み検索

50音キーの検索方法をキーワード／絞込み検索に切り替えます。

11 戻る

文字入力を中止して、前の画面に戻ります。

キーワードの場合



ちょっと一言

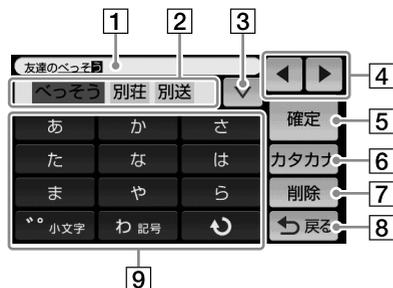
文字の入力方法は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[キーボードの切替](93ページ)で変更することもできます。

名称設定画面

マークや保存ルートなどの名称を編集するときや、ルート探索でガイドブックの検索ワードを入力するときに表示します。

例:マークの名称設定画面

メニューボタン→[設定]タブ→[マークの編集]→[マーク編集]→(編集するマークグループを選択)→(編集するマークを選択)→[名称]で表示されます。



① 文字入力領域

入力した文字を表示します。

② 変換候補表示領域

入力した文字の変換候補を表示します。タッチすると、その候補を採用します。

③ ▽

更に多くの変換候補が表示されます。

④ ◀/▶

文字入力領域のカーソル位置を変更します。

⑤ 確定

文字を確定します。

⑥ ひらがな、カタカナ、ABC、123

入力する文字の種類を切り替えます。

⑦ 削除

文字を削除します。

⑧ 戻る

文字入力を中止して、前の画面に戻ります。

⑨ 携帯キー

タッチして文字を入力します。続けてタッチすると、各行の文字が順次送られ、入力されます。

(例:[あ]→[い]→[う]→[え]→[お])

ちょっと一言

- ・「.」、「.」、「.」、「!」などの記号は、「わ」を繰り返しタッチすると入力できます。
- ・入力した文字は、しばらくすると自動で確定されます。確定するまでの時間は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[入力文字の自動確定](93ページ)で変更することもできます。

地図の見かたと操作

地図画面を表示するには、現在地ボタンをタッチします。



1 現在時刻

現在時刻を表示します。

2 目的地／次の経由地までの距離と到着予想時刻

ルートガイド時に、目的地または次の経由地までの距離と到着予想時刻が表示されます。タッチすると、目的地と次の経由地が切り替わります。目的地は赤い旗で、経由地は黄色い旗で表示されます。

3 内蔵電池の状態

: 残量表示(内蔵電池で動作している場合に表示します。)

: 充電可能温度ではないため充電できない場合

: 高温のため放電している場合

4 経由地方向／目的地方向

ルートガイド時に、次の経由地または目的地の方向を示します。

5 現在地

GPSの受信状況により色が変わります。

赤色:GPSを受信し、現在地を表示している場合

オレンジ:GPSは受信していないが、現在地を推測して表示している場合(高架下やトンネル内など)

グレー:GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

6 方位(33ページ)

地図の向きを変更します。

アイコンをタッチすると地図の向きを切り替えることができます。地図の向きは方位アイコンで確認できます。

: 常に北が上

: 進行方向が上

7 縮尺(32ページ)

地図の縮尺を変更します。

8 VICS情報

NV-U97VTに付属のFM VICSユニット、または別売のVICSビーコンユニットを接続し、VICS情報を受信したときに表示されます。ルート上に渋滞があるときは赤く表示されます。

別売のVICSビーコンユニットについては「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

ご注意

VICSユニットをお使いの場合は、必ずシガー電源を接続してください。

9 車線案内

次の交差点の車線情報を表示します。ルートガイド時には、走行レーンを黄色で表示します。

10 ガイド情報と距離

ルートガイド時に、次のガイド地点での曲がる方向と、その地点までの距離を表示します。

11 移動速度と高度

GPSの測位から算出された運転中／歩行中の移動速度と高度が表示されます。

ご注意

- 移動速度は、実際の速度と異なる場合があります。運転中は必ず車のスピードメーターで速度を確認してください。
- 高架下やトンネル内など、GPSの受信状況が悪い場所では、移動速度が「---km/h」と表示されることがあります。
- 高架下やトンネル内など、GPSの受信状況が悪い場所では、高度が「---m」と表示されることがあります。
- 高度は実際の高度と異なる場合があります。

12 住所/道路名称表示、ツールバー

住所/道路名称表示とツールバーを切り替えて表示します。

住所/道路名称表示の部分をタッチすると、ツールバーに切り替わります。ツールバーはしばらくすると、住所/道路名称表示に戻ります。

ちょっと一言

ツールバーを常に表示させたり、一定時間操作しなかった場合にツールバーを自動で隠すなどの設定ができます。

ツールバーの表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[ツールバー表示(地図)](93ページ)で変更できます。

住所/道路名称表示

現在地付近の住所、道路名称を表示します。

ツールバー

表示されている以下の項目(13～18)をタッチすると、その機能を使えます。

13 ワンセグ／ビデオ／音楽(66ページ)

ワンセグまたはビデオ、音楽を起動／終了します。

14 表示切替(66ページ)

画面の表示を切り替えます。

15 ナビ(69ページ)

ナビメニューを表示します。

16 最寄(58ページ)

ドライブ中、最寄の施設(ガソリンスタンドなど)を探せます。

17 行き先／ルート確認(70ページ)

目的地の設定や現在のルートを確認できません。

18 音量(70ページ)

音量を調整します。

地図を動かす—スクロール

スクロールには以下の2種類があります。

- ・ 指の動きに合わせて地図が動く。
地図を細かく動かす場合にお使いください。
- ・ 指をずらした方向に地図が動き続ける。
地図を遠くまで動かす場合にお使いください。

指の動きに合わせて地図を動かす

1 地図をタッチする。



十字カーソル

タッチした位置が地図画面の中心になり、十字カーソルが表示されます。

2 指をずらす。

十字カーソルが表示された状態で、地図画面をタッチしたまま、動かしたい方向へ指をずらすと、指の動きに合わせて地図が動きます。



➡ : 指の動き

⇄ : 地図の動き

指をずらした方向に地図を大きく動かす

- 1 地図をタッチする。
- 2 円の中心をしばらくタッチする。

①が②に切り替わります。(①)

- 3 タッチしたまま指をずらす。

画面に触れたまま指をずらすと、指をずらした方向に地図が動き続けます(スクロール)。(②)



➡ : 指の動き
 ⇔ : 地図の動き

円の中心からの指の距離によってスクロール速度が3段階に変化します。

最速の状態ではズームアウトしながらスクロールします。

ちょっと一言

- ・ 3Dマップでスクロールを行おうとすると、2Dマップに切り替わります。
- ・ ズームアウトしないよう設定するには、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「地図表示」→「ズームスクロール」(98ページ)を「OFF」にします。

現在地の表示に画面を戻すには

現在地ボタンをタッチします。

地図の縮尺を変更する

地図の縮尺は「-」(広域)または「+」(詳細)をタッチすると変更できます。

1 地図画面上の「-」(広域)または「+」(詳細)をタッチする。

タッチしている間は縮尺が連続で変更されます。



広域画面



詳細画面



ちょっと一言

- 縮尺の範囲は25m～800kmです。
- ジェスチャー操作で簡単に地図の縮尺を変更できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。
- ジェスチャー操作で変更される縮尺の設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[地図表示]→[プリセットスケール](98ページ)で変更できます。
- 地図の縮尺が25m～100mの場合、市街詳細地図を表示できます。市街詳細地図を表示させる縮尺は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[地図表示]→[市街詳細地図の表示](98ページ)で変更できます。
- 自動縮尺変更を「ON」にして高速道路に入ると、前回高速道路を走行したときの地図の縮尺に自動的に変更されます。「自動縮尺変更」は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[地図表示]→[自動縮尺変更](99ページ)で変更できます。

ご注意

十字カーソルが表示されているときは、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

常に地図を北上にする / 進行方向を上にする

地図の向きを、常に北を上にするか、または進行方向を上にするか選ぶことができます。地図の向きは方位アイコンで確認できます。

 (常に北が上) または  (進行方向が上) を切り替えるには、次のように操作します。

1 (常に北が上) または (進行方向が上) をタッチする。

地図の向きが変更されます。



ちょっと一言

- 3Dマップのときに  をタッチすると、2Dマップに切り替わります。
- スクロール中に変更した地図の向きは、スクロール中のみ有効です。

2Dマップ／3Dマップに変更する

2Dマップ(地図帳のような平面地図)と3段階の3Dマップ(斜め上から見たような地図)を切り替えることができます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 [設定]タブをタッチする。



3 「設定」をタッチする。



4 「地図表示」をタッチする。

5 「2D/3Dマップ切替(全画面)」をタッチする。

6 「2D」または「3D」(3段階)をタッチする。

地図の種類が変更されます。



ちょっと一言

手順5で「2D/3Dマップ切替(2画面)」をタッチすると2画面表示時の「左画面」、「右画面」を個別に切り替えることができます。

2Dマップ



3Dマップ



地図を2画面で表示する

地図画面を1画面表示と2画面表示に切り替えることができます。

- 1 ツールバーの「表示切替」をタッチする。
- 2 「地図+地図」をタッチする。

地図上の地点の情報を見る

地図画面上のアイコンをタッチすると、タッチした地点が地図の中央に移動し、アイコンについての情報が表示されます。

情報が表示されるアイコンは次のとおりです。

- ・施設(90ページ)
- ・立体ランドマーク(98ページ)
- ・登録したマーク(98ページ)
- ・スポット(111ページ)
- ・駐車場情報*
- ・交通規制情報*
- ・サービスエリア・パーキングエリア情報*

* NV-U97VTに付属のFM VICSユニット、または別売のVICSビーコンユニット接続時のみ。
別売のVICSビーコンユニットについては、「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

自宅を登録／変更する

自宅を登録しておく、帰宅時には「自宅/お気に入り」メニューの「自宅」をタッチするだけで、自宅へのルートガイドを開始できます。(42ページ)

自宅を登録する

1 自宅に駐車した状態で、メニューボタンをタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2 「自宅 お気に入り」をタッチする。

3 「自宅登録」をタッチする。



ちょっと一言

- 自宅登録をすると、「自宅登録」が「自宅」に変更されます。「自宅」をタッチすると、自宅へのルート探索を開始します。
- 自宅を変更する場合は、画面左下の「自宅/お気に入り編集」をタッチしてから変更してください。(63ページ)

4 「はい」をタッチする。

「地点検索」メニューが表示されます。

5 地点検索の方法を選ぶ。

「地点検索」メニューの「現在地」をタッチします。

ちょっと一言

GPSを受信し、現在地が正しく表示されている必要があります。現在地の表示については「現在地を表示する」(20ページ)をご覧ください。GPSを受信できない場合は、下記のいずれかの方法で、自宅の位置を表示してください。

- 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「地図から」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」をタッチして地点検索をします。

6 自宅の位置が十字カーソルの中心にあることを確認し、「決定」をタッチする。

7 「はい」をタッチする。

自宅登録が完了し、「自宅/お気に入り」メニューの「自宅登録」が「自宅」に変更されます。

ちょっと一言

- ・自宅登録をすると、地図上の登録した場所に🏠(自宅アイコン)が表示されます。
- ・「未登録」をタッチすると、よく行く場所などを登録することができます。詳しくは、「お気に入りを登録する」(63ページ)をご覧ください。

自宅を変更する

1 メニューボタンをタッチする。

メニュー画面が表示されます。

2 「自宅 お気に入り」をタッチする。

3 「自宅／お気に入り編集」をタッチする。



4 「自宅」をタッチする。

5 「地点変更」をタッチする。

ちょっと一言

「地点削除」をタッチすると、自宅登録を削除することができます。

6 検索の方法を選び、自宅登録を変更する。

自宅登録が変更されます。

ちょっと一言

自宅の登録方法について詳しくは、「自宅を登録する」(36ページ)をご覧ください。

行き先・経由地を決めて出発する

行き先(目的地)を設定すれば、本機が適切なルートを探索し、ルートガイドを開始します。
ここでは住所から探す例で説明します。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。



3 「住所」をタッチする。



ちょっと一言

- ここでは住所から探す例で説明しています。
- 目的地は、メニューボタン→「最寄」、「自宅 お気に入り」または、メニューボタン→「行き先」→「電話番号」、「ガイドブック」、「ジャンル」、「名称」、「マーク」、「緯度経度」、「履歴」、「ルート呼出」からも選べます。詳しくは「ナビゲーションのいろいろな操作」(43ページ)をご覧ください。

4 都道府県をタッチする。

選びたい都道府県が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。



5 画面に従って住所をタッチする。



住所を最後まで指定すると、該当する場所周辺の地図が表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ちょっと一言

詳しくは、「行き先・経由地を決めて出発する(「行き先」メニュー)」(45ページ)をご覧ください。

経由地を追加するには

目的地を設定後、いろいろな検索方法で経由地を追加することができます。

それぞれの検索方法で「ここへ行く」の代わりに「経由地追加」をタッチしてください。詳しくは、下記に記載されている「経由地追加」をご覧ください。

- ・「行き先・経由地を決めて出発する(「行き先」メニュー)」(45ページ以降)
- ・「近くの施設を探して出発する(「最寄検索」メニュー)」(58ページ以降)

正しいルートが見つからないときは

以下のような場合には、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。

ルートガイドの内容が実際の交通規則と異なる場合は、必ず実際の交通規則に従ってください。

- ・以下のような場所に出発地／(経由地)／目的地を設定した場合
 - 山岳部など、近くに道路のない地域
 - 商店街の中など、細い道路しかない地域
 - 道路データ上、道が繋がっていない場合(離島など)
 - ゴルフ場など、広い場所*
 - 近くに交通規制が存在する場合

* 目的地周辺の別の場所にルートが設定される場合があります。ルートガイドを開始する前に、目的地に正しくルートが設定されているか確認してください。

- ・通常のルート探索では対象にならない細い道が、探索されたルートに含まれる場合

ルートガイド中の運転サポート機能

ルートに合わせて自動的に表示を切り替え、きめ細やかな案内で運転をサポートします。

右左折する交差点が近づくとお知らせします。音声案内のほか、曲がる方向と走行車線をわかりやすく表示します。

交差点拡大図(固定)／ON(ステップ)

交差点名がある場合は交差点名を表示

走行車線



交差点拡大図* 交差点までの距離

* 交差点によっては、下図の曲がる方向が表示される場合があります。

交差点拡大図OFF

曲がる方向

交差点までの距離



走行車線 交差点名

編集・設定メニューで交差点拡大図のON(固定)／ON(ステップ)／OFFを切り替えられます。(96ページ)

道路状況がリアルタイムでわかります。

NV-U97VTに付属のFM VICSユニット、または別売のVICSビーコンユニット(172ページ)を接続すると、渋滞などの道路状況がリアルタイムで表示されます。

ルートを自動で再探索します。

ルートから外れた場合は、自動で新しいルートを案内します。

交差点によっては…

方面看板や実際の交差点のようなリアル交差点ガイドを表示します。

交差点までの距離



方面看板

交差点までの距離



リアル交差点ガイド

注意地点が近づくとアイコンや音声でお知らせします。

走行中の状況に応じ、下記のようなアイコン表示や音声案内をします。

例：

- 踏切
- 事故多発地点、右左折専用レーン
- 合流
- 規制注意

時間帯規制やその他の情報などから進入できない可能性がある判断された地点に表示されます。規制注意アイコンが表示されている付近では充分注意して走行してください。実際に進入できない場合は、交通規則に従って走行してください。

首都高速道路や阪神高速道路などの都市高速道路の入口を拡大表示します。

入口までの距離



高速道路の入口

高速道路の走行をサポート。

高速道路の出口、サービスエリア、パーキングエリアなどの名称と距離、そこに到着するまでのおよその所要時間*を表示します。

* 区間の平均速度から算出します。

「ハイウェイ切替」をタッチすると、ハイウェイマップを「表示」、「表示(SA/PAのみ)」、「表示しない」から選ぶことができます。

また、NV-U97VTに付属のFM VICSユニット、または別売のVICSビーコンユニット(172ページ)を接続すると、その区間の混雑状況(赤:渋滞、オレンジ:混雑)を表示します。



ハイウェイマップ

高速道路の出口や分岐点を、音声と拡大表示で案内します。

出口や分岐点までの距離



高速道路の出口や分岐点

自宅に帰る

自宅を登録しておけば(36ページ)、簡単な操作で自宅へのルートガイドが開始されます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「自宅 お気に入り」をタッチする。
- 3 「自宅」をタッチする。



ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(97ページ)で変更できます。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に「自宅」へのルートガイドを開始できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。



ご注意

十字カーソルが表示されているときは、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

ナビゲーションのいろいろな操作

メニュー画面の見かた	44
行き先・経由地を決めて出発する(「行き先」メニュー)	45
近くの施設を探して出発する(「最寄検索」メニュー)	58
よく行く場所へ出発する(「自宅/お気に入り」メニュー)	63
ルートを確認する	64
ツールバー	65
徒歩モード	71
アウトドアモード	75
アウトドア地図	80
標高グラフ	81
GPSログを保存する	83

メニュー画面の見かた

メニューボタンをタッチすると、メニュー画面が表示されます。



ご注意

安全のため、走行中はメニュー操作ができません。メニュー操作は安全な場所に停車して行ってください。

行き先・経由地を決めて出発する(「行き先」メニュー)

住所や電話番号など、いろいろな方法で目的地を探したり、「ルート呼出」で事前に保存しておいたルート呼び出すことができます。また、立ち寄りしたい地点や、通りたい道路に経由地を設定すると、より希望に近いルートを探することができます。

現在地以外を出発地にするには、画面左下の「ルートの編集」をタッチして、「新規ルート作成」→「現在地」→「地点変更」で、出発地を変更してください。「ルートの編集」について詳しくは、86ページをご覧ください。

ちょっと一言

- ・徒歩モードでは現在地以外を出発地にはできません。
- ・画面上で自車マークを走行させることで設定したルートを確認することができます。詳しくは、「ルートシミュレーション」(93ページ)をご覧ください。

ご注意

出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(39ページ)をご覧ください。

「住所」で探す

都道府県や市区町村、大字、字、丁目などを選び、行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「住所」をタッチする。

4 都道府県をタッチする。

選びたい都道府県が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

ちょっと一言

郵便番号がわかる場合は、都道府県の代わりに「郵便番号」をタッチして、住所を簡単に検索することもできます。住所一覧が表示されず、該当する場所の地図が表示される場合があります。

5 画面に従って住所をタッチする。

住所を最後まで指定すると、該当する場所周辺の地図が表示されます。

ちょっと一言

- ・画面下部の「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」をタッチすると、その行の読みではじまる地名のリストが表示されます。
- ・「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の横の▽をタッチすると、「は」、「ま」、「や」、「ら」、「わ」に切り替わります。
- ・「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の同じキーを続けてタッチすると、画面表示されていない次の読みに切り替わります。
(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)
- ・住所リスト先頭の「(代表地点)」をタッチすると、都道府県／市区町村／番地単位の代表地点の地図が表示されます。
- ・「直接入力」をタッチすると、番地などの数字を直接入力することができます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「経由地追加」**:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ご注意

- 一部の地域では、番地、号などが指定できません。
- 選びたい住所がリストにない場合には、近い住所(数字)を選んでください。

「電話番号」で探す

店舗や施設などの電話番号を入力して、行き先を探せます。

個人宅の電話番号で探す場合について詳しくは、「個人宅の電話番号で探す場合」(47ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「電話番号」をタッチする。

4 数字をタッチして、電話番号を市外局番から入力する。

ちょっと一言

電話番号の入力が途中の場合でも、おおよその地点を検索することができます。

5 「電話番号検索」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

検索した施設に駐車場や出入り口の情報があの場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- 「詳細情報」:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

個人宅の電話番号で探す場合

公開されている電話帳に登録されている個人宅は、電話番号で探すことができます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「電話番号」をタッチする。

4 数字をタッチして、電話番号を市外局番から入力する。

ちょっと一言

電話番号の入力が途中の場合でも、およその地点を検索することができます。

5 「電話番号検索」をタッチする。

ご注意

検索しようとした個人宅が公開されている電話帳に登録されていない場合、名前入力画面が表示されず、検索できません。

6 個人宅の名字を入力する。

7 「名字を確認」をタッチする。

入力した電話番号と個人名が電話帳のデータと一致する場合、該当する場所の地図が表示されます。

ご注意

入力した電話番号と個人名が一致しない場合、「個人名を確認できませんでした。」のメッセージが表示されます。

8 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順8で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ご注意

- 公開されている電話帳に登録されていない電話番号は、検索できません。
- 公開されている電話帳に登録されている電話番号でも、地図に収録されていない場合は検索できません。
- 入力した電話番号によっては、施設リストが表示されることがあります。

「ガイドブック」で探す

ガイドブックに登録されている場所(スポット)を行き先として選べます。

ちょっと一言

- トラベル、グルメ、レジャーなどドライブに役立つ情報をまとめたものをガイドブックといいます。ガイドブックに収録されている場所をスポットといいます。
- ガイドブックについて詳しくは、「ガイドブックを見る」(111ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「ガイドブック」をタッチする。

4 検索条件を選ぶ。

「ブックの選択」、「ジャンルの選択」、「検索ワード」で検索の条件を選んでください。



ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称設定画面」(27ページ)をご覧ください。

5 「この条件で探す」をタッチする。

該当するスポットのリストが表示されます。

ちょっと一言

- 検索結果を並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「最寄順」をタッチしてください。
- 検索結果は最大1,000件まで表示されます。

6 行きたいスポットをタッチする。

スポット詳細画面が表示されます。

7 スポット詳細画面で「地図へ」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

8 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順8で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「経由地追加」**:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りしたい地点をルートに加えることができます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「ジャンル」で探す

食事や買い物、スポーツなど、目的(ジャンル)で行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「ジャンル」をタッチする。

4 画面に従ってジャンルをタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

ちょっと一言

ジャンルは、前回選んだものから順に表示されます。

5 画面に従って地域を選ぶ。

施設が一覧表示されます。

「絞込み」で名称や市区町村で候補を絞ることができます。

ここで「あかさたな」をタッチすると、下記のことが行えます。

- 画面下部の「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」をタッチすると、その行の読みではじまる施設名のリストが表示されます。
- 「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の横の▽をタッチすると、「は」、「ま」、「や」、「ら」、「わ」に切り替わります。
- 「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」の同じキーを続けてタッチすると、画面表示されていない次の読みに切り替わります。(例:「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」)

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

タッチした施設に駐車場や出入り口の情報がある場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

7 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順7で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探索します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「経由地追加」**:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探索します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- **「詳細情報」**:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定] タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ちょっと一言

該当件数が多い場合、検索の間「<検索中…>」と画面上部に表示されます。

「名称」で探す

携帯キーまたは50音キーで店舗や施設などの名称を入力し、行き先を探せます。

ちょっと一言

文字入力方式は、文字入力画面の「携帯キー／50音キー」をタッチする、または、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「システム設定」→「キーボードの切替」(93ページ)で変更できます。

携帯キーで探す場合

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「名称」をタッチする。

4 名称を入力する。

ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称検索画面」(26ページ)をご覧ください。

5 「名称検索」をタッチする。

該当する名称のリストが表示されます。

ちょっと一言

「絞込み」でジャンルや地域の候補を絞ることができます。

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

7 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替
わります。

手順**7**で「ここへ行く」の代わりに下記を選
ぶこともできます。

- ・「**探索条件**」:探索条件を指定してルート
を探索します。
- ・「**マーク登録**」:表示されている地点を
マークとして登録することができます。
その地点にすでにマークが登録済みの場
合は表示されません。
- ・「**経由地追加**」:一度ルート探索を行った
あと、改めて行き先を選ぶと表示されま
す。立ち寄りしたい地点をルートに加える
ことができます。
- ・「**日時指定**」:出発または到着日時を指定
してルートを探します。
- ・「**最寄検索**」:表示されている地点を中心
に、さらに最寄検索します。
- ・「**詳細情報**」:施設の住所や電話番号など
を確認できます。詳細情報がある場合に
表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地まで
のルートを確認したり、探索条件を変更できます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタ
ン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前
のルート確認」(97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着
できない場合があります。到着予想時刻は、お
よその目安としてお使いください。

ちょっと一言

- ・名称はすべて「かな」で入力します。
- ・該当する施設が表示されない場合は、別の読みかたでもお試しください。
たとえば、「A」が「えー」で表示されない場合は、「えい」でもお試しください。
- ・名称は途中まで入力しても検索できます。
- ・登録されている名称は通称と異なる場合があります。
- ・該当件数が多い場合、検索の間「<検索中…>」と画面上部に表示されます。

50音キーで探す場合

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「名称」をタッチする。

4 名称を入力する。

ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称検索画面」(26ページ)をご覧ください。

5 「すべて表示」／「検索」をタッチする。

該当する名称のリストが表示されます。

ちょっと一言

「絞り込み」でジャンルや地域の候補を絞ることができます。

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。

7 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。

一定時間操作がない場合は、画面が切り替わり
ます。

手順7で「ここへ行く」の代わりに下記を選
ぶこともできます。

- ・「**探索条件**」:探索条件を指定してルート
を探索します。
- ・「**マーク登録**」:表示されている地点を
マークとして登録することができます。
その地点にすでにマークが登録済みの場
合は表示されません。
- ・「**経由地追加**」:一度ルート探索を行った
あと、改めて行き先を選ぶと表示されま
す。立ち寄りしたい地点をルートに加える
ことができます。
- ・「**日時指定**」:出発または到着日時を指定
してルートを探します。
- ・「**最寄検索**」:表示されている地点を中心
に、さらに最寄検索します。
- ・「**詳細情報**」:施設の住所や電話番号など
を確認できます。詳細情報がある場合に
表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地まで
のルートを確認したり、探索条件を変更できます。
ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタ
ン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前
のルート確認」(97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着
できない場合があります。到着予想時刻は、おおよ
その目安としてお使いください。

ちょっと一言

- ・名称はすべて「かな」で入力します。
- ・該当する施設が表示されない場合は、別の読みかたでもお試しください。
たとえば、「A」が「えー」で表示されない場合は、「えい」でもお試しください。
- ・名称は途中まで入力しても検索できます。
- ・登録されている名称は通称と異なる場合があります。
- ・該当件数が多い場合、検索の間「<検索中…>」と画面上部に表示されます。

「マーク」で探す

登録してあるマークから行き先を選べます。
よく行く場所などをマークに登録しておく、
マークで簡単に探せるので、毎回住所や電話番号を入力する必要がありません。

ちょっと一言

- ・マークを登録するには、画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させてから、ツールバーの「ナビ」→「マーク登録」(69ページ)をタッチしてください。
- ・マークを編集するには、メニューボタン→[設定]タブ→「マークの編集」(89ページ)をタッチするか、編集したいマークを十字カーソルの中心に合わせ、ツールバーの「ナビ」→「マーク編集」(69ページ)をタッチしてください。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「マーク」をタッチする。

で注意

マークの登録が0件の場合は、「マークが登録されていません」と表示されます。

4 マークのグループをタッチする。

選びたいグループが表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

5 マークをタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

該当する場所の地図が表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探します。
- **「経由地追加」**:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「緯度経度」で探す

緯度経度を入力して、行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「緯度経度」をタッチする。

4 緯度と経度の数字をタッチして、緯度と経度を設定する。

ちょっと一言

- 入力できるのは、世界測地系と日本測地系です。「測地系」の右側のボタンをタッチすると切り替えられます。
- 入力できるのは、角度と度分秒(DMS)です。「表記」の右側のボタンをタッチすると切り替えられます。

5 「緯度経度検索」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「経由地追加」**:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りしたい地点をルートに加えることができます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

ちょっと一言

本機で扱う緯度経度は下記になります。

- “nav-u”本体:世界測地系
- マークのインポート:日本測地系
- ルートのインポート:世界測地系

「履歴」で探す

以前に設定した目的地／経由地の履歴(最大36件)から行き先を選べます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「行き先」をタッチする。

「行き先」メニューが表示されます。

3 「履歴」をタッチする。

ちょっと一言

地点履歴を並べ替えるには「並べ替え(回数)」、「並べ替え(日時)」をタッチしてください。

4 地点履歴リストの項目をタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

該当する場所の地図が表示されます。

5 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順5で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「経由地追加」**:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- **「日時指定」**:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

履歴を消去するには

1 前記の手順3で「履歴消去」をタッチする。

2 削除したい地点履歴をタッチする。

選んだ地点履歴にはチェックマークが表示されます。

もう一度タッチすると、チェックマークを解除することができます。

以下をタッチすると複数を同時に選ぶことができます。

- 「全選択」:すべての地点履歴が選ばれ、すべてにチェックマークが表示されます。
- 「クリア」:地点履歴のチェックマークをすべて解除します。

3 「消去実行」をタッチする。

確認画面が表示されます。

4 「はい」をタッチする。

選んだ地点履歴が消去されます。

保存したルートを使って探す

保存してあるルートから行き先を選べます。

ちょっと一言

ルートを保存するには、ルートガイド中に「ルート確認」→「ルート保存」をタッチし、保存先をタッチしてください(最大8件)。また、「ルートの編集」(86ページ)からも保存できます。

- 1 **メニューボタンをタッチする。**
- 2 **「行き先」をタッチする。**
「行き先」メニューが表示されます。
- 3 **「ルート呼出」をタッチする。**
- 4 **保存ルート呼出リストの項目をタッチする。**

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

- 5 **「ガイド開始」をタッチする。**

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

- 「ガイド開始」以外にも、以下の項目を選ぶことができます。
 - 「ルート名称変更」: ルート名称を変更します。
 - 「ルート編集」: ルート編集画面になります。
 - 「ルート消去」: ルートを消去します。
- ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。

ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

- 保存したルートを日時指定で探索することもできます。詳しくは「日時を指定してルートを探る」(57ページ)の「ちょっと一言」をご覧ください。

日時を指定してルートを探る

本機では、現在時刻でのルート探索の他に、出発または到着の日時を指定してルートを探ることもできます。その場合は、メニューボタン→「行き先」から目的地を設定し、ルート探索を行うときに、「ここへ行く」の代わりに画面下部の「日時指定」を選びます。

出発日時を指定してルート探索する場合

出発日時を指定した後、「探索開始」をタッチします。

到着日時を指定してルート探索する場合

「出発/到着切替」をタッチして(画面左上の表示が「到着日時」に変わります)、到着日時を指定した後、「探索開始」をタッチします。

ちょっと一言

- 交通情報(渋滞)を考慮した所要時間は、ルート探索後に計算されます。所要時間の計算中にはルート探索結果画面の日時の右側に「(更新中…)」と表示されます。計算が終わると「(更新中…)」が「渋滞考慮」に変わり、到着予想時刻が渋滞を考慮した時刻に変わります。
- ルート探索の結果は「ルート保存」で保存できますが、出発日時/到着日時は保存されません。
- 保存したルートを日時指定で探索するときは、メニューボタン→「行き先」→「ルート呼出」から使いたい保存ルートを選び、「ルート編集」→「オプション」→「日時指定」でお使いいただけます。
- ルート探索結果画面で、「ガイド開始」をタッチすると、現在時刻でルートを再探索します。
- 日時を指定したルート探索は、徒歩モードではお使いになりません。

ご注意

本機でルート探索したときに表示される到着予想時刻/出発予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。実際の交通状況により、表示/指定した日時に到着できない場合があります。

近くの施設を探して出発する 〔最寄検索〕メニュー

現在地または地図の中心(十字カーソル)から近い順に行きたい施設を探します。

ちょっと一言

現在地以外で最寄検索したい場合は、地図をスクロールするなどして十字カーソルを表示させると、その地点を中心に周辺の施設やスポットを探することができます。

ご注意

出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(39ページ)をご覧ください。

「ジャンル」で探す

食事や買い物、スポーツなど、目的(ジャンル)で行き先を探せます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「最寄」をタッチする。
「最寄検索」メニューが表示されます。
- 3 「ジャンル」をタッチする。
- 4 画面に従ってジャンルをタッチする。

選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。

ちょっと一言

ジャンルは、前回選んだものから順に表示されません。

5 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

- タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があ
る場合、駐車場や出入り口のリストが表示され
ます。
- 「名称検索」をタッチすると、検索結果を名称で
絞り込むことができます。
- 「検索範囲」をタッチすると、検索条件を変更す
ることができます。「検索範囲」はルートガイド
中のみ選べます。「検索範囲」について詳しくは、
「検索範囲を変更する」(63ページ)をご覧ください。
- 「かんたん最寄登録」をタッチすると、「かんた
ん最寄」を登録することができます。「かんた
ん最寄」について詳しくは、「かんたん最寄」で探
す」(61ページ)をご覧ください。
- 「地図表示」をタッチすると、地図画面を見なが
ら施設を選ぶことができます。前の画面に戻る
には、「リスト表示」をタッチします。

6 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順6で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- 「詳細情報」:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「案内」→「案内前のルート確認」(97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「名称」で探す

携帯キーまたは50音キーで店舗や施設などの名称を入力し、行き先を探せます。

ちょっと一言

文字入力方式は、文字入力画面の「携帯キー／50音キー」をタッチする、または、メニューボタン→「設定」タブ→「設定」→「システム設定」→「キーボードの切替」(93ページ)で変更できます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「最寄」をタッチする。

「最寄検索」メニューが表示されます。

3 「名称」をタッチする。

4 名称を入力する。

ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称検索画面」(26ページ)をご覧ください。

5 「検索」／「名称検索」をタッチする。

該当する名称のリストが表示されます。

6 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

- タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があがる場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。
- 「ジャンル」をタッチすると、検索結果をジャンルで絞り込むことができます。
- 「検索範囲」をタッチすると、検索条件を変更することができます。「検索範囲」はルートガイド中のみ選べます。「検索範囲」について詳しくは、「検索範囲を変更する」(63ページ)をご覧ください。
- 「地図表示」をタッチすると、地図画面を見ながら施設を選ぶことができます。前の画面に戻るには、「リスト表示」をタッチします。

7 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順7で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- 「詳細情報」:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「ガイドブック」で探す

ガイドブックに登録されている場所(スポット)を行き先として選べます。

ちょっと一言

- トラベル、グルメ、レジャーなどドライブに役立つ情報をまとめたものをガイドブックといいます。ガイドブックに登録されている場所をスポットといいます。
- ガイドブックについて詳しくは、「ガイドブックを見る」(111ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

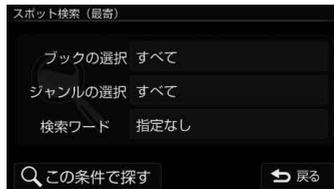
2 「最寄」をタッチする。

「最寄検索」メニューが表示されます。

3 「ガイドブック」をタッチする。

4 検索条件を選ぶ。

「ブックの選択」、「ジャンルの選択」、「検索ワード」で検索の条件を選びます。



ちょっと一言

文字の入力方法について詳しくは、「名称設定画面」(27ページ)をご覧ください。

5 「この条件で探す」をタッチする。

該当するスポットのリストが表示されます。

ちょっと一言

- 検索結果を並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「最寄順」をタッチしてください。
- 検索結果は最大100件まで表示されます。

6 行きたいスポットをタッチする。

スポット詳細画面が表示されます。

7 スポット詳細画面で「地図へ」をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

8 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順8で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「かんたん最寄」で探す

あらかじめ登録されているジャンルで行き先を探せます。

1 メニューボタンをタッチする。

2 「最寄」をタッチする。

「最寄検索」メニューが表示されます。



「かんたん最寄」

3 検索したい「かんたん最寄」をタッチする。

4 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。

ちょっと一言

- タッチした施設に駐車場や出入り口の情報があある場合、駐車場や出入り口のリストが表示されます。
- 「検索範囲」をタッチすると、検索条件を変更することができます。「検索範囲」はルートガイド中のみ選べます。「検索範囲」について詳しくは、「検索範囲を変更する」(63ページ)をご覧ください。
- 「地図表示」をタッチすると、地図画面を見ながら施設を選ぶことができます。前の画面に戻るには、「リスト表示」をタッチします。

5 目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。

ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順5で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- 「探索条件」:探索条件を指定してルートを探します。
- 「マーク登録」:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- 「経由地追加」:一度ルート探索を行ったあと、改めて行き先を選ぶと表示されます。立ち寄りたい地点をルートに加えることができます。
- 「日時指定」:出発または到着日時を指定してルートを探します。
- 「最寄検索」:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- 「詳細情報」:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更できます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ご注意

実際の交通状況によっては、指定した日時に到着できない場合があります。到着予想時刻は、おおよその目安としてお使いください。

「かんたん最寄」を変更するには

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「最寄」をタッチする。
「最寄検索」メニューが表示されます。
- 3 「かんたん最寄編集」をタッチする。
- 4 変更したい「かんたん最寄」をタッチする。
- 5 画面に従ってジャンルをタッチする。
選びたい項目が表示されていないときは、▲または▼をタッチします。
「かんたん最寄」が変更されます。

検索範囲を変更する

最寄検索の検索範囲を変更します。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「最寄」をタッチする。
「最寄検索」メニューが表示されます。



「検索範囲」

- 3 「検索範囲」を選ぶ。
最寄検索の検索範囲をタッチしてください。

- 「この地点から」*: スクロールした地図の十字カーソルの地点を中心に最寄検索します。
- 「現在地から」*: スクロールしていないときに、現在地を中心に最寄検索します。
- 「目的地方向」: 現在地を中心に、目的地の方向に最寄検索します。ルートガイド中のみ選べます。
- 「目的地周辺」: 目的地を中心に最寄検索します。ルートガイド中のみ選べます。

* 地図をスクロールしているかどうかによって、「この地点から」と「現在地から」が切り替わります。

よく行く場所へ出発する （「自宅/お気に入り」メニュー）

自宅やよく行く場所などを「自宅/お気に入り」メニューに登録しておく、「自宅/お気に入り」メニューから行き先を選べます。

ご注意

出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(39ページ)をご覧ください。

お気に入りを登録する

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 「自宅 お気に入り」をタッチする。
「自宅/お気に入り」メニューが表示されます。
- 3 「未登録」をタッチする。
- 4 「はい」をタッチする。
「地点検索」メニューが表示されます。
- 5 検索方法をタッチする。
検索方法は次の方法から選べます。
「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「自宅」、「地図から」、「現在地」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」
- 6 選んだ検索方法に従って登録したい地点を探す。
該当する場所の地図が表示されます。
- 7 登録したい地点が表示されていることを確認し、「決定」をタッチする。
お気に入りに登録されます。

ちょっと一言

お気に入りの編集方法は、「自宅／お気に入り編集」(91ページ)をご覧ください。

お気に入りの場所へ出発する

- 1 **メニューボタンをタッチする。**
- 2 **「自宅 お気に入り」をタッチする。**
「自宅／お気に入り」メニューが表示されます。
- 3 **行きたい場所をタッチする。**

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

ちょっと一言

ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。

ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に「自宅」、「★1」(お気に入り1)、「★2」(お気に入り2)へのルートガイドを開始できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

ルートを確認する

ルート探索した結果を確認できます。

ルートの概要を確認する

出発地から目的地までの道路名称、道路番号、距離など、ルート探索した結果の詳細情報を確認できます。

- 1 **画面下部の住所または道路名称をタッチする。**
ツールバーが表示されます。
- 2 **ツールバーをタッチする。**
- 3 **「ルート確認」をタッチする。**
ルート探索した結果が地図上に表示されます。
- 4 **「ルート詳細」をタッチする。**
道路名称、道路番号、距離など、ルート探索した結果の詳細情報が表示されます。

ちょっと一言

- すべての詳細情報を表示するのに、時間がかかる場合があります。
- 道路名称をタッチすると、その道路に入る場所の地図が表示されます。この地図は固定表示となり、縮尺の変更やスクロールはできません。

ルートをシミュレーションする

画面上で自車マークを走行させることで、探索したルートを確認できます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [設定]タブをタッチする。
- 3 「設定」をタッチする。
- 4 「システム設定」をタッチする。
- 5 「ルートシミュレーション」をタッチする(93ページ)。

ちょっと一言

- 出発地や経由地、目的地は、メニューボタン→[設定]タブ→[ルートの編集](86ページ)で変更してください。
- シミュレーションを中止したい場合は、メニューボタンまたはツールバーの「シミュレーション終了」をタッチしてください。
- 次の音声案内の手前までシミュレーションをスキップしたい場合は、ツールバーの  をタッチしてください。
- メニュー→「行き先」→「ルートの編集」→「ルートシミュレーション」からも確認できます。

ツールバー

画面下部の住所や道路名称をタッチするとツールバーが表示されます。

ツールバーの項目をタッチすると、目的に応じた機能を簡単に使えます。

ツールバーはしばらくすると隠れます。

ちょっと一言

ツールバーの表示方法を選ぶことができます。

メニューボタン → [設定]タブ → 「設定」 → 「システム設定」 → 「ツールバー表示(地図)」で、表示方法を選びます。

－「常時表示」: ツールバーを表示したままにします。

－「自動で隠す」*: 一定時間何も操作しない場合にツールバーを自動で隠します。画面下部をタッチすると再度表示できます。

－「住所/道路名称を優先して表示」*: 一定時間何も操作しない場合にツールバーを自動で隠し、住所と道路名称を表示します。

* 十字カーソルが表示されているときは、ツールバーが表示されます。

ご注意

- 安全のため走行中は以下の操作ができません。
 - －メニュー
 - －ツールバー → 「ナビ」 →
 - －「マーク登録」の「名称」、「よみ」、「グループ」、マークアイコン、「サウンド設定」
 - －「マーク編集」
 - －「ナビモード切替」(“nav-u”本体をクレードルからはずしている場合のみ表示されます。)
- 操作は安全な場所に停車して行ってください。

📺 (ワンセグ) / 📺 (ビデオ) / 🎵 (音楽)

ナビゲーションと同時に使用可能なアプリケーション(ワンセグ)の起動/終了を切り替えます。

前回ワンセグを使用していた場合



- **📺 起動**
ワンセグを起動します。
- **📺 終了**
ワンセグを終了し、地図画面に切り替わります。

前回ビデオを使用していた場合

- **📺 起動**
ビデオを再生します。
- **📺 終了**
ビデオの再生を終了し、地図画面に切り替わります。

前回音楽を使用していた場合

- **🎵 起動**
音楽を再生します。
- **🎵 終了**
音楽の再生を終了します。

「表示切替」

地図画面の表示や起動中のアプリケーション(ワンセグまたはビデオ、音楽)画面を切り替えます。



・アウトドア地図

アウトドア地図(国土地理院の2万5千分の1地形図)が表示されます。



ちょっと一言

- アウトドア地図を使うには、アウトドア地図をダウンロードする必要があります。
- アウトドア地図について詳しくは、「アウトドア地図」(80ページ)をご覧ください。

・情報(小)+地図

平均速度や移動距離などの計測情報と地図画面が表示されます。(画面は自動車モードの画面です。)



- ① GPSの測位から算出された移動速度が表示されます。
- ② 計測中の移動距離が表示されます。
- ③ 経過時間が表示されます。
- ④ ナビモード(自動車モード、徒歩モード、アウトドアモード)を切り替えます。
- ⑤ 情報(大)+地図の表示に切り替えます。
- ⑥ 計測をスタート/ストップします。

ちょっと一言

- ・ 情報画面をタッチすると、「速度」、「移動距離」、「経過時間」が「平均速度」、「最高速度」、「消費カロリー」に切り替わります。もう一度タッチすると、「速度」、「移動距離」、「経過時間」に切り替わります。
- ・ 計測中の下記の項目は徒歩モードとアウトドアモード共通になります。
 - 移動距離
 - 経過時間
 - 平均速度
 - 最高速度
 - 消費カロリー

・情報(大)+地図

平均速度や移動距離などの計測情報が表示されます。(画面は自動車モードの画面です。)



- ① GPSの測位から算出された移動速度が表示されます。
- ② 計測中の移動距離が表示されます。
- ③ 経過時間が表示されます。
- ④ 積算距離(ナビモードごとの総移動距離)が表示されます。
積算距離は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「積算距離初期化」(95ページ)で初期化できます。
- ⑤ 計測中の平均速度が表示されます。
- ⑥ 計測中の最高速度が表示されます。
- ⑦ 計測中の消費カロリーが表示されます。
- ⑧ ナビモード(自動車モード、徒歩モード、アウトドアモード)を切り替えます。
- ⑨ 情報(小)+地図の表示に切り替えます。
- ⑩ 移動距離、経過時間、平均速度、最高速度、消費カロリーをリセットします。
- ⑪ 計測をスタート/ストップします。

ちょっと一言

- ・ 情報画面をタッチすると、「速度」が「平均速度」に切り替わります。もう一度タッチすると、「速度」に切り替わります。

- ・計測中の下記の項目は徒歩モードとアウトドアモード共通になります。
 - 移動距離
 - 経過時間
 - 平均速度
 - 最高速度
 - 消費カロリー

消費カロリーについて

- ・消費カロリーを正しく算出するには、はじめに体重を設定する必要があります。メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「システム設定」→「カロリー計算設定」(94ページ)で体重を設定してください。
- ・消費カロリーは、次の式で算出されます。

$$\text{消費カロリー(kcal)} = 1.05 \times \text{身体活動の強さ(METs値)} \times \text{経過時間(時間)} \times \text{体重(kg)}$$

ちょっと一言

身体活動の強さを、安静時の何倍に相当するかで表す単位をMETs(メッツ)値といいます。座って安静にしている状態が1 METs、普通歩行が3 METsに相当します。

本機のナビモードのMETs値は次の通りです。

- 自動車モード:1 METs
- 徒歩モード、アウトドアモード:1 METs～18 METs(速度による)

再生画面

起動中のアプリケーション画面が表示されます。ワンセグ、ビデオまたは音楽が起動している場合に表示されます。(画面は音楽再生画面です。)



ちょっと一言

ワンセグ視聴画面について詳しくは、「ワンセグ視聴画面」(102ページ)、音楽再生画面について詳しくは、「音楽再生画面」(115ページ)、ビデオ再生画面について詳しくは、「ビデオ再生画面」(118ページ)をご覧ください。

ご注意

走行中は安全のためワンセグ、ビデオは音声のみ出力されます。映像は表示されません。

地図

地図画面が表示されます。



ちょっと一言

地図画面について詳しくは、「地図の見かたと操作」(28ページ)をご覧ください。

地図+地図

地図画面が2画面表示されます。



「ナビ」

ナビメニューが表示されます。



十字カーソルを表示しているとき

- ・案内一時停止／案内再開(自動車モードのみ)
交差点拡大図の表示や音声案内を一時的に中断／再開します。
- ・画面ロック(徒歩モード、アウトドアモードのみ)
"nav-u"本体が誤作動しないように、タッチパネルの操作を無効にします。画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。
- ・ナビモード切替
「自動車モード」、「徒歩モード」、「アウトドアモード」をタッチして、ナビモードを切り替えます。「ナビモード切替」は、「nav-u」本体をクレードルからはずすと表示されます。
- ・経由地スキップ(自動車モード、アウトドアモードのみ)
次の経由地を飛ばしてルートガイドをします。経由地を設定している場合のみ表示されます。
- ・ここへ行く
十字カーソルの中央に表示されている地点を目的地にしたルートを探します。
- ・マーク登録／マーク編集
表示されている地点をマークとして登録することができます。登録済みのマークを地図の中心に合わせて「ナビ」をタッチすると、「マーク登録」は「マーク編集」に切り替わり、マークの編集ができます。

ちょっと一言

マークは最大2,000件まで登録できます。

- ・ガイド再開／ガイド終了
ルートガイドを再開／終了します。ルートを設定している場合のみ表示されます。
- ・経由地追加(自動車モード、アウトドアモードのみ)
立ち寄りたい場所を経由地に設定して、ルートを再探索します。ルートガイド中のみ表示されます。

現在地を表示しているとき

- ・案内一時停止／案内再開(自動車モードのみ)
交差点拡大図の表示や音声案内を一時的に中断／再開します。
- ・画面ロック(徒歩モード、アウトドアモードのみ)
"nav-u"本体が誤作動しないように、タッチパネルの操作を無効にします。画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。
- ・ナビモード切替
「自動車モード」、「徒歩モード」、「アウトドアモード」をタッチして、ナビモードを切り替えます。「ナビモード切替」は、「nav-u」本体をクレードルからはずすと表示されます。
- ・経由地スキップ(自動車モード、アウトドアモードのみ)
次の経由地を飛ばしてルートガイドをします。経由地を設定している場合のみ表示されます。
- ・一般高速切替(自動車モードのみ)
一般道と高速道路が並走しているときなどに、実際に走行している道路とは異なる道路上に現在地が表示される場合があります。このような場合に、現在地を正しい道路上に表示するよう切り替えることができます。

・マーク登録／マーク編集

表示されている地点をマークとして登録することができます。

登録済みのマークを地図の中心に合わせて「ナビ」をタッチすると、「マーク登録」は「マーク編集」に切り替わり、マークの編集ができます。

ちょっと一言

マークは最大2,000件まで登録できます。

・ガイド再開／ガイド終了

ルートガイドを再開／終了します。ルートを設定している場合のみ表示されます。

「最寄」

ドライブ中、最寄の施設(ガソリンスタンドなど)を探せます。

ちょっと一言

「最寄検索」メニューについて詳しくは、「近くの施設を探して出発する(「最寄検索」メニュー)」(58ページ)をご覧ください。

「行き先」／「ルート確認」

目的地の設定や現在のルートを確認できます。

・「行き先」

住所や電話番号など、いろいろな方法で目的地を探せます。

ちょっと一言

「行き先」メニューについて詳しくは、「行き先・経由地を決めて出発する(「行き先」メニュー)」(45ページ)をご覧ください。

・「ルート確認」

現在のルートを確認できます。ルートガイド中のみ表示されます。

ルート確認画面では下記の操作ができます。

- ・「探索条件」:現在のルートの探索条件を変更できます。(自動車モード、徒歩モードのみ)(96ページ)
- ・「ルート保存」:現在のルートを保存します。(自動車モードのみ)(57ページ)
- ・「目的地表示」:目的地の周辺を表示します。
- ・「ルート詳細」:道路情報などを表示します。
- ・「標高グラフ」:全ルートの標高グラフを表示します。(自動車モードのみ)(81ページ)

🔊 (音量)

🔊 / 🔊 で音量を調整できます。

調整後、音量調整表示は自動的に消えますが、

🔊 をタッチして消すこともできます。

ワンセグまたはビデオ、音楽を起動している場合は、これらの音量も調整できます。



徒歩モード

こんなことができます

車を降りた後、車の通れない場所でも現在地を表示します。

徒歩モード専用の地図データがある地域では、徒歩に適したルートを設定できます。

ルートから外れた場合は、自動で新しいルートを再探索します。

ご注意

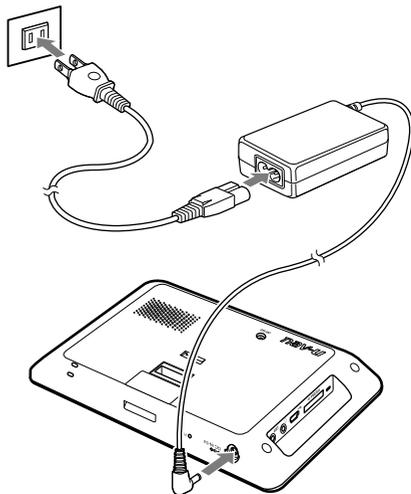
- ・建物の中や地下の駐車場などでは、GPS衛星を受信できないため、現在地は表示されません。
- ・車でナビゲーションを使用する場合は、ナビモードを自動車モードに切り替えてください。
- ・徒歩モード中は以下の操作ができません。
 - ルート編集
 - 保存ルート呼出
 - ルートシミュレーション
 - 経由地の追加
- ・徒歩モードには、交差点拡大図などの運転サポート機能はありません。運転サポート機能について詳しくは、「ルートガイド中の運転サポート機能」(40ページ)をご覧ください。
- ・徒歩モードでは、「省電力モード(画面オフ)」が「スーパースタミナ(画面オフ)」になっています。そのため、一定時間操作をしないと画面が暗くなります。「省電力モード(画面オフ)」の設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[省電力モード(画面オフ)]→[徒歩](92ページ)で変更できます。

徒歩モードでお使いになる前にお読みください

本機を徒歩モードでお使いになる場合は、以下の準備をしてください。

1 付属のACアダプターで“nav-u”を充電する。

お使いになる前に満充電にしてください。

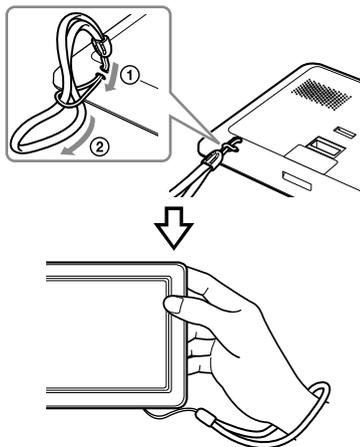


ちょっと一言

充電するときは、下記もあわせてご確認ください。

- ・「各部の名前とはたらき」-[4] 充電ランプ」(14ページ)
- ・「充電する」(17ページ)
- ・「困ったときは」(176ページ)
- ・「地図の名かたと操作」-[「内蔵電池の状態」](28ページ)

2 “nav-u”に市販のハンドストラップを取り付ける。(別紙「取付と接続」)



内蔵電池の使用時間について

充電時間

- ・電源を入れた状態で約4時間(付属のACアダプター、シガー電源コード使用時)
- ・スタンバイ状態で約3.5時間(付属のACアダプター、シガー電源コード使用時)

使用時間*

省電力モードの設定で、内蔵電池の持続時間を変えることができます。(92ページ)

- ・「スーパースタミナ(画面オフ)」:約7時間
- ・「スタミナ(自動ガイド表示)」:約3時間
- ・「ノーマル(画面オン)」:約1.5時間

* 測定条件

- ・電池:お買い上げ後、満充電にした状態
- ・音量/画面の明るさ:お買い上げ時の設定
- ・温度:25℃
- ・ルートシミュレーション(擬似ルートガイド状態)で測定

ご注意

使用時間は使用状況により短くなることがあります。

徒歩モードを開始する

お使いになる前に満充電にしてください。

- 1 クレードルから“nav-u”本体を取りはずす。
- 2 画面下部の住所または道路名称をタッチする。
ツールバーが表示されます。
- 3 ツールバーの「ナビ」をタッチする。
- 4 「ナビモード切替」をタッチする。
- 5 「徒歩モード」をタッチする。

徒歩モードに切り替わり、現在地のアイコンが  に変更されます。



GPSの受信状況により、現在地のアイコンが変更されます。

-  :GPSを受信し、現在地を表示している場合
-  :GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

ちょっと一言

- ・ナビモードは、メニューボタン→[設定]タブ→「ナビモード切替」からも変更できます。
- ・車でのルートガイド中に徒歩モードを開始すると、残りのルートを徒歩モード用に切り替えることができます。

ご注意

- ・歩きながら本機を操作したり、画面を注視したりしないでください。操作は安全な場所で立ち止まって行ってください。
- ・安全のため歩行中はヘッドホンを使用しないでください。
- ・必ず市販のハンドストラップをお使いください。
- ・GPSを受信しにくい場合は、以下のことを行ってください。
 - "nav-u"本体が地面に垂直になるように持ってください。
 - 内蔵GPSアンテナに指や手がかからないように持つてください。
 - 周りに高い建物や木などが無い場所に移動し、GPSを受信するまでその場でお待ちください。

手動で地図の向きを変えるには

手動で地図の向きを変える場合は、以下の手順で変更してください。

1 地図をタッチする。

タッチした位置が地図画面の中心になり、十字カーソルが表示されます。

2 (左回り)または (右回り)をタッチする。

地図の向きが変更されます。

画面表示を切り替えるには

画面をアウトドア地図(国土地理院の2万5千分の1地形図)や情報表示(平均速度や移動距離などの計測情報を表示)に切り替えたり、地図との2画面表示もできます。詳しくは、「表示切替」(66ページ)をご覧ください。

タッチパネルの操作を無効にするには(画面ロック)

本機をバッグなどに入れたときに誤作動しないように、タッチパネルの操作を無効にすることができます。

1 画面下部の住所または道路名称をタッチする。

ツールバーが表示されます。

2 ツールバーの「ナビ」をタッチする。

3 「画面ロック」をタッチする。

タッチパネルの操作が無効になります。

ちょっと一言

画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。

ルートを探索する

- 1** **メニューボタンをタッチする。**
メニュー画面が表示されます。
- 2** **ナビゲーションメニューから目的地を探す。**
該当する場所の地図が表示されます。
ちょっと一言
目的地の探し方について詳しくは、「ナビゲーションのいろいろな操作」(43ページ)をご覧ください。
- 3** **目的地が表示されていることを確認し、「ここへ行く」をタッチする。**

ルート探索結果画面が表示されます。
一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

手順**3**で「ここへ行く」の代わりに下記を選ぶこともできます。

- **「探索条件」**:探索条件を指定してルートを探索します。
- **「マーク登録」**:表示されている地点をマークとして登録することができます。その地点にすでにマークが登録済みの場合は表示されません。
- **「最寄検索」**:表示されている地点を中心に、さらに最寄検索します。
- **「詳細情報」**:施設の住所や電話番号などを確認できます。詳細情報がある場合に表示されます。

ちょっと一言

- ルート探索結果画面では、現在地から目的地までのルートを確認したり、探索条件を変更することができます。ルート探索結果画面の表示設定は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[案内]→[案内前のルート確認](97ページ)で変更できます。
- 徒歩モード専用の地図がある地域では、徒歩ルートを探るときに、「屋根を優先」「楽な道を優先」などの条件を選べます。詳しくは、「徒歩ルート探索条件」(96ページ)をご覧ください。

ご注意

- 以下のような場合、ルート探索に時間がかかることがあります。
 - 入り組んだ細い道を含む場合
 - 目的地が極端に遠い場合
- 徒歩モード用のルートは、徒歩では通行できない場合や、遠回りの場合があります。また、目的地までの距離が10 km以上の場合は、車用のルート(距離優先)が探索されます。実際の道路状況や交通規制標識、道路表示などに従って充分注意して歩行してください。
- 徒歩モードのルートガイド中は、ルート上に以下のアイコンが表示されます。エレベーター、エスカレーター、階段などは、上り下りを表す矢印がアイコン上に表示されます。
 - :横断歩道
 - :エレベーター
 - :エスカレーター
 - :踏み切り
 - :スロープ
 - :階段

地図の表示方法を切り替えるには

ルートガイド中に以下の項目を選ぶと、地図の表示方法を切り替えることができます。

- :現在地と目的地を常に表示(ルートの一部が画面の外に出る場合があります)
- :現在地を中心にした表示

GPSログを保存するには

“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”(別売)を挿入すると、GPSログ(走行地点の位置情報や時刻など)を保存することができます。詳しくは、「GPSログを保存する」(83ページ)をご覧ください。

1 画面下部の住所または道路名称をタッチする。

ツールバーが表示されます。

2 ツールバーの「ナビ」をタッチする。

3 「ナビモード切替」をタッチする。

4 使いたいモードをタッチする。

ナビモードが切り替わります。

ちょっと一言

ナビモードは、メニューボタン→[設定]タブ→「ナビモード切替」からも変更できます。

ご注意

- 徒歩モードではマップマッチングを使用しないため、車で使うときに比べて現在地のずれが大きくなったり、地図の向きが変わることがあります。マップマッチングについて詳しくは、「マップマッチングとは」(134ページ)をご覧ください。
- 直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電されないことがあります。徒歩モードでご使用になるときは、地図画面の左上のアイコンで、内蔵電池の残量を確認してください。
- ナビモードを切り替えると、ルートガイドは終了します。経由地や目的地は、メニューボタン→「行き先」→「履歴」から再度呼び出すことができます。履歴は36件まで保存されます。

こんなことができます

- アウトドアモードは、徒歩で使います。
- アウトドアモードで経由地を設定すると、次の経由地までの直線距離と方角を表示します。山や高原など道路のない場所で便利です。最後に設定した経由地が目的地になります。
- パソコンで作ったルートや経由地(KML形式/GPX形式)、“nav-u”で保存したGPSログ*(KML形式)をインポートすると、地図上に表示できます。

* GPSログとは走行した地点の位置情報のことです。

ちょっと一言

- アウトドアモードは、「省電力モード(画面オフ)」が「スーパースタミナ(画面オフ)」になっています。そのため、一定時間操作をしないと画面が消えます。「省電力モード(画面オフ)」の設定は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「システム設定」→「省電力モード(画面オフ)」→「徒歩」(92ページ)で変更できます。アウトドアモードの省電力モードの設定は、徒歩モードと同じです。
- アウトドアモードは、アウトドア地図で使うこともできます。画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させてから、ツールバーの「表示切替」→「アウトドア地図」をタッチします。

ご注意

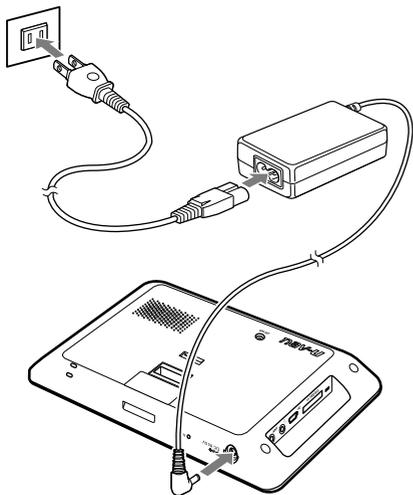
- アウトドアモードでは、ルートガイドはしません。
- アウトドアモードでは、マップマッチングを使用しないため、車で使うときに比べて現在地のずれが大きくなったり、地図の向きが変わることがあります。マップマッチングについて詳しくは、「マップマッチングとは」(134ページ)をご覧ください。

アウトドアモードでお使いになる前にお読みください

本機をアウトドアモードでお使いになる場合は、以下の準備をしてください。

1 付属のACアダプターで“nav-u”を充電する。

お使いになる前に満充電にしてください。

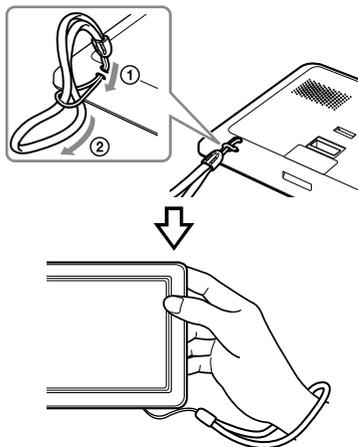


ちょっと一言

充電するときは、下記もあわせてご確認ください。

- ・「各部の名前とはたらき」-[4] 充電ランプ」(14ページ)
- ・「充電する」(17ページ)
- ・「困ったときは」(176ページ)
- ・「地図のみかたと操作」-[内蔵電池の状態」(28ページ)

2 “nav-u”に市販のハンドストラップを取り付ける。(別紙「取付と接続」)



内蔵電池の使用時間について

充電時間

- ・電源を入れた状態で約4時間(付属のACアダプター、シガー電源コード使用時)
- ・スタンバイ状態で約3.5時間(付属のACアダプター、シガー電源コード使用時)

使用時間*

省電力モードの設定で、内蔵電池の持続時間を変えることができます。(92ページ)

- ・「スーパースタミナ(画面オフ)」:約7時間
- ・「スタミナ(自動ガイド表示)」:約3時間
- ・「ノーマル(画面オン)」:約1.5時間

* 測定条件

- ・電池:お買い上げ後、満充電にした状態
- ・音量/画面の明るさ:お買い上げ時の設定
- ・温度:25℃
- ・ルートシミュレーション(擬似ルートガイド状態)で測定

ご注意

使用時間は使用状況により短くなることがあります。

アウトドアモードを開始する

お使いになる前に満充電にしてください。

- 1 クレドールから”nav-u”本体を取りはずす。
- 2 画面下部の住所または道路名称をタッチする。
ツールバーが表示されます。
- 3 ツールバーの「ナビ」をタッチする。
- 4 「ナビモード切替」をタッチする。
- 5 「アウトドアモード」をタッチする。
アウトドアモードになります。

ちょっと一言

ナビモードの変更は、メニューボタン→[設定]タブ→「ナビモード切替」からも行えます。

ご注意

ナビモードを切り替えると、ルートガイドは終了します。経由地や目的地は、メニューボタン→「行き先」→「履歴」から再度呼び出すことができます。履歴は36件まで保存されます。

“nav-u”本体で経由地や目的地を設定する

アウトドアモードの経由地や目的地を設定します。最後に設定した経由地が目的地になります。

- 1 メニュー→「行き先」→「ルートの編集」→「新規ルート作成」をタッチする。
地図画面が表示されます。
- 2 地図画面をスクロールし、経由地や目的地を登録したい地点を十字カーソルの中心に合わせる。
- 3 「決定」をタッチする。
経由地や目的地が追加されます。
手順2、3を繰り返すことにより、複数の経由地を作成できます。最後に設定した経由地が目的地になります。

アウトドアモードの経由地は下記のように表示されます。



(水色):最初に登録した経由地



(黄色):その他の経由地(目的地以外)



(赤色):目的地(最後に追加した経由地)登録できる経由地は2,000件までです(目的地を含む)。

ちょっと一言

最初に登録した経由地(水色)を通過すると、次の経由地が水色になります。

- 4 「探索開始」をタッチする。
登録したすべての経由地が地図上に表示されます。

- 5 「ガイド開始」をタッチする。

案内を開始します。

アウトドアモードでは、目的地までの直線距離と方角を案内します。



画面の左上に目的地までの直線距離と方角を表示します。タッチすると、目的地が次の経由地に切り替わります。

方角は下記のように表示されます。

N:北、S:南、W:西、E:東

NW:北西、NE:北東、SW:南西、SE:南東

経路地や目的地を編集する

作成した経路地や目的地を追加したり並べ替えたりすることができます。ここでは追加の手順を説明します。

1 メニュー→「行き先」→「ルートの編集」→「現在ルート編集」をタッチする。

ルート編集画面が表示されます。

2 画面の右側に表示されている「追加」をタッチする。

地図画面が表示されます。

3 地図画面をスクロールし、経路地や目的地に登録したい地点を十字カーソルの中心に合わせる。

4 「決定」をタッチする。

経路地や目的地が追加され、ルート編集画面に戻ります。

続けて経路地や目的地を追加することができます。

登録できる経路地は2,000件までです(目的地を含む)。

5 「探索開始」をタッチする。

設定したすべての経路地や目的地が地図上に表示されます。

6 「ガイド開始」をタッチする。

案内を開始します。

“nav-u”にルートや経路地をインポートして出発する

パソコンで作ったGPX形式、KML形式のファイル(ルートや経路地)を“nav-u”に取り込み(インポート)して地図に表示し、案内することができます。インポートの手順の説明では、ルートや経路地をまとめてルートと呼びます。

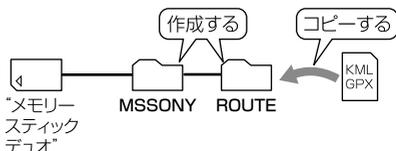
準備

パソコンで作ったGPX形式、KML形式のファイル(ルート)を“メモリースティックデュオ”(別売)に保存する。

ルートを“メモリースティックデュオ”に保存するには

Windowsのエクスプローラーでルートをドラッグ&ドロップします。

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。
- 2 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。
パソコンに「nav-uシステム(初期化・直接削除等しないこと)」と「リムーバブルディスク」(“メモリースティックデュオ”)が認識されます。
- 3 パソコンの「マイコンピュータ」を開く。
- 4 「リムーバブルディスク」を開く。
- 5 「MSSONY」という名前のフォルダーを作成する。
- 6 「MSSONY」の中に「ROUTE」という名前のフォルダーを作成する。
- 7 「ROUTE」の中にルートをコピーする。



ご注意

- ・「MSSONY」、「ROUTE」は半角で入力してください。
- ・「MSSONY」、「ROUTE」以外の名前では、本機はルートとして認識しません。

8 “nav-u” 本体をパソコンからはずす。
はずし方について詳しくは、「パソコンと接続する」の「パソコンから本機をはずすには」(130ページ)をご覧ください。

- 1 ルートの入った“メモリースティックデュオ”を“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入する。
- 2 “nav-u”の電源を入れ、メニュー→[設定]タブ→「ルートの編集」→「インポート」をタッチする。
- 3 インポートしたいルート(GPX形式、KML形式のファイル)をタッチする。
- 4 確認画面が表示されるので、「はい」をタッチする。
- 5 「ルートのインポートを完了しました。」と表示されるので、「OK」をタッチする。
- 6 「ガイド開始」をタッチする。
案内を開始します。
アウトドアモードでは、目的地、経由地までの直線距離と方角を案内します。

ちょっと一言

- ・インポートできるルートは1件です。新しいルートを入力すると上書きされます。
- ・パソコンで作成したルート以外に、“nav-u”で保存したGPSログ(KML方式)もインポートできます。他のNV-U97VT/U97V/U37で保存したGPSログをインポートすると、仲間とルートを共有できます。

インポートしたルートを消去するには

メニューボタン→[設定]タブ→「ルートの編集」
→「現在ルート消去」で消去します。

アウトドアモードから他のモードに切り替える

- 1 画面下部の住所または道路名称をタッチする。
ツールバーが表示されます。
- 2 ツールバーの「ナビ」をタッチする。
- 3 「ナビモード切替」をタッチする。
- 4 使いたいモードをタッチする。
アウトドアモードの経由地や目的地が消去され、ナビモードが切り替わります。

ちょっと一言

アウトドアモードは、メニューボタン→[設定]タブ→「ナビモード切替」からも変更できます。

ご注意

- ・直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電されないことがあります。アウトドアモードでご使用になるときは、地図画面の左上のアイコンで、内蔵電池の残量を確認してください。
- ・GPSを受信しにくい場合は、以下のことを行ってください。
 - “nav-u”本体が地面に垂直になるように持ってください。
 - 内蔵GPSアンテナに指や手がかからないように持つてください。
 - 周りに高い建物や木などが無い場所に移動し、GPSを受信するまでその場でお待ちください。
- ・ナビモードを切り替えると、ルートガイドは終了します。経由地や目的地は、メニューボタン→「行き先」→「履歴」から再度呼び出すことができます。履歴は36件まで保存されます。

アウトドア地図

こんなことができます

- ・アウトドア地図(国土地理院の2万5千分の1の地形図)を表示します。
- ・自分がある位置と方角をアウトドア地図用のマークで地図上に表示します。
- ・等高線が表示されるため、地形を把握しやすくなります。
- ・自動車モード、徒歩モード、アウトドアモードでお使いいただけます。

ちょっと一言

本機には、サンプルとして数か所のアウトドア地図があらかじめ格納されています。アウトドア地図を表示した状態で地図の縮尺を広域にすると、サンプルが格納されている場所が確認できます。

アウトドア地図を使う

アウトドア地図は、事前に地図データを“メモリースティックデュオ”(別売)に転送して“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入して使います。地図データをホームページからダウンロードして、“メモリースティックデュオ”にドラッグ&ドロップで保存してください。

アウトドア地図をダウンロードする

アウトドア地図のダウンロード方法について詳しくは、“nav-u”関連のサポートページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

アウトドア地図を表示する

- 1 画面下部の住所または道路名称をタッチする。
ツールバーが表示されます。
- 2 ツールバーの「表示切替」をタッチする。
- 3 「アウトドア地図」をタッチする。



ちょっと一言

地図の表示は2Dマップで常に北が上で固定です。

アウトドア地図を終了する

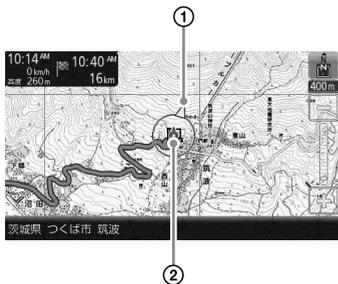
- 1 画面下部の住所または道路名称をタッチする。
ツールバーが表示されます。
- 2 ツールバーの「表示切替」をタッチする。
- 3 「地図」をタッチする。

アウトドア地図の見かた

アウトドア地図の表示は2Dマップで常に北が上で固定です。

地図の縮尺の詳細表示は200mまでです。

地図記号などについては国土地理院ホームページでご確認ください。



① 目的地の方向

目的地が設定されている場合は、目的地の方向を表示します。

② 現在地

GPSの受信状況により色が変わります。

赤色: GPSを受信し、現在地を表示している場合

オレンジ: GPSを受信していないが、現在地を推測して表示している場合 (高架下やトンネル内など)

グレー: GPSを受信できておらず、現在地を正しく表示していない場合

標高グラフ

こんなことができます

- ・ 標高グラフは、自動車モードで使います。
- ・ ルート探索を行ったときに、ルート上の標高を表示します。出発前にルート上の標高を確認することができます。
- ・ ルートガイド中に画面下部に自転車位置付近の標高と勾配を表示します。

出発前にルート上の標高を確認する

ルート探索を行ったときに、ルート上の標高を表示します。出発前にルート上の標高を確認することができます。

ルート探索結果画面または「ルート確認」(70ページ)に表示される「標高グラフ」をタッチすると、画面下部にルート全体の標高を表示します。

地図の中心位置

緑色のバーをタッチしたまま横方向に移動させると、バーの地点が地図の中心になります。標高グラフ内をタッチしても、タッチした地点が地図の中心になります。

経由地

経由地を設定している場合に、経由地の黄色い旗とバーが表示されます。



/ : 標高グラフの距離方向の縮尺を変更します。

/ : 標高グラフを拡大したときの表示位置を移動します。

: 標高グラフ全体を表示します。

(戻る) : 前の画面に戻ります。

ルートガイド中に標高を表示する

ルートガイド中に、画面下部に自転車位置付近の標高と勾配を表示します。

標高グラフ右上に、ルート上の自転車位置前方の勾配の程度(図2参照)、勾配(%）、その勾配の程度が続く距離を表示します。

例: 図1は、勾配の程度が平(1%～-1%の勾配)が現在地から184m続くことを表しています。

図1

自転車位置



自転車位置前方の勾配の程度が続く範囲を色で分けて表示します。(図2参照)

- 自転車位置前方の勾配の程度(図2参照)
- 自転車位置の勾配(%)
- 自転車位置前方の勾配の程度が続く距離(m)

図2 勾配の程度

▲ (赤)		10%～
▲ (オレンジ)	上	6%～10%
▲ (黄)		1%～6%
— (緑)	平	1%～-1%
▲ (薄青)		-1%～-6%
▲ (濃青)	下	-6%～-10%
▲ (紫)		-10%～

勾配について

勾配の程度は百分率で表示します。

例「2%」: 水平に100m進んだとき2mの高低差を持つ上りの勾配。

ちょっと一言

- お買い上げ時の設定では、標高グラフの表示が「OFF」になっています。表示させるには、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「標高グラフ表示」(93ページ)を「ON」にします。
- ガイドポイントが近づくと標高グラフが消え、ガイド画面に切り替わります。
- 標高グラフをタッチすると、一時的に標高グラフが消えます。
- ルートシミュレーションでも、標高グラフと勾配を表示します。ルートシミュレーションはルート探索を行ったあと、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→「システム設定」→「ルートシミュレーション」(93ページ)で表示します。

ご注意

標高や勾配は、実際と異なる場合があります。

GPSログを保存する

こんなことができます

“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入した“メモリースティックデュオ”（別売）にGPSログ（走行地点の位置情報や時刻など）を保存することができます。

GPSログは、NMEA形式またはKML形式で保存されます。保存する形式について詳しくは、「GPSログ設定」（94ページ）をご覧ください。

保存したGPSログはPetaMapなどのインターネット上の地図サービスやKMLブラウザ上に表示させることができます。

GPSログを保存する

以下の手順で設定してください。

メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[GPSログ設定]→[GPSログ機能]で「NMEA形式」または「KML形式」を選びます。GPSを受信すると、自動的にGPSログが保存されます。（94ページ）

終了するには

[GPSログ機能]で「OFF」を選ぶと保存を終了できます。

ちょっと一言

- ・ 保存中は“メモリースティック”アクセスランプが点滅します。（15ページ）
- ・ “メモリースティックデュオ”の取り扱いについて詳しくは、「“メモリースティックデュオ”について」（147ページ）をご覧ください。

編集・設定をする

各種の編集・設定をする(編集・設定メニュー) 86

各種の編集・設定をする(編集・設定メニュー)

編集・設定メニューを表示するには

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [設定]タブをタッチする。
選べない項目はグレー表示されます。

「ルートの編集」(自動車モードのみ)

新規にルートを作成したり、保存されたルート呼び出ししたりすることができます。

項目	設定
「現在ルート編集」	「地点並べ替え」 地点の順番を並べ替えます。 「前へ移動」: 選んだ地点を1つ前に移動します。 「後へ移動」: 選んだ地点を1つ後に移動します。 順番を並べ替えた後に「設定完了」をタッチします。
	「地点変更」 選んだ地点を別の場所に変更します。 場所の検索は次の検索方法から選べます。 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、 「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「自宅」、「地図から」、 「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」
	「地点削除」 選んだ地点をルートから削除します。
	「追加」 現在地と目的地の間の「追加」をタッチすると、経由地が追加できます(最大10か所)。目的地の下の「追加」をタッチすると、目的地を新たに設定できます(現在の目的地は経由地になります)。 経由地/目的地は次の検索方法から選べます。 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、 「お気に入り」、「自宅」、「地図から」、「ガイドブック」、「郵便番号」、 「緯度経度」
「区間ごとの条件変更」	各地点間のルート探索条件を下記に変更できます。 「推奨ルート1」: シンプルでわかりやすいルートを探します。 「推奨ルート2」: 距離や時間を重視したルートを探します。 「一般道優先」: 一般道を優先したルートを探します。 「有料道優先」: 有料道を優先したルートを探します。 「一般道距離優先」: 一般道で距離を優先したルートを探します。 「距離優先」: 距離を優先したルートを探します。

「現在ルート編集」 (つづき)	「オプション」	「地点自動並べ替え」	出発地から直線距離で一番近い地点を次の経由地にし、その経由地から直線距離で一番近い地点を次の経由地にするように、経由地や目的地を並べ替えます。
		「日時指定」	出発または到着日時を指定します。
		「日時指定クリア」	指定した日時をクリアします。
	「探索開始」		ルート探索を始めます。ルート探索が終わると、総距離、予想所要時間、有料道路料金などが表示されます。「ガイド開始」をタッチすると、ルートガイドが始まります。「ルート保存」をタッチすると、ルートを保存することができます(最大8件)。
「新規ルート作成」	<p>ルート編集画面になります。現在地をタッチすると、出発地を変更できます。現在地の右下の「追加」をタッチすると、経由地や目的地を設定できます。</p> <p>出発地、経由地や目的地は次の方法から選べます。</p> <p>「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「自宅」、「地図から」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」</p>		
「保存ルート呼出」	過去にルート探索して保存したルート呼び出します。呼び出したいルートが表示されていないときは、▲または▼をタッチします。呼び出したいルートをタッチすると、次の操作が選べます。		
	「ガイド開始」	ルートガイドを始めます。	
	「ルート名称変更」	ルート名称を変更します。	
	「ルート編集」	ルート編集画面になります。	
	「ルート消去」	ルートを消去します。	
「現在ルート消去」	現在設定されているルートが消去されます。		

ちょっと一言

出発地点を変更するには、画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させて、ツールバーの「ナビ」→「ガイド終了」をタッチしてルートガイドを終了させてから、「ルート編集」画面の一番上に表示されている地点(国)→「地点変更」をタッチしてください。

ご注意

- ・有料道路料金は現在地や設定した場所(目的地／経由地)によって、正しく表示されない場合があります。
- ・出発地を有料道路路上に設定した場合は、有料道路料金は計算できません。
- ・有料道路料金は、実際と異なることがあります。

「ルートの編集」(アウトドアモードのみ)

新規にルートを作成したり、保存されたルート呼び出ししたりすることができます。

項目	設定	
「インポート」	パソコンで作ったルートや経由地のデータを読み込んでアウトドア地図に表示します。インポートするにはあらかじめルートや経由地のデータを“メモリースティックデュオ”に保存し、“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入する必要があります。対応しているフォーマットはGPX形式、KML形式です。詳しくは「アウトドアモード」の「“nav-u”にルートや経由地をインポートして出発する」(78ページ)をご覧ください。	
「現在ルート編集」	「地点を選択」	「地点並べ替え」 地点の順番を並べ替えます。 「前へ移動」: 選んだ地点を1つ前に移動します。 「後へ移動」: 選んだ地点を1つ後に移動します。 順番を並べ替えた後に「設定完了」をタッチします。
		「地点変更」 選んだ地点を別の場所に変更します。
		「地点削除」 選んだ地点を削除します。
		「地点名称変更」 選んだ地点の名称を変更します。
	「追加」	現在地と目的地の間の「追加」をタッチすると、経由地が追加できます。登録できる経由地は2,000件までです(目的地を含む)。目的地の下の「追加」をタッチすると、目的地を新たに設定できません(現在の目的地は経由地になります)。
「探索開始」	設定したすべての経由地や目的地が地図上に表示されます。「ガイド開始」をタッチすると、案内が始まります。	
「新規ルート作成」	新たに経由地、目的地を登録します。「ガイド開始」をタッチすると目的地までの直線距離と方角の案内を開始します。詳しくは「アウトドアモード」の“nav-u”本体で経由地や目的地を設定する」(77ページ)をご覧ください。	
「現在ルート消去」	現在設定されているルートやすべての経由地、目的地が消去されます。	

「マークの編集」

● マークを編集する

マークの名称や属するグループを変更したり、マークを削除したりすることができます。

項目	設定		
「マーク編集」 (グループを選択)	名称	マークの名称を変更し、「確定」します。	
	よみ	マークの読みを入力し、「確定」します。	
	グループ	マークを入れたいグループを選びます。「新規作成」をタッチすると、新しいグループを作ることができます。	
	登録日時	登録した日時を表示します。登録日時は変更できません。	
	マークアイコン	地図上に表示するアイコンを設定します。設定したいマークをタッチします。「施設アイコン」をタッチすると、表示されたジャンルからマークアイコンを選べます。	
	「サウンド設定」	「サウンド機能」	「ON」:マークした場所に近づくとき音を鳴らします。 「OFF」:音を鳴らしません。
		「サウンド種類」	サウンド機能が「ON」のときに鳴らす音を選べます。
		「再生開始距離」	どのくらい近づくとき音を鳴らすか指定できます。
	「マーク削除」	現在表示しているマークを削除します。確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。	
	「よみ順」	マークを「よみ順」(50音順)か「登録日時順」で並べ替えます。よみ順で表示させるには、マークに「よみ」を入力する必要があります。	
「移動」	「マークを選択」	移動したいマークを選びます。選んだマークにはチェックマークが表示されます。	
	「全選択」	すべてのマークが選ばれ、すべてにチェックマークが表示されます。	
	「クリア」	マークの選択をすべて解除します。	
	「移動」	選んだマークを移動します。移動先のグループを選んで、「はい」をタッチします。	
	「新規作成」	グループ名称を入力すると、新しいグループが追加されます。移動する場合は改めて移動させてください。	
「削除」	「マークを選択」	削除したいマークを選びます。選んだマークにはチェックマークが表示されます。	
	「全選択」	すべてのマークが選ばれ、すべてにチェックマークが表示されます。	
	「クリア」	マークの選択をすべて解除します。	
	「削除」	選んだマークを削除します。確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。	

● グループを編集する

グループの名称やグループの表示順を変更したり、グループを削除したりすることができます。

項目	設定
「マーク編集」 「グループ 並べ替え」	「上に移動」 選んだグループの表示位置を1つ上に移動します。「戻る」をタッチすると移動の内容が反映されます。
	「下に移動」 選んだグループの表示位置を1つ下に移動します。「戻る」をタッチすると移動の内容が反映されます。
「グループ 新規作成」	グループ名称を入力すると、新しいグループが追加されます。
「グループ 名称変更」	変更したいグループをタッチし、グループ名称を変更します。
「グループ 削除」	削除したいグループをタッチします。確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。

● その他

“メモリースティックデュオ”（別売）を利用して、すべてのマーク情報のバックアップ／リストアや、個別のマーク情報のエクスポート／インポートができます。

項目	設定
「バックアップ」	すべてのマーク情報を“メモリースティックデュオ”にバックアップします。
「リストア」	バックアップしたマーク情報を復帰させます。
「エクスポート」	個別のマーク情報を“メモリースティックデュオ”に保存します。
「インポート」	個別のマーク情報を“メモリースティックデュオ”から読み込みます。

ちょっと一言

最大2,000件のマークを“メモリースティックデュオ”に保存するときは、約1.2MBの空き容量が必要です。

「施設アイコン」

ドライブの目印になるように、ガソリンスタンドやコンビニ、遊園地などの施設を地図上にアイコンで表示できます。アイコン表示したい施設／店舗を選んで、チェックを入れます。

「戻る」をタッチするとチェックの内容が反映されます。

ちょっと一言

- 表示したい施設を選び、その中の施設／アイコンをすべて選ぶと、施設アイコンのリストに明るい色のチェックマークが表示されます。施設／アイコンをいくつかだけ選んでいる場合は、施設アイコンのリストに暗い色のチェックマークが表示されます。
- 地図の縮尺が25m～300mの場合、施設アイコンを表示できます。
- アウトドア地図を表示しているときは設定できません。

「交通情報」

NV-U97VTに付属のFM VICSユニット、または別売VICSビーコンユニットを使用すると、道路上の電波ビーコン／光ビーコン、FM-VICS放送から受信した交通情報を表示します*。VICS、VICSユニットについて詳しくは、「VICSについて」(141ページ)、「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

* VICSユニットをお使いの場合は、必ずシガー電源を接続してください。

項目	設定
「ビーコン図形情報」*1	VICSビーコン図形情報を表示します。
「ビーコン文字情報」*1	VICSビーコン文字情報を表示します。
「FM-VICS図形情報」*2	FM-VICS図形情報を表示します。
「FM-VICS文字情報」*2	FM-VICS文字情報を表示します。
「VICS放送局選択」*2	「自動選局」: 現在地で受信可能なFM-VICS放送局を設定します。 「手動選局」: FM-VICS放送局の周波数を指定して設定します。 「選局自動切替」: 受信するFM-VICS放送局を現在地に合わせて自動的に変更します。「ON」、「OFF」

*1 VICSビーコンユニット(別売)接続時のみ。VICSビーコンユニットについては「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

*2 NV-U97VTに付属のFM VICSユニット接続時のみ。

「自宅／お気に入り編集」(自動車モード、徒歩モードのみ)

よく行く場所を「お気に入り」に登録しておくと、簡単に行き先を設定することができます。

お気に入り地点の登録は、次の方法から選べます。

「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「自宅」、「地図から」、「現在地」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」

登録された「お気に入り」を選ぶと、「地点変更」、「地点削除」、「名称変更」を行うことができます。

また、「自宅」を選ぶと、自宅の「地点変更」、「地点削除」を行うことができます。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に「自宅」、「★1」(お気に入り1)、「★2」(お気に入り2)へのルートガイドを開始できます。

ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

「ナビモード切替」

「自動車モード」、「徒歩モード」(71ページ)、「アウトドアモード」(75ページ)をタッチして、ナビモードを切り替えます。

● システム設定

項目	設定	
「音量」	「操作音」	「大」、「中」、「小」、「OFF」から選べます。
	「ガイド音声」	「大」、「中」、「小」、「OFF」から選べます。
「画面」	「明るさ調整」	「自動調整」 「ON」:周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調整します。 「OFF」:手動で設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車モード時に設定した明るさは、自動車モード用に保存されます。 ・徒歩モードも同様に個別に設定できます。 ・アウトドアモードの明るさは、徒歩モードと同じになります。
	「タッチパネル調整」	画面のタッチのずれを調整できます。タッチした位置と反応する位置が大きくずれてきたときは、画面に従ってタッチパネルの調整を行ってください。
「テーマ切替 (メニュー)」	メニュー画面のデザインを切り替えます。	
「サウンドテーマ切替」	サウンドのテーマを切り替えます。	
「車種設定」	本機を搭載する車種を「軽自動車」、「普通車」、「中型車」、「大型車」、「特大車」から設定します。車種を設定するとルート探索で有料道路を通るルートが選ばれたとき、その車種に応じた料金が表示されます。	
「省電力モード (画面オフ)」	操作していないときに自動的に画面を消します。ただし、画面をタッチするとしばらくの間画面表示されます。	
	「自動車」	内蔵電池の消費量を抑えるために、画面表示の設定を変更することができます。「ノーマル(画面オン)」以外を選ぶと、操作していないときに自動的に画面を調節して内蔵電池の消費量を抑えます。 「スーパースタミナ(画面オフ)」:操作していないときに画面を消します*。ルートガイド時に案内ポイントに近づくと、音や音声のみで案内します。 「スタミナ(自動ガイド表示)」:操作していないときに画面を消します*。ルートガイド時に案内ポイントに近づくと、画面を表示して案内します。 * 画面をタッチすると、しばらくの間画面表示されます。
	「徒歩」	「ノーマル(画面オン)」:常に画面を表示します。 ちょっと一言 <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩モード/アウトドアモード中に画面ロックしている場合は、現在地をタッチすると、しばらくの間画面が表示されます。 ・アウトドアモードは、徒歩モードと同じ設定になります。
「画面オン時間」	画面が消えるまでの時間を「10秒」、「20秒」、「30秒」、「1分」から選べます。	

項目	設定
「自動スタンバイ (30分)」	<p>操作をしていないときに自動的に電源を切るかどうかを設定できます。</p> <p>「ON」:「省電力モード(画面オフ)」で「ノーマル(画面オン)」以外を選んでいる場合、30分間自車位置の移動や操作がないと、自動で電源が切れます。ただし、以下のいずれかの場合は自動的に電源が切られません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源が供給されているクレードルに取り付けられている場合 ・音楽が再生されている場合 ・ビデオが再生されている場合 ・一画面でワンセグ放送を視聴している場合 ・アプリケーションの「写真」を起動している場合 <p>「OFF」:自動で電源が切れません。</p>
「ツールバー表示 (地図)」	<p>「常時表示」:ツールバーを表示したままにします。</p> <p>「自動で隠す」*:一定時間何も操作しない場合にツールバーを自動で隠します。</p> <p>「住所／道路名称を優先して表示」*:一定時間何も操作しない場合にツールバーを自動で隠し、住所と道路名称を表示します。</p> <p>* 十字カーソルが表示されているときは、ツールバーが表示されます。</p>
「標高グラフ表示」	<p>「ON」:自動車モードのときに標高グラフを表示します。ガイドがあるときは、ガイドが優先されます。</p> <p>「OFF」:表示しません。</p>
「画面中心の住所表示 (スクロール時)」	<p>「ON」:地図画面の中心に表示される十字カーソルの位置に住所を表示します。</p> <p>「OFF」:表示しません。</p>
「キーボードの 切替」	<p>「50音キー」:名称検索画面のキー入力方式を50音キーに切り替えます。</p> <p>「携帯キー」:名称検索画面のキー入力方式を携帯キーに切り替えます。</p>
「入力文字の自動確定」	<p>「速い」:携帯キーのときに、入力した文字が自動で確定するまでの時間を速くします。</p> <p>「標準」:携帯キーのときに、入力した文字が自動で確定するまでの時間を標準にします。</p> <p>「遅い」:携帯キーのときに、入力した文字が自動で確定するまでの時間を遅くします。</p> <p>「OFF」:携帯キーのときに、入力した文字を自動で確定しません。確定するにはカーソルを移動させるか、違う行の文字を入力します。</p> <p>「入力文字の自動確定」を「OFF」以外に設定すると、携帯キーのときに1文字入力するごとに自動でカーソルが右に移動します。同じ行(例えば「あ」行)の文字を続けて入力するときに、カーソルの移動が不要になり便利です。</p>
「ルートシミュレーション」	<p>画面上で自車マークを走行させることで、設定したルートを確認できます。</p> <p>出発地や経由地、目的地は、メニューボタン→[設定]タブ→[ルートの編集](86ページ)で変更してください。</p> <p>シミュレーションを中止したい場合は、メニューボタンまたはツールバーの「シミュレーション終了」をタッチしてください。</p> <p>次の音声案内の手前までシミュレーションをスキップしたい場合は、ツールバーの  をタッチしてください。</p>

項目	設定	
「デモンストレーション」	「オートデモスタート」	「ON」:一定時間何もしない場合にデモンストレーションを表示します。しばらく走行すると自動的に「OFF」になります。 「OFF」:表示しません。
	「デモ開始」	デモンストレーションを開始します。
「自宅登録」	自宅を登録します。自宅は次の方法から選べます。 「最寄」、「住所」、「名称」、「ジャンル」、「電話番号」、「マーク」、「履歴」、「お気に入り」、「地図から」、「現在地」、「ガイドブック」、「郵便番号」、「緯度経度」	
「M.S.フォーマット」	"nav-u"本体の"メモリースティックデュオ"スロットに挿入された"メモリースティックデュオ"を初期化します。初期化すると、"メモリースティックデュオ"内のデータはすべて消去されます。初期化中に"メモリースティックデュオ"を抜くと故障やデータの破壊の原因となります。	
「システム初期化」	自宅やマーク、システム設定などをすべてお買い上げ時の状態に戻します。システム初期化後は自動的に再起動し、品川付近の地図が表示されます。(9ページ)	
「機器情報」	本機や接続機器の状態を表示します。	
「測位情報」	GPSの受信状況、現在地の緯度、経度などの測位情報が表示されます。	
「GPS受信確認」	電源を入れたあとGPSの受信が完了するまでの間に表示される。GPSの受信状況の表示方法を設定します。 「メッセージ」:アイコンとメッセージで表示します。メッセージの画面からアイコン表示への切り替え、測位情報画面への切り替えができます。 「アイコン」:GPSの受信状況をアイコンで地図画面の左上に表示します。	
「GPSログ設定」	「GPSログ機能」	<p>「NMEA形式」:"nav-u"本体の"メモリースティックデュオ"スロットに挿入された"メモリースティックデュオ"に、運転中のGPSログ(走行地点の位置情報や時刻など)をNMEA形式で定期的に保存します。GPSログと関連付けた写真ファイル、走行の軌跡などを、インターネットの地図サービスに表示させる場合、PetaMapに表示させる場合などに使用します。</p> <p>「KML形式」:"nav-u"本体の"メモリースティックデュオ"スロットに挿入された"メモリースティックデュオ"に、運転中のGPSログをKML形式で定期的に保存します。地理情報をKMLブラウザ上に表示させる場合に使用します。 「OFF」:GPSログを保存しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大12時間まで同一ファイルに記録できます。 I/Oボタンで電源を切ったあと2時間以内に電源を入れると、続けて同一ファイルに記録されます。2時間を越えると別ファイルになります。 徒歩モードとアウトドアモードは同じファイルになります。 自動車モードと徒歩モードまたはアウトドアモードを切り替えると別ファイルになります。 <p>「メモリースティックデュオ」を"nav-u"本体の"メモリースティックデュオ"スロットから抜くときのご注意 "nav-u"本体の"メモリースティックデュオ"スロットから"メモリースティックデュオ"を抜く場合は、本体の電源を切るか「GPSログ機能」を「OFF」にしてください。</p>
	「GPSログ全消去」	"メモリースティックデュオ"に保存されているGPSログをすべて消去します。
「カロリー計算設定」	消費カロリーを計算するために体重を設定します。	

項目	設定
「積算距離初期化」	自動車モード、徒歩モードの積算距離を初期化します。アウトドアモードの積算距離は徒歩モードに含まれています。 初期化したいモードを選ぶと、チェックマークが表示されます。「初期化」をタッチすると、チェックマークの付いたモードの積算距離を初期化することができます。
「平均速度の停止時間考慮」	「含める」:平均速度の計算に停車時間を含めます。 「含めない」:平均速度の計算に停車時間を含めません。 自動車モード、徒歩モードで個別に設定できます。アウトドアモードは徒歩モードと同じ設定になります。
「バージョン情報」	ファームウェアや地図データのバージョンを表示します。
「自転車位置変更」	GPSの受信が完了するまでの間、現在地を任意の場所に変更できます。

ちょっと一言

地図画面上の現在時刻はGPS衛星からの電波を受信したり、ワンセグを受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。手動での時刻調整は必要ありません。GPSの受信について詳しくは、「現在地表示について」(134ページ)をご覧ください。

● 案内(自動車モード、徒歩モードのみ)

項目	設定	
「探索条件」	自動車用ルートの探索条件を設定します。 「推奨ルート1」: シンプルでわかりやすいルートを探します。 「推奨ルート2」: 距離や時間を重視したルートを探します。 「有料道優先」: 有料道を優先したルートを探します。 「一般道優先」: 一般道を優先したルートを探します。 「一般道距離優先」: 一般道で距離を優先したルートを探します。 「距離優先」: 距離を優先したルートを探します。	
「徒歩ルート探索条件」	徒歩用ルートの探索条件を設定します。 「おまかせ」: 標準的なルートを探します。 「屋根を優先」: 地下街やアーケードなどの屋根が多いルートを探します。 「楽な道を優先」: 階段、歩道橋などの昇降が少ないルートを探します。	
「音声案内」	「日本語」: ガイド開始音とガイド音声(日本語)で案内します。 「英語」: ガイド開始音とガイド音声(英語)で案内します。 「OFF」: ガイド開始音で案内します。	
「スマートIC考慮探索」	「ON」: ルートの探索条件にスマートインターチェンジ(ETC搭載車専用のインターチェンジ)を加えます。 「OFF」: ルートの探索条件にスマートインターチェンジを加えません。 設定を変更すると、自動的にルートを再探索します。	
「季節規制考慮」	「ON」: 季節規制を考慮したルート探索や案内をします。 「OFF」: 季節規制を考慮しません。	
「フェリー考慮」	「ON」: ルートの探索条件にフェリー航路を加えます。 「OFF」: ルートの探索条件にフェリー航路を加えません。	
「注意案内」	「合流」	「ON」: 案内します。 「OFF」: 案内しません。
	「踏切」	「ON」: 案内します。 「OFF」: 案内しません。
	「右折／左折専用車線」	「ON」: 案内します。 「OFF」: 案内しません。
	「事故多発地点」	「ON」: 案内します。 「OFF」: 案内しません。
	「注意地点」	「ON」: お客様が制限速度を守って安全運転できるように、本体に格納されている自動速度違反取締装置(オービス)などの注意地点情報を案内します。 「OFF」: 案内しません。
「交差点拡大図」	「ON(固定)」: 表示します。交差点拡大図の縮尺は変化しません。 「ON(ステップ)」: 表示します。交差点拡大図の縮尺が2段階に変化します。 「OFF」: 表示しません。	
「方面看板表示」	「ON」: 表示します。 「OFF」: 表示しません。	

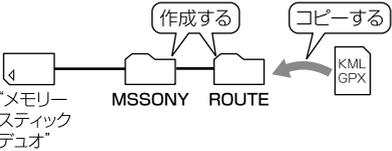
「リアル交差点 ガイド表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。
「都市高速入口案内 表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。
「案内前のルート 確認」	「自動」:現在地から目的地までのルートを確認する画面を表示しますが、一定時間操作がない場合は自動的に画面が切り替わります。 「ON」:ルート探索の後に、確認画面を表示します。画面を切り替えるには、「ガイド開始」をタッチします。 「OFF」:ルート探索の後に、確認画面を表示せず、画面が切り替わります。
「ハイウェイマップ 表示」	「ON」:表示します。 「OFF」:表示しません。

ちょっと一言

地図に格納されている季節規制の情報は、過去の情報に基づいています。

● 地図表示

項目	設定
「地図カラー」	「昼」、「夜」それぞれの地図カラーを設定できます。
「昼夜カラー自動切替」	「ON」: 地図カラーを時刻によって「昼」、「夜」に自動で切り替えます。 「OFF」: 地図カラーを「昼」で固定します。
「2D/3D マップ切替 (全画面)」	全画面表示時の2Dマップと3Dマップを切り替えます。
「2D/3D マップ切替 (2画面)」	2画面表示時の各地図画面の2Dマップと3Dマップを切り替えます。
「プリセットスケール」	ジェスチャー操作で使用する2種類の縮尺を設定できます。
「ズームスクロール」	「ON」: ズームアウトしながらスクロールします。 「OFF」: 縮尺を固定したままスクロールします。
「道路幅」	地図上の道路幅を「太」、「標準」から選べます。
「アイコンサイズ」	地図上のアイコンサイズを「大」、「中」、「小」から選べます。
「文字サイズ」	地図上の文字サイズを「大」、「中」、「小」から選べます。
「地図記号」	「ON」: 学校、公園などの地図記号を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「立体ランドマーク」	「ON」: 立体ランドマークを表示します。 「OFF」: 表示しません。
「信号」	「ON」: 信号を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「一方通行」	「ON」: 一方通行を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「マーク」	「ON」: マークを表示します。 「OFF」: 表示しません。
「移動速度と高度」	地図画面に表示される移動速度と高度を設定します。 「すべて表示」: 移動速度と高度を表示します。 「移動速度のみ」: 移動速度のみ表示します。 「高度のみ」: 高度のみ表示します。 「OFF」: 表示しません。
「走行軌跡」	「ON」: 走行軌跡を表示します。 「OFF」: 表示しません。
「走行軌跡の消去」	走行軌跡をすべて消去します。
「市街詳細地図の表示」	市街詳細地図に切り替えるスケールを選びます。スケールは次の中から選べます。 「25m」、「50m」、「100m」、「OFF」

「ルートカラー」	ルートガイドのルートの色を変更します。
「自動縮尺変更」	<p>「ON」: 高速道路に入ると、前回高速道路を走行したときの地図の縮尺に自動的に変更します。</p> <p>「OFF」: 変更しません。</p>
「ルートのインポート」	<p>「インポート」: パソコンで作ったルートを読み込んで地図画面に表示します。インポートするには事前にルートデータを「メモリースティックデュオ」に保存し、「nav-u」本体の「メモリースティックデュオ」スロットに挿入する必要があります。対応しているフォーマットは、KML形式とGPX形式です。</p>  <p>「ルートの削除」: 読みこんだルートを削除することができます。</p> <p>ご注意</p> <p>インポートできるルートはひとつのみです。新しいルートをインポートすると、既存のルートは上書きされます。</p>

● 交通情報(自動車モード、徒歩モードのみ)

この設定は、NV-U97VTに付属のFM VICSユニット、または別売VICSビーコンユニットを接続しているときのみ有効です(「渋滞予測探索」、「交通規制」を除く)。VICSユニットをお使いの場合は、必ずシガー電源を接続してください。VICS、VICSユニットについて詳しくは、「VICSについて」(141ページ)、「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

項目	設定	
「VICS交通情報考慮探索」*1	「ON」:ルート探索にVICS情報を利用します 「OFF」:利用しません。	
「渋滞回避オートルート」*1	「ON」:VICSからの情報をもとに、自動的にルートを再探索します 「OFF」:再探索しません。	
「VICSポップアップ」*1	「ON」:ビーコン文字情報、ビーコン図形情報を自動的に表示します。 「OFF」:表示しません。	
「交通情報地図表示」	「渋滞情報(高速)」	「ON」:高速道路の渋滞情報を表示します。(赤:渋滞、オレンジ:混雑) 「OFF」:表示しません。
	「渋滞情報(一般)」	「ON」:一般道の渋滞情報を表示します。(赤:渋滞、オレンジ:混雑) 「OFF」:表示しません。
	「渋滞なし・不明」	「ON」:渋滞していない箇所は水色、渋滞不明の箇所は灰色で表示されます。 「OFF」:表示しません。
	「渋滞情報の点滅」	「ON」:渋滞している場所を点滅表示します。 「OFF」:点滅表示しません。
	「規制地点」	「ON」:規制地点をアイコンで表示します。 「OFF」:表示しません。
	「規制区間」	「ON」:規制区間を紫色で表示します。 「OFF」:表示しません。
	「駐車場」	「ON」:駐車場の混雑状況をアイコンで表示します。 「OFF」:表示しません。
	「SA/PA」	「ON」:サービスエリア、パーキングエリアの混雑状況をアイコンで表示します。 「OFF」:表示しません。
「渋滞予測探索」*2	「ON」:自動車モードのルート探索に渋滞予測情報を利用します。 「OFF」:利用しません。	
「交通規制」*2	「交通規制情報のインポート」	“メモリースティック”に保存した交通規制情報データを“nav-u”にインポートします。利用できる交通規制情報や使いかたについて詳しくは、下記のホームページでご確認ください。 http://www.sony.jp/support/nav-u/
	「交通規制情報の削除」	“nav-u”にインポートした交通規制情報を削除します。
	「交通規制情報考慮」	「ON」:“nav-u”にインポートした交通規制情報を考慮したルート探索や案内をします。 「OFF」:“nav-u”にインポートした交通規制情報を考慮しません。

*1 VICSビーコンユニット(別売)接続時のみ使えます。VICSビーコンユニットについては「主な仕様」(172ページ)をご覧ください。

*2 「渋滞予測探索」、「交通規制」はVICSユニットの接続がなくてもお使いいただけます。

アプリケーション機能を楽しむ

ワンセグを見る／録画する	102
ガイドブックを見る	111
音楽を聞く	113
ビデオを見る	117
写真を見る	121

ワンセグを見る／録画する

こんなことができます

携帯端末向け地上デジタル放送であるワンセグを視聴／録画することができます。

走行中は安全のため音声のみ出力され、映像は表示されません。走行中にドライバー以外の方がワンセグを視聴する場合は、「nav-u」本体をクレードルからはずしてご覧ください。

ちょっと一言

- ワンセグは地上デジタル放送のサービスの1つです。視聴できるチャンネルは地域によって異なります。
- ワンセグ放送エリアの詳細については下記のホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)
<http://www.dpa.or.jp/>

ワンセグを見るための準備

ワンセグ放送を視聴するには、チャンネルリストの設定が必要です。

ワンセグ放送の電波が受信できるエリア内で、「ワンセグを見る」(103ページ)に従って、チャンネルリストを設定してください。

ご注意

- ワンセグ放送は、お客様がいらっしゃる場所に適切なチャンネルリストの設定にしないと、視聴することができません。ワンセグ放送を視聴するエリアが変わったときは、チャンネルリストの設定を変更してください。詳しくは、「チャンネルリストの設定を変更するには」(104ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- 受信できない場合は、「困ったときは」の「ワンセグの映像が映らない。」(181ページ)をご覧ください。
- ワンセグの受信については、「ワンセグの受信について」(145ページ)もあわせてご覧ください。

ワンセグ視聴画面

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチしてください。



- ワンセグの受信状態を表示します。
- 視聴しているチャンネル名称を表示します。
- 音量を調整します。
- 次のチャンネル／前のチャンネルに切り替えます。
- 地図画面と縮小したワンセグ視聴画面を表示します。
- ワンセグを終了します。
- ワンセグ視聴画面／地図画面を切り替えます。
- チャンネルのシーク(検索)、番組表の確認、録画予約、録画をします。
- 字幕や音声、画面サイズなどの設定を行います。
- チャンネルリストを表示します。
- ワンセグの音量調整(③)をルートガイドの音量調整に切り替えます。

ちょっと一言

- 画面上下の表示や操作ボタンは、一定時間操作しないと自動的に消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- ジェスチャー操作で簡単にワンセグを操作できます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

ワンセグを見る

- 1 **ホイップアンテナを引き出す。**
ホイップアンテナを伸ばしきってください。

ご注意

ホイップアンテナを伸ばしきらないと、ワンセグの受信感度が著しく悪くなったり、ホイップアンテナが固定されない場合があります。

- 2 **メニューボタンをタッチする。**

- 3 **[アプリ]タブをタッチする。**

- 4 **[ワンセグ]をタッチする。**

初めての場合のみ、チャンネルリスト初期設定画面が表示されます。

設定方法を下記のどちらか(「チャンネルスキャン」または「地域選択」)から選び、チャンネルリストを設定してください。

ご注意

チャンネルリストの設定が完了しないとワンセグの受信ができません。

「チャンネルスキャン」

現在地で受信可能なチャンネルを自動で設定します。

- 1 チャンネルスキャンが終わると「チャンネルリスト登録画面」が表示されます。
- 2 「登録」をタッチする。
- 3 お好みに応じ名称を変更し「確定」をタッチする。

ちょっと一言

名称変更しない場合は「スキャン」と登録されます。

「地域選択」

地域ごとにあらかじめ登録されているチャンネルを設定します。

- 1 地域選択画面で登録したい地域をタッチする。
- 2 「登録」をタッチする。
- 3 お好みに応じ名称を変更し「確定」をタッチする。

ちょっと一言

名称変更しない場合は選んだ地域名が登録されます。

ちょっと一言

- ・走行中は安全のため音声のみ出力されます。映像は表示されません。走行中にドライバー以外の方がワンセグを視聴する場合は、「nav-u」本体をクレードルからはずしてご覧ください。
- ・「地図へ」をタッチすると、ワンセグの音声を聞きながら地図やルートガイドを表示できます。

ご注意

- ・緊急警報放送による自動起動には対応していません。
- ・ワンセグの放送エリア以外では、ワンセグを視聴することができません。

また、放送エリア内であっても、地形や建物などによって電波がさえぎられる場合や、電波の伝わりかた、本機を置く場所や向きなどによっては、ワンセグを視聴できないことがあります。

チャンネルリストの設定を変更するには

チャンネルリストの設定方法には「チャンネルスキャン」、「地域選択」があります。

1 ワンセグ視聴画面で「CHリスト」をタッチする。

チャンネルリスト画面が表示されます。

2 「オプション」をタッチする。

オプションメニューが表示されます。

3 チャンネルリストの設定方法を選ぶ。

チャンネルリストの設定方法について詳しくは、「ワンセグを見る」(103ページ)の手順4をご覧ください。

ちょっと一言

- 登録したチャンネルリストを削除するには、「チャンネル削除」をタッチしてください。
- 「現在番組更新」をタッチするとチャンネルリストが更新され、各チャンネルで放送中の番組名が表示されます。

EPG(電子番組表)を表示するには

現在見ている放送局が予定している番組や番組内容を確認できます。

1 ワンセグ視聴画面で「オプション」をタッチする。

オプションメニューが表示されます。

2 「番組表」をタッチする。

番組表が表示されます。

3 内容を確認したい番組をタッチする。

番組内容が表示されます。

ちょっと一言

 /  をタッチすると、前/次のチャンネルの番組表に切り替えることができます。

チャンネルを切り替える

1 ワンセグ視聴画面で「CH+」または「CH-」をタッチする。

チャンネルが切り替わります。

チャンネルリストから切り替えるには

設定したチャンネルリストから、視聴したいチャンネルに切り替えます。

1 ワンセグ視聴画面で「CHリスト」をタッチする。

チャンネルリスト画面が表示されます。

2 視聴したいチャンネルをタッチする。

チャンネルが切り替わります。

シーク(検索)して切り替えるには

お使いの地域で受信可能な放送局を13ch ~ 62chの中からシークして選局します。

1 ワンセグ視聴画面で「オプション」をタッチする。

2 「SEEK+」または「SEEK-」をタッチする。

画面に「SEEK中」と表示され、自動的に放送局を探し始めます。

受信可能な放送局が見つかり、受信を開始します。

ちょっと一言

- 「SEEK+」をタッチするとチャンネルの大きい側へ、「SEEK-」をタッチするとチャンネルの小さい側へスキャンを始めます。
- 受信可能な放送局が見つからない場合は、シークをする前に受信していた放送局に戻ります。

ご注意

スキップするチャンネル数に応じて、放送局を受信するまでの時間が長くなります。

ワンセグを録画する

“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入した“メモリースティックPROデュオ”（別売）に、視聴している番組を録画することができます。

また、番組表から番組を選んだり、日時を指定して録画予約することができます。

ちょっと一言

- 録画できるワンセグビデオは3,200件です。
- 一度の録画で最大8時間録画できます。
- 本機でワンセグを録画するには以下の“メモリースティック”が使用できます。
 - “メモリースティックPROデュオ”本機で使用できる“メモリースティック”について詳しくは、「“メモリースティックデュオ”について」(147ページ)をご覧ください。

視聴中の番組を録画するには

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックPROデュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 [ワンセグ]をタッチする。
ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 5 ワンセグ視聴画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 6 [オプション]をタッチする。
オプションメニューが表示されます。
- 7 [録画]をタッチする。
録画が開始されます。

ご注意

- 本機で録画したワンセグビデオは、パソコンなどへ転送することはできません。
- 視聴中の番組を録画している場合、番組の終了と同時に録画も停止します。
- 以下のときは録画ができない、録画が途中で終了する、または録画が正しく行われない場合があります。
 - 受信状況が良くない場合
 - ワンセグの受信ができない場合
 - USB接続している場合
 - 本機の電池残量が少ない場合
 - “メモリースティックPROデュオ”の空き容量が少ない場合
 - “メモリースティックPROデュオ”以外の“メモリースティック”を挿入している場合
 - すでにワンセグビデオが3,200件ある場合

録画中には

録画中、録画ランプが赤色に点灯します。録画ランプの位置について詳しくは、「各部の名前とはたらき」(14ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- 録画中に本機の電源を切っても、番組の終了時間まで録画は継続されます。録画の途中であっても本機の電池残量が少なくなった場合など、録画を停止することがあります。シガー電源コード（付属）またはACアダプター（付属）で電源を供給しながら、録画することをおすすめします。
- 音楽機能、ビデオ機能の起動中にワンセグの録画が始まると、地図画面または録画中のワンセグ視聴画面に切り替わります。録画中は音楽機能、ビデオ機能を使用できません。

ご注意

- 録画中に現在地ボタンをタッチすると、地図画面に切り替わりますが、録画は停止されません。録画の停止について詳しくは、「録画を停止するには」(106ページ)をご覧ください。
- 録画中は以下のアプリケーション機能は操作ができません。
 - 音楽機能
 - ビデオ機能

録画を停止するには

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ワンセグ」をタッチする。
ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 4 ワンセグ視聴画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 5 「録画停止」をタッチする。
- 6 「はい」をタッチする。
録画が停止されます。

ちょっと一言

視聴中の番組を録画している場合、番組の終了と同時に録画も停止します。

ご注意

録画中に現在地ボタンをタッチすると、地図画面に切り替わりますが、録画は停止されません。

番組表から録画予約するには

番組表から番組を選んで、録画予約することができます。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ワンセグ」をタッチする。
ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 4 ワンセグ視聴画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 5 「オプション」をタッチする。

6 「番組表」をタッチする。

視聴しているチャンネルの番組表が表示されます。

7 録画予約したい番組をタッチする。

8 「録画予約」をタッチする。

録画予約画面が表示されます。

ちょっと一言

「録画設定」をタッチすると、設定した曜日に繰り返し録画するなどの設定をすることができます。

9 「予約確定」をタッチする。

10 「OK」をタッチする。

録画予約が設定されます。

ご注意

番組表から録画予約できるのは、チャンネルリストを設定した場合のみです。シークでチャンネルを切り替えた場合は、番組表から録画予約できません。チャンネルリストの設定方法について詳しくは、「チャンネルリストの設定を変更するには」(104ページ)をご覧ください。

日時を指定して録画予約するには

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ワンセグ」をタッチする。
ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 4 ワンセグ視聴画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 5 「オプション」をタッチする。

6 「録画予約」をタッチする。

録画予約画面が表示されます。

7 「日付指定録画予約」をタッチする。

「放送局設定」、「録画時間設定」、「録画設定」で録画の条件を設定してください。

ちょっと一言

「録画設定」をタッチすると、設定した曜日に繰り返し録画するなどの設定をすることができます。

8 「予約確定」をタッチする。

9 「OK」をタッチする。

録画予約が設定されます。

ちょっと一言

- 録画予約の確認または変更、削除について詳しくは、「録画予約を確認／変更する」(107ページ)、「録画予約を取り消すには」(109ページ)をご覧ください。
- 本機では、最大100件まで録画予約できます。

ご注意

- 録画が開始されるまでに、十分な空き容量がある“メモリースティックPROデュオ”を“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入してください。“メモリースティックPROデュオ”が挿入されていない場合、録画が開始されません。
- 録画予約の時間が重複していると、「別の予約と重複しています。録画予約リストを確認してください。」が表示されます。「OK」を選ぶと、選んだ予約が優先されます。
- 複数のチャンネルリストをお使いになる場合は、録画を実行する地域のチャンネルリストで録画予約の設定を行ってください。
- 録画終了時刻と次の録画開始時刻が同じときは、前の予約の最終部は録画されません。

録画予約を確認／変更する

録画予約の放送局、録画日時、毎回録画、上書き録画の設定内容を確認、変更することができます。

録画予約について詳しくは、「ワンセグを録画する」(105ページ)をご覧ください。

1 メニューボタンをタッチする。

2 [アプリ]タブをタッチする。

3 「ワンセグ」をタッチする。

ワンセグ視聴画面が表示されます。

4 ワンセグ視聴画面をタッチする。

操作ボタンが表示されます。

5 「オプション」をタッチする。

6 「録画予約」をタッチする。

録画予約画面が表示されます。

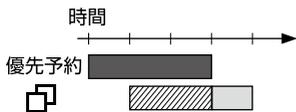
7 「録画予約リスト」をタッチする。

予約リストが表示されます。

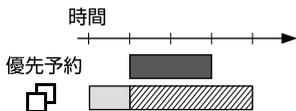
ちょっと一言

録画の時間が重複している予約には、予約重複アイコン  が表示されます。

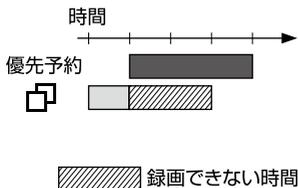
例1



例2



例3



8 変更したい「録画予約」をタッチする。

録画予約画面が表示されます。

「放送局設定」、「録画時間設定」、「録画設定」で録画の条件を設定してください。

ちょっと一言

録画設定画面では、以下の項目を選ぶことができます。

- ・「毎回録画設定」:設定した曜日に繰り返し録画するなどの設定をすることができます。詳しくは、「番組を毎回録画する」(108ページ)をご覧ください。
- ・「上書き録画設定」:「ON」に設定すると、毎回録画の録画実行時に古い回を自動的に削除し、新しい回を録画します。毎回録画設定を「毎回録画しない」に設定していると選べません。

9 「予約確定」をタッチする。

予約の変更が反映されます。

番組を毎回録画する

連続ドラマなどの番組が毎回録画されるように録画予約します。

- 1 録画予約画面で「録画設定」をタッチする。
- 2 「毎回録画設定」で録画する曜日などを設定する。
- 3 「上書き録画設定」で「ON」または「OFF」を選ぶ。
- 4 「戻る」をタッチする。
- 5 「予約確定」をタッチする。
- 6 画面に従って設定する。

ちょっと一言

- ・手順**3**で「ON」を選ぶと、前回の番組に上書きして保存されます。
- ・手順**2**で「毎回録画しない」を選ぶと、毎回録画を解除できます。
- ・「毎回録画設定」で指定できる曜日は1つのみです。2つ以上の曜日を指定したい場合は、曜日ごとに別途設定してください。

ご注意

毎回録画したい場合は「録画設定」と「録画時間設定」の曜日を合わせてください。異なる曜日を指定した場合、初回のみ「録画時間設定」で指定した日時で録画されます。

録画予約を取り消すには

- 1** メニューボタンをタッチする。
- 2** [アプリ]タブをタッチする。
- 3** 「ワンセグ」をタッチする。
ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 4** ワンセグ視聴画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 5** 「オプション」をタッチする。
- 6** 「録画予約」をタッチする。
録画予約画面が表示されます。
- 7** 「録画予約リスト」をタッチする。
録画予約リスト画面が表示されます。
- 8** 「予約削除」をタッチする。
予約削除リスト画面が表示されます。
ちょっと一言
録画の時間が重複している予約には、予約重複アイコン  が表示されます。

9 削除したい録画予約をタッチする。

ちょっと一言

予約削除リスト画面では、以下の項目を選ぶことができます。

- ・「全選択」:すべての録画予約を選びます。
- ・「クリア」:録画予約の選択をすべて解除します。

10 「削除」をタッチする。

11 「はい」をタッチする。

録画予約が削除されます。

ご注意

- ・本機で録画したワンセグビデオは、パソコンなどへ転送することはできません。
- ・以下のときは録画ができない、録画が途中で終了する、または録画が正しく行われない場合があります。
 - 受信状況が良くない場合
 - ワンセグの受信ができない場合
 - USB接続している場合
 - 本機の電池残量が少ない場合
 - “メモリースティックPROデュオ”の空き容量が少ない場合
 - “メモリースティックPROデュオ”以外の“メモリースティック”を挿入している場合
 - すでにワンセグビデオが3,200件ある場合
- ・録画中は以下のアプリケーション機能は使えません。以下の操作中に、ワンセグの録画が開始されると、録画ランプが赤色に点灯し、地図画面または録画中のワンセグ視聴画面に切り替わります。
 - 音楽機能
 - ビデオ機能

録画した番組(ワンセグビデオ)を再生する

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックPROデュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 [ビデオ]をタッチする。
ビデオ再生画面が表示されます。
- 5 [リスト]をタッチする。
リスト画面が表示されます。
 - ▶ 再生中(■一時停止中)のビデオ
 - 📁 フォルダー
- 6 再生したいフォルダー名、またはビデオ名(ファイル名)をタッチする。

ちょっと一言

- ・ビデオ機能について詳しくは、「ビデオを見る」(117ページ)をご覧ください。
- ・ジェスチャー操作で簡単にビデオ機能の操作ができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

ご注意

- ・走行中は安全のため音声のみ出力され、映像は表示されません。走行中にドライバー以外の方が録画したビデオを視聴する場合は、“nav-u”本体をクレードルからはずしてご覧ください。
- ・録画時の受信状況によっては、コマ落ちなどが発生する可能性があります。
- ・ヘッドホンジャックにヘッドホンをつなぐと、“nav-u”本体のスピーカーから音は出ません。

設定を変更する(設定メニュー)

- 1 ワンセグ視聴画面で[設定]をタッチする。
設定メニューが表示されます。

項目	設定
[字幕表示]	字幕の表示を「OFF」、「字幕1」、「字幕2」から選べます。
[二重音声]	音声を「主音声」、「副音声」、「主+副音声」から選べます。
[音声信号]	音声信号を「第1音声」、「第2音声」から選べます。
[画面サイズ]	画面の表示を「オリジナル」、「フル」から選べます。

ガイドブックを見る

こんなことができます

ドライブに役立つ情報をまとめたガイドブックを閲覧したり、目的地に設定できます。本機にあらかじめ収録されているガイドブックの他、「PetaMap」のホームページからダウンロードして、「nav-u」本体や「メモリースティックデュオ」（別売）に保存したガイドブックも利用できます。

ちょっと一言

- ・トラベル、グルメ、レジャーなどドライブに役立つ情報をまとめたものをガイドブックといいます。ガイドブックに収録されている場所をスポットといいます。
- ・ダウンロードしたガイドブックを本機で表示するには以下の「メモリースティック」が使用できます。
 - 「メモリースティックデュオ」
 - 「メモリースティックPROデュオ」本機で使用できる「メモリースティック」について詳しくは、「メモリースティックデュオ」について(147ページ)をご覧ください。
- ・「PetaMap」について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
<http://petamap.jp/>

スポット詳細画面

スポットセレクト画面でお好みのスポットを選ぶと下記のような画面が表示されます。



- ① スポット名、スポット画像、各種情報、紹介文が表示されます。
各項目をタッチすると全画面表示します。
- ② スポット周辺の地図を表示します。
- ③ 前ページのスポット詳細情報を表示します。
- ④ 現在のページ／全ページ数を表示します。
- ⑤ 次ページのスポット詳細情報を表示します。
- ⑥ スポットセレクト画面に戻ります。

ちょっと一言

- ・スポットが複数ある場合には、画面下部の操作ボタンでページを切り替えることができます。
- ・スポット名、スポット画像、各種情報、紹介文をタッチすると、各画面を全画面表示できます。全画面表示をしている場合には、以下の操作ができます。
 - **A≠A** : 文字サイズを「大」、「中」、「小」に変更
 - **◀▶** : ページの切り替え
 - **戻る** : 全画面表示を終了
- ・ジェスチャー操作で簡単にページ送りができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

ガイドブックを表示する

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ガイドブック」をタッチする。
- 4 画面に従ってガイドブックをタッチする。

ちょっと一言

- エリアが表示された場合は、閲覧したいエリアをタッチしてください。
- ガイドブックを並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「更新日時順」をタッチしてください。並べ替えの対象は、アイコン+ブック名で表示されるブックのみです。
- ガイドブックが保存されている“メモリースティックデュオ”が“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入されている場合は、画面左下の「本体」、「M.S.」、「本体+M.S.」をタッチすると、参照先を切り替えることができます。

- 5 スポットセレクト画面のスポットリストから、閲覧したいスポットをタッチする。

スポット詳細画面が表示されます。

ちょっと一言

スポットを並べ替えるには「名前順」、「ジャンル順」、「最寄順」をタッチしてください。

スポットを目的地に設定するには

- 1 スポット詳細画面で「地図へ」をタッチする。



- 2 「ここへ行く」をタッチする。
ルート探索結果画面が表示されます。一定時間操作がない場合は、画面が切り替わります。

スポットをアイコン表示するには

ドライブの目印になるように、スポットを地図上にアイコンで表示できます(最大1,000件)。

- 1 メニューボタンをタッチする。
- 2 [アプリ]タブをタッチする。
- 3 「ガイドブック」をタッチする。
- 4 ブックセレクト画面で「地図表示」をタッチする。
- 5 表示したいスポットを含むガイドブックをタッチする。

ちょっと一言

ガイドブックは最大10件まで選べます。

ご注意

地図上に表示できるスポットのアイコンは最大1,000件です。1,000件を超える場合、ガイドブックの選択件数が10件未満でも、ガイドブックを選べません。

6 現在地ボタンをタッチする。

スポットが地図上にアイコン表示されます。

ちょっと一言

地図画面上のアイコンをタッチすると、タッチした地点が地図の中央に移動し、スポットの名称と「詳細情報」が表示されます。「詳細情報」をタッチすると、スポット詳細画面が表示されます。

ちょっと一言

- nav-uツール(PCアプリケーション)を使用してガイドブックを転送することができます。
nav-uツールは下記のサポートページからダウンロードし、インストールしてください。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>
- PSP®専用ソフトウェア「みんなのナビ」、「みんなの地図2」または「みんなの地図2地域版」シリーズ、「みんなの地図3」、「ニッポンのおそこで」で使用している“メモリースティックデュオ”を、そのまま本機で使用できます。
- ジェスチャー操作で簡単にページ送りができます。
ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

音楽を聞く

こんなことができます

“メモリースティックデュオ” (別売)にMP3形式、WAV形式、AAC形式*、ATRAC形式*、WMA形式*の音楽ファイルを転送すると、音楽を聞くことができます。

再生できる音楽ファイルの形式について詳しくは、「再生できる音楽ファイル」(114ページ)をご覧ください。

* 著作権保護されているファイルは再生できません。

ちょっと一言

本機で音楽を再生するには以下の“メモリースティック”が使用できます。

- “メモリースティックデュオ”
- “メモリースティックPROデュオ”

本機で使用できる“メモリースティック”について詳しくは、「“メモリースティックデュオ”について」(147ページ)をご覧ください。

ご注意

- 音楽ファイルを“nav-u”本体に直接転送しても、再生できません。
- 音楽ファイルは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ヘッドホンジャックにヘッドホンをつなぐと、“nav-u”本体のスピーカーから音は出ません。
- 音楽機能の起動中に、ワンセグの録画が始まると、録画ランプが赤色に点灯し、地図画面または録画中のワンセグ視聴画面に切り替わります。録画中は、音楽機能を使用できません。
ワンセグの録画について詳しくは、「ワンセグを録画する」(105ページ)をご覧ください。

音楽ファイルを転送する

“メモリースティックデュオ”へ音楽ファイルを転送するには、Windowsのエクスプローラーで音楽ファイルをドラッグ&ドロップします。

以下の手順で転送してください。

1 パソコンに音楽ファイルを用意する。

再生できる音楽ファイルについて詳しくは、下記の「再生できる音楽ファイル」をご覧ください。

2 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。

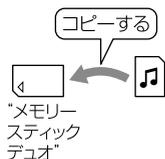
3 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。

パソコンに“nav-u”本体（「nav-uシステム（初期化・直接削除等しないこと）」と“メモリースティックデュオ”（「リムーバブルディスク」）が認識されます。

4 パソコンの「マイ コンピュータ」を開く。

5 「リムーバブルディスク」を開く。

6 音楽ファイルをコピーする。



再生できる音楽ファイル

本機では、以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3形式
 - 拡張子: mp3
 - サンプリング周波数: 32/44.1/48kHz
 - ビットレート: 32kbps ~ 320kbps、可変ビットレート (VBR) 対応

- ATRAC形式*
 - 拡張子: oma
 - サンプリング周波数: 44.1kHz
 - ビットレート: 48kbps ~ 352kbps (66、105、132kbpsはATRAC3)
 - 非暗号化ファイルのみ
- ATRAC Advanced Lossless形式*
 - 拡張子: oma
 - サンプリング周波数: 44.1kHz
 - ビットレート: 64kbps ~ 352kbps (132kbpsはATRAC3 base layer)
 - 非暗号化ファイルのみ
- WMA形式*
 - 拡張子: wma
 - サンプリング周波数: 44.1kHz
 - ビットレート: 32kbps ~ 192kbps、可変ビットレート (VBR) 対応
- リニアPCM形式
 - 拡張子: wav
 - サンプリング周波数: 44.1kHz
 - ビットレート: 1,411kbps
- AAC形式*
 - 拡張子: m4a、3gp
 - サンプリング周波数: 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48kHz
 - ビットレート: 16kbps ~ 320kbps、可変ビットレート (VBR) 対応
- HE-AAC形式*
 - 拡張子: m4a、3gp
 - サンプリング周波数: 24kHz
 - ビットレート: 32kbps ~ 144kbps、可変ビットレート (VBR) 対応

* 著作権保護されているファイルは再生できません。

ちょっと一言

- 音楽ファイルをジャンルなどで分類したい場合は、「リムーバブルディスク」の中にフォルダーを作成し、その中に分類したい音楽ファイルを転送してください。
- 1フォルダーあたり400ファイルまで転送できます。

ご注意

すべてのエンコーダーには対応していません。

音楽再生画面



- ① 曲の再生状況(経過時間、再生の進行度、総再生時間)が表示されます。
- ② 音楽再生の設定(リピート、シャッフル)が表示されます。
- ③ 音量を調整します。
- ④ 再生中の曲の情報(曲名、アーティスト名、アルバム名、曲順、ジャケット写真)が表示されます。
- ⑤ : 再生中の曲を頭出し再生します。再生時間が3秒未満の場合、前の曲を頭出し再生します。
: 再生を始めます。再生中にタッチすると一時停止します。
: 次の曲を頭出し再生します。
- ⑥ 音楽機能を終了します。
- ⑦ 音楽再生画面/地図画面を切り替えます。
- ⑧ リピート、シャッフルの設定や曲の詳細情報を表示します。
- ⑨ リストを表示します。
- ⑩ 音楽再生の音量調整(③)をルートガイドの音量調整に切り替えます。

ちょっと一言

ジェスチャー操作で簡単に音楽機能の操作ができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

音楽を再生する

“メモリースティックデュオ”に保存されている音楽ファイルを再生します。曲の再生中に音楽機能を終了していた場合、前回中断した箇所から再生を開始します。

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 「音楽」をタッチする。
音楽再生画面が表示され、音楽ファイルが再生されます。

曲を選んで再生するには

- 1 音楽再生画面で「リスト」をタッチする。
リスト画面が表示されます。
▶ 再生中(一時停止中)の音楽
▶ フォルダ
ちょっと一言
 - ・音楽ファイルを並べ替えるには、「オプション」→「並べ替え」から、「ファイル名順」、「日時(古い順)」、「日時(新しい順)」、「タイトル(A→Z)」、「タイトル(Z→A)」をタッチしてください。
 - ・表示形式を切り替えるには、「オプション」→「一覧表示形式」→「リスト」、「縮小表示」または「縮小表示付リスト」をタッチしてください。
- 2 再生したいフォルダ名、または曲名(ファイル名)をタッチする。

音楽再生中にナビゲーションを使うには

1 音楽を再生する。

2 現在地ボタンをタッチする。

音楽を再生したまま地図画面が表示されます。



終了 をタッチすると音楽再生を停止します。

ちょっと一言

- 音楽再生画面から地図表示に切り替えるには、「地図へ」をタッチします。地図画面から音楽再生画面に切り替えるには、画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させてから、「表示切替」→「再生画面」をタッチします。
- **起動** をタッチすると音楽再生を再開します。

設定を変更する(オプションメニュー)

オプションメニューを表示すると、音楽再生の設定を変更したり、音楽ファイルの詳細情報を表示します。

1 音楽再生画面で「オプション」をタッチする。

オプションメニューが表示されます。

項目	設定
「リピート」*	「ALL」: “メモリースティックデューオ”にあるすべての曲を繰り返し再生します。 []: 再生中のフォルダーにあるすべての曲を繰り返し再生します。 「1」: 再生中の曲を繰り返し再生します。
「シャッフル」	「SHUF」: 再生範囲のすべての曲を順不同に再生します。 表示なし: 再生範囲のすべての曲を順に繰り返し再生します。
「詳細情報」	再生中の曲の詳細情報を表示します。

* 最大3,000曲まで可能です。

ビデオを見る

こんなことができます

“メモリースティックPROデュオ”(別売)にワンセグを録画したり、パソコンやソニー製のブルーレイレコーダーからビデオファイルを転送すると、ビデオを見ることができます。

走行中は安全のため音声のみ出力され、映像は表示されません。走行中にドライバー以外の方がビデオを視聴する場合は、“nav-u”本体をクレードルからはずしてご覧ください。

再生できるビデオファイルの形式について詳しくは、「再生できるビデオファイル」(118ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

- ワンセグの録画について詳しくは、「ワンセグを録画する」(105ページ)をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーから“メモリースティックPROデュオ”へ転送したデータを再生できます(おでかけ転送)。「おでかけ転送」について詳しくは、お使いのブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製のブルーレイディスクレコーダーやVAIOの「Giga Pocket Digital」で録画したビデオファイルを転送する場合は、“メモリースティックPROデュオ”をお使いください。
- 本機でビデオを録画・再生するには以下の“メモリースティック”が使用できます。
 - “メモリースティックデュオ”
 - “メモリースティックPROデュオ”ただし、おでかけ転送、ワンセグ録画で使用できるのは“メモリースティックPROデュオ”のみです。本機で使用できる“メモリースティック”について詳しくは、「メモリースティックデュオ」について」(147ページ)をご覧ください。

ご注意

- ビデオファイルを“nav-u”本体に直接転送しても、再生できません。

- ビデオ機能の起動中に、ワンセグの録画が始まると、録画ランプが赤色に点灯し、地図画面または録画中のワンセグ視聴画面に切り替わります。録画中は、ビデオ機能を使用できません。ワンセグの録画について詳しくは、「ワンセグを録画する」(105ページ)をご覧ください。

ビデオファイルを転送する

“メモリースティックデュオ”へビデオファイルを転送するには、Windowsのエクスプローラーでビデオファイルをドラッグ&ドロップします。以下の手順で転送してください。

- 1 パソコンにビデオファイルを用意する。**

再生できるビデオファイルについて詳しくは、「再生できるビデオファイル」(118ページ)をご覧ください。
- 2 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。**
- 3 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。**

パソコンに“nav-u”本体(「nav-uシステム(初期化・直接削除等しないこと)」と“メモリースティックデュオ”(リムーバブルディスク))が認識されます。
- 4 パソコンの「マイ コンピュータ」を開く。**
- 5 「リムーバブルディスク」を開く。**
- 6 ビデオファイルをコピーする。**



再生できるビデオファイル

本機では、以下のビデオファイルを再生できます。

- 最大画サイズ
WQVGA(480×272)
- 形式
 - お出かけ転送*
 - 拡張子:mgv、mp4
 - ワンセグビデオ*(録画機:NV-U97VT/U97V/
U77VT/U77V/U76VT/U76V/U75V、PSP)
 - 拡張子:ets
 - AVC Baseline Level 3形式
 - 拡張子:mp4、m4v
 - 最大ビットレート:10 Mbps
 - MPEG4 Simple Profile形式
 - 拡張子:mp4、m4v
 - 最大ビットレート:平均4 Mbps
(ピーク時 6 Mbps)
 - VC1 Simple Profile/Main Profile形式
 - 拡張子:wmv
 - 最大ビットレート:平均3 Mbps
(ピーク時 6 Mbps)

* おでかけ転送、ワンセグ録画で使用できるのは、「メモリスティックPROデュオ」のみです。

ちょっと一言

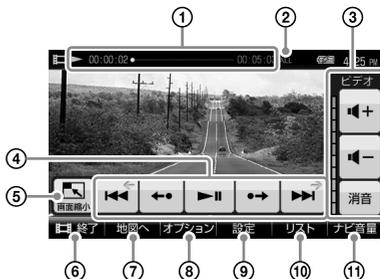
- ビデオファイルをタイトルなどで分類したい場合は、「リムーバルディスク」の中にフォルダーを作成し、その中に分類したいビデオファイルを転送してください。
- 1フォルダーあたり999ファイルまで転送できます。

ご注意

すべてのエンコーダーには対応していません。

ビデオ再生画面

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチしてください。



- ① ビデオの再生状況(早見再生、経過時間、再生の進行度、総再生時間)が表示されます。
- ② ビデオ再生の設定(リピートなど)が表示されます。
- ③ 音量を調整します。
- ④ :再生中のビデオを頭出し再生します。再生時間が3秒未満の場合、前のビデオを頭出し再生します。
:7秒前に戻って再生します。
:再生を始めます。再生中にタッチすると一時停止します。
:13秒先にスキップして再生します。
:次のビデオを頭出し再生します。
- ⑤ 地図画面と縮小したビデオ再生画面を表示します。
- ⑥ ビデオ機能を終了します。
- ⑦ ビデオ再生画面/地図画面を切り替えます。
- ⑧ 早見再生、リピートなどの設定やビデオの詳細情報を表示します。
- ⑨ 画面サイズ、字幕表示設定、二重音声、音声信号を設定します。
- ⑩ リストを表示します。
- ⑪ ビデオ再生の音量調整(③)をルートガイドの音量調整に切り替えます。

ちょっと一言

- 画面上下の表示や操作ボタンは、一定時間操作しないと自動的に消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- ジェスチャー操作で簡単にビデオ機能の操作ができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

ビデオを再生する

“メモリースティックデュオ”に保存されているビデオファイルを再生します。

ビデオファイルの再生中にビデオ機能を終了していた場合、前回中断した箇所から再生を開始します。

1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。

2 メニューボタンをタッチする。

3 [アプリ]タブをタッチする。

4 「ビデオ」をタッチする。

ビデオ再生画面が表示されます。

ビデオを選んで再生するには

1 ビデオ再生画面で「リスト」をタッチする。

リスト画面が表示されます。

- ▶ 再生中(■一時停止中)のビデオ
- 📁 フォルダ

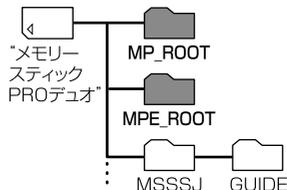
ちょっと一言

- ビデオファイルを並べ替えるには、「オプション」→「並べ替え」から、「ファイル名順」、「日時(古い順)」、「日時(新しい順)」、「タイトル(A→Z)」、「タイトル(Z→A)」をタッチしてください。
- 表示形式を切り替えるには、「オプション」→「一覧表示形式」→「リスト」、「縮小表示」または「縮小表示付リスト」をタッチしてください。

2 再生したいフォルダー名、またはタイトル名(ファイル名)をタッチする。

ちょっと一言

- おでかけ転送や、ワンセグ録画したビデオファイルは以下のフォルダーに保存されています。



- 「MP_ROOT」フォルダー: アナログ放送をおでかけ転送したビデオファイル
- 「MPE_ROOT」フォルダー: デジタル放送をおでかけ転送したビデオファイル、ワンセグ録画したビデオファイル
- ジェスチャー操作で簡単にビデオファイルの頭出しなどができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

ご注意

- 走行中は安全のため音声のみ出力され、映像は表示されません。走行中にドライバー以外の方が録画したビデオを視聴する場合は、“nav-u”本体をクレードルからはずしてご覧ください。
- ビデオファイルによっては、コマ落ちなどが発生する可能性があります。
- ヘッドホンジャックにヘッドホンをつなぐと、“nav-u”本体のスピーカーから音は出ません。

ビデオファイルを削除する

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 「ビデオ」をタッチする。
ビデオ再生画面が表示されます。
- 5 ビデオ再生画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 6 「オプション」をタッチする。
オプションメニューが表示されます。
- 7 「削除」をタッチする。
タイトル名(ファイル名)が表示されます。
- 8 「OK」をタッチする。
ビデオファイルが削除されます。

設定を変更する(オプションメニュー)

オプションメニューを表示すると、ビデオ再生の設定を変更したり、ビデオファイルの詳細情報を表示することができます。

- 1 ビデオ再生画面で「オプション」をタッチする。
オプションメニューが表示されます。

項目	設定
「早見再生」*	「×1.25」:1.25倍速で再生します。 「×1.5」:1.5倍速で再生します。 表示なし:通常で再生します。
「リピート」	「ALL」:“メモリースティックデュオ”にあるすべてのビデオを繰り返し再生します。 []:再生中のフォルダーにあるすべてのビデオを繰り返し再生します。 「1」:再生中のビデオを繰り返し再生します。
「シャッフル」	「SHUF」:再生範囲のすべてのビデオを順不同に再生します。 表示なし:再生範囲のすべてのビデオを順に再生します。
「詳細情報」	ビデオファイルの詳細情報を表示します。
「削除」	選んだビデオファイルを“メモリースティックデュオ”から削除します。

* ビットレートが高いビデオファイルでは早見再生できない場合があります。

設定を変更する(設定メニュー)

設定メニューを表示すると、ビデオ機能全体の設定を変更できます。

- 1 ビデオ再生画面で「設定」をタッチする。
設定メニューが表示されます。

項目	設定
「画面サイズ」	「ノーマル」*:アスペクト比を保ち画面サイズに合わせて表示します。 「フル」*:アスペクト比を保ち上下または左右をカットして、画面いっぱいに表示します。 「オリジナル」:元の画像サイズのまま表示します。
「字幕表示設定 (ワンセグビデオ)」	字幕の表示を「OFF」、「字幕1」、「字幕2」から選べます。
「二重音声 (ワンセグビデオ)」	音声を「主音声」、「副音声」、「主+副音声」から選べます。
「音声信号 (ワンセグビデオ)」	音声信号を「第1音声」、「第2音声」から選べます。

* ビデオファイルによっては本機の負荷が大きくなる場合があります。このような場合、画面サイズが自動的に「オリジナル」に切り替わります。

写真を見る

こんなことができます

ソニー製のデジタルカメラでお使いの“メモリースティックデュオ”(別売)を“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入すると、“メモリースティックデュオ”に保存されている写真を見ることができます。

また、“メモリースティックデュオ”に「DCIM」フォルダーを作成し、パソコンに保存されているJPEG形式の写真ファイルを「DCIM」フォルダーへ転送しても、“nav-u”本体で写真を見ることができます。

再生できる写真ファイルの形式について詳しくは、「再生できる写真ファイル」(122ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

本機で写真を再生するには以下の“メモリースティック”が使用できます。
- “メモリースティックデュオ”
- “メモリースティックPROデュオ”

本機で使用できる“メモリースティック”について詳しくは、「“メモリースティックデュオ”について」(147ページ)をご覧ください。

ご注意

写真ファイルを“nav-u”本体に直接転送しても、再生できません。

パソコンの写真ファイルを転送するには
“メモリースティックデュオ”へ写真ファイルを転送するには、Windowsのエクスプローラーで写真ファイルをドラッグ&ドロップします。
以下の手順で転送してください。

1 パソコンに写真ファイルを用意する。
再生できる写真ファイルについて詳しくは、右記の「再生できる写真ファイル」をご覧ください。

2 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックデュオ”を挿入する。

3 付属のUSBケーブルで“nav-u”本体をパソコンに接続する。

パソコンに“nav-u”本体（「nav-uシステム（初期化・直接削除等しないこと）」と“メモリースティックデュオ”（「リムーバブルディスク」）が認識されます。

4 パソコンの「マイ コンピュータ」を開く。

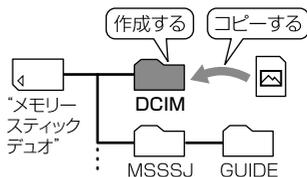
5 「リムーバブルディスク」を開く。

6 「DCIM」という名前のフォルダーを作成する。

ご注意

- ・「DCIM」は半角で入力してください。
- ・「DCIM」以外の名前では、本機は写真ファイルとして認識しません。

7 「DCIM」フォルダーに写真ファイルをコピーする。



再生できる写真ファイル

本機では、以下の写真ファイルを再生できます。

JPEG形式*

- 拡張子: JPG、JPEG
- 画素数: 最大2,460万画素

* ディレクトリー番号やファイル番号が重複している場合など、写真ファイルを表示できないことがあります。

写真表示画面

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチしてください。



- ① 写真ファイル名、撮影日(年/月/日)、撮影時刻が表示されます。
- ② ◀: 1つ前の写真を表示します。
◻: 現在のフォルダーにある写真でスライドショーを始めます。
▶: 次の写真を表示します。
- ③ 写真機能を終了します。
- ④ 写真を右回転/左回転します。
- ⑤ スライドショーの設定や写真を並べ替えます。
- ⑥ リストを表示します。

ちょっと一言

- ・画面上下の表示や操作ボタンは、一定時間操作しないと自動的に消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- ・ジェスチャー操作で簡単にスライドショーの再生などができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

写真を見る

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティック デュオ”スロットに“メモリースティック デュオ”を挿入する。
- 2 メニューボタンをタッチする。
- 3 [アプリ]タブをタッチする。
- 4 「写真」をタッチする。
写真または写真ファイル名が一覧表示されます。
- 5 表示したい写真をタッチする。
写真が表示されます。

スライドショーを始めるには

- 1 写真表示画面をタッチする。
操作ボタンが表示されます。
- 2 ◻ をタッチする。
スライドショーが開始されます。

ちょっと一言

- ・本機では、写真ファイルを最大1,000枚まで再生できます。
- ・以下の項目を選ぶと、写真ファイルの表示方法を切り替えることができます。
 - 「サムネイル」: 縮小画像の一覧表示
 - 「リスト」: 写真ファイル名の一覧表示
- ・ジェスチャー操作で簡単にスライドショーの再生などができます。ジェスチャー操作について詳しくは、「ジェスチャー操作一覧」(190ページ)をご覧ください。

設定を変更する(設定メニュー)

設定メニューを表示すると、スライドショーなどの設定を変更することができます。

1 写真表示画面で「リスト」をタッチする。

2 「設定」をタッチする。

設定メニューが表示されます。

項目	設定
「スライドショーの間隔」	スライドが移り変わる間隔を「短い」、「ふつう」、「長い」から選べます。
「スライドショーリピート」	スライドショーを繰り返し表示するかどうかを「ON」、「OFF」から選べます。
「並べ替え」	写真ファイルを「撮影日(昇順)」、 「撮影日(降順)」、 「ファイル名順」 で並べ替えます。
「スライドショー再生範囲」	「すべて」:「メモリースティックデュオ」にあるすべての写真を再生します。 「フォルダー」:再生中のフォルダーにあるすべての写真を再生します。

* 写真を加工した場合、加工した日時になります。

パソコンやブルーレイディスク レコーダーと接続して使う

パソコンと接続する	126
ブルーレイディスクレコーダーと接続する(おでかけ転送)	131

パソコンと接続する

こんなことができます

下記の“nav-u”のサポートページからダウンロードしたnav-uツール(PCアプリケーション)をインストールすると、マークの編集や“nav-u”本体のファームウェア更新などことができます。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

ご注意

“nav-u”のサポートページを見るには、パソコンをインターネットに接続できる環境と、プロバイダー契約が必要です。

ガイドブックを転送する

- ・パソコンから“nav-u”本体や“メモリースティックデュオ”(別売)にガイドブックを転送する。
- ・転送したガイドブックを削除する。

マークを編集／転送する

- ・“nav-u”本体で登録したマークをパソコンから編集する。
- ・“nav-u”本体で登録したマークをパソコンに転送する。
- ・パソコン上のマークをパソコンで編集する。
- ・パソコンから“nav-u”本体にマークを転送する。

“nav-u”本体の地図データ／ガイドブックをバックアップ／リストアする

“nav-u”本体に地図データを転送する

ご注意

“メモリースティックPROデュオ”に地図データは転送できません。

“nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールを更新する

- ・“nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールを自動でダウンロードし、更新する。
- ・“nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールが最新かどうか手動で確認する。
- ・“nav-u”本体のファームウェアやパソコンのnav-uツールを手動で更新する。

“nav-u”本体の地図データを更新する

ちょっと一言

- ・操作方法については、PCアプリケーションの「取扱説明書」(PDF)をご覧ください。
- ・ファームウェアや地図データの最新情報は、下記のホームページでご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

ご注意

地図データなどを転送する場合は、必ずお使いの“nav-u”の機種に対応したデータを転送してください。対応していないデータは転送できません。

PCアプリケーションの「取扱説明書」(PDF)を読むには

PCアプリケーションの「取扱説明書」は、下記のサポートページからダウンロードしてください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

PDFを読むには、Adobe Readerが必要です。お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社ホームページより最新のAdobe Readerを入手し、インストールしてください。

1 動作環境を確認する。

ホームページからダウンロードしたnav-uツール(PCアプリケーション)を使うには、以下のハードウェアが必要です。パソコンの取扱説明書をお読みのうえ、動作環境を確認してください。

nav-uツールの動作環境

パソコン	規格:IBM PC/AT互換機 - CPU:Pentium® IIIプロセッサ 800MHz以上 - ハードディスク空き領域:300MB以上(500MB以上を推奨)* - メモリー:128MB以上(256MB以上を推奨) - USB端子
OS	Windows® XP Home Edition、 Windows® XP Professional(Service Pack 3適用済みに限る) Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、 Windows Vista® Business、Windows Vista® Ultimate(Service Pack 2適用済みに限る)※64 ビット版含む Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Ultimate(Service Pack 1適用済みに限る)※64ビット版含む
ディスプレイ	ハイカラー(16ビット)以上、800×600ドット以上
その他	インターネット接続環境 (nav-uツールのダウンロードや地図データ、ソフトウェアの最新情報を確認する場合に必要です。)

* 本機にあらかじめ収録されているデータをバックアップするには、8GB以上のハードディスク空き領域が必要です。

以下のシステム環境での動作は保証しません。

- 上記の表に記載されている以外のOS
- NEC PC98シリーズとその互換機、またはMacintosh®など
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチディスプレイ環境
- マルチブート環境
- 仮想マシン環境

ご注意

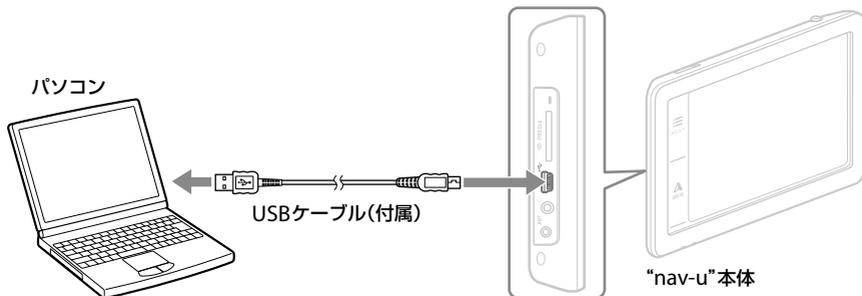
推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

2 ホームページからダウンロードしたnav-uツールを、パソコンにインストールする。

インストールの方法については、下記のサポートページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

3 本機をパソコンにつなぐ。(129ページ)



1 USBケーブルで“nav-u”本体とパソコンを接続する。

パソコンのUSB端子の位置については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 “nav-u”本体の電源を入れる。

ちょっと一言

USBケーブルを使用してパソコンと接続しているときに、本機の画面の「ナビゲーションを起動」をタッチすると“nav-u”に地図が表示されます。そのとき下記のような状態になります。

- ナビゲーションとして使うことができます。
- nav-uツールでデータを転送できません。
- パソコンからUSBケーブル経由で電源が供給されますが、充電はされません。使用状況により内蔵電池も消費します。その場合、使い続けると内蔵電池が空になり、電源が切れることがあります。

再度データの転送や充電をしたい場合は、USBケーブルをいったん抜いて再度接続しなおしてください。

ご注意

Windowsの設定によっては、“nav-u”本体のフラッシュメモリーに格納されているファイルが表示される場合があります。故障の原因となりますので、以下のことを行わないでください。

- ・“nav-u”本体のフラッシュメモリーに格納されているファイルの削除／移動、ファイル名の変更。
- ・“nav-u”本体のフラッシュメモリーにファイルを追加。

パソコンから本機をはずすには

必ず以下の手順ではずしてください。正しい手順で“nav-u”をはずさないと、データが壊れる可能性があります。

Windows7の場合

- 1** タスクトレイの  (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す)をクリックする。
- 2** 「nav-uシステム(初期化・直接削除等しないこと)(F:)の取り外し」 をクリックする。
本機をパソコンから安全に取りはずせる状態になり、パソコンの画面にメッセージが表示されます。
「(F:)」は、お使いの環境によって異なります。
ちょっと一言
“nav-u”本体のPC接続画面は接続中のままですが、に取りはずし可能の表示が出れば、安全に取りはずせます。
- 3** “nav-u”本体のI/⏻ボタンを押す。
電源が切れます。
- 4** “nav-u”本体とパソコンからUSBケーブルをはずす。

ブルーレイディスクレコーダーと接続する (おでかけ転送)

こんなことができます

「おでかけ転送」に対応したソニー製ブルーレイディスクレコーダーから「メモリースティックPROデュオ」(別売)へ転送したデータを本機のビデオ機能で再生できます。「おでかけ転送」について詳しくは、お使いのブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 本機で「おでかけ転送」をするには以下の「メモリースティック」が使用できます。
 - 「メモリースティックPROデュオ」本機で使用できる「メモリースティック」について詳しくは、「メモリースティックデュオ」について(147ページ)をご覧ください。
- 本機と接続できる「おでかけ転送」対応ブルーレイディスクレコーダーの最新情報は、「nav-u」のサポートページ(下記URL)の「製品活用メニュー」の「他機器との接続情報」でご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

ブルーレイディスクレコーダーと本機を接続する

- 1 “nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに“メモリースティックPROデュオ”を挿入する。
- 2 USBケーブルで“nav-u”本体とブルーレイディスクレコーダーを接続する。
ブルーレイディスクレコーダーのUSB端子の位置については、お使いのブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 3 “nav-u”本体の電源を入れる。

ちょっと一言

ブルーレイディスクレコーダーからUSBケーブル経由で“nav-u”本体に電源が供給されます。

ご注意

- ブルーレイディスクレコーダーと“nav-u”をUSBケーブルで接続しているときに、本機の画面の「ナビゲーション」を起動)をタッチしないでください。転送中にタッチすると、正しく転送できません。転送に失敗した場合はUSBケーブルをいったん抜いて接続しなおし、再度転送してください。
- 手順どおりに接続しないと、“nav-u”本体の“メモリースティックデュオ”スロットに挿入された“メモリースティックPROデュオ”がブルーレイディスクレコーダーに正しく認識されません。接続順を間違えた場合は、再度接続しなおしてください。
- お使いのブルーレイディスクレコーダーによっては、おでかけ転送先の機器に「PSP」または「ウォークマン」と表示される場合があります。
「PSP」と表示されている場合、転送したビデオを再生できません。おでかけ転送機器の設定を「ウォークマン」に変更してください。

その他

現在地表示について	134
地図について	136
アウトドア地図について	141
VICSについて.....	141
VICS情報有料放送サービス契約約款(NV-U97VTのみ).....	143
ガイドブックデータについて	145
ワンセグの受信について	145
“メモリースティックデュオ”について	147
ソフトウェア使用許諾契約書について.....	149
商標と著作権について	162
使用上のご注意とお手入れ	163
廃棄時のお願い.....	171
主な仕様.....	172
保証書とアフターサービス	174

現在地表示について

現在地は、GPS衛星の電波の受信、および加速度センサー、ジャイロセンサー、マップマッチングの働きで測定されています。

GPSとは

Global Positioning System(全世界測位システムの意味)の略。GPS衛星は位置測定用電波を地上に放射しています。ナビゲーションシステムではこの電波を受信し、現在地を算出しています。カーナビゲーションシステムのGPS測位は場合によっては数十mから約200mの誤差が生じることがあります。

受信状況を確認するには

GPSの受信状況は、メニューボタン→[設定]タブ→「設定」→「システム設定」→「測位情報」(94ページ)で確認できます。



GPSの受信状況(現在地の測定には、目安として黄色とオレンジの受信が合わせて4個以上必要です)

本機の自律航法について

現在地は、GPS衛星の電波の受信、および加速度センサー、ジャイロセンサー、マップマッチングの働きで測定されています。

高架下やトンネルなどでGPS衛星からの電波が一時的に途切れても、現在地を測定して表示することができます。

状況によっては現在地がずれることがありますが、GPS衛星が受信できる状態でしばらく走行すると、現在地が修正されます。

本機能は、“nav-u”本体をクレードルに取り付け、電源を入れた後、GPSを受信した状態でしばらく走行すると、働くようになります。

ご注意

クレードルからはずした状態では、自律航法は働きません。

マップマッチングとは

車で使用するとき、GPS衛星の電波や加速度センサーなどで測位された現在地を地図データと照らし合わせるにより、地図上の現在地表示のずれを補正する機能です。

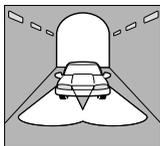
この機能は地図データにマップマッチングデータのある道路でのみ働きます。

徒歩モード、アウトドアモードで使用するとき、この機能は働きません。

現在地を測定しづらい場所について

以下のような場合、現在地が正しく表示されな
いことがあります。

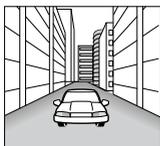
トンネルの中や地下



高架の下



高層ビルの間



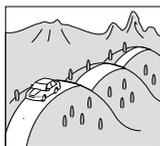
密集した樹木の間



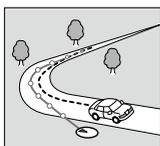
V字の谷



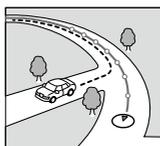
勾配の急な坂道



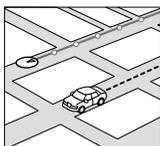
急なカーブ



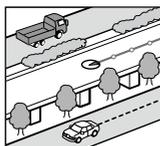
角度の小さなY字路



並行している道がある



有料道路と一般道路
が並行している



その他、以下のような場合も現在地が正しく表
示されない場合があります。

- 地図にない道路や駐車場を走行しているとき
- 電車で移動している場合
- 電源を切った状態で走行した場合
- 電源を入れてGPSを正しく受信できるまでの間
- クレードルからはずされた状態での使用
- “nav-u”本体の設置場所付近に他の電気製品がある場合
- 熱線防止ガラスなどによりGPSを正しく受信できない場合
- 建物の中
- ETC車載機器、携帯電話などの電波を放射する電子機器の近くに取り付けた場合

地図について

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

本書には、お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。



禁止

「してはいけない内容」を示しています。



指示

「しなければならない内容」を示しています。



警告



禁止

歩行者や運転者は、歩行中、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。

他人や物にぶつかってケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。



指示

歩行者や運転者は、安全な場所に停止してから操作してください。

他人や物にぶつかってケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。



指示

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して歩行、走行してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、その案内などに従った歩行、走行により、ケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。



指示

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示は全ての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

禁止

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。



指示

徒歩モードを使用して通行する場合は、常に周囲の実際の状況を確認し、実際の交通規制標識・標示等に従ってください。

探索されたルートの中に自動車専用道等が含まれる場合があり、誤って自動車専用道等を通行して交通事故を招くおそれがあります。



禁止

歩行者や運転者は、歩行中、走行中にヘッドホンを使用しないでください。外部の音が聞こえにくくなること等により、他人や物にぶつかってケガをしたり、交通事故を招いたりするおそれがあります。

収録情報について

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図、50万分の1地方図を使用しています。
〔【NV-U97VT】平20業使、第204-821号・平21業使、第757-298号、【NV-U97V】平20業使、第204-820号・平21業使、第757-297号）
- 本ソフトウェアに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法第44条に基づく成果使用承認07-173）
- 渋滞予測は現況の渋滞情報を考慮したものではありません。過去の統計情報を基に渋滞を予測・回避したルートをご案内しています。（予測データ提供元：NTTデータ、情報提供元：JARTIC/VICSセンター）
- vicsは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトウェアで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2011年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2011年1月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。ご了承ください。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。
- 電話番号検索データはタウンページをもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、「公開電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。

- ・ VICSリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトウェアは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。
- ・ この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)

VICS情報についてのお問い合わせ先

文字表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、VICSの概念、サービス提供エリアに関して

VICSセンター(サービスサポートセンター)

電話によるお問い合わせ

電話番号:0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

受付時間:9:30 ~ 17:45(土曜、日曜、祝日を除く)

FAXによるお問い合わせ

FAX番号:(03)3562-1719

また、VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などはホームページ

(URL:<http://www.vics.or.jp/>)でご覧いただけます。

本ソフトウェアの情報について

本ソフトウェアは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいております。

- ・ 道路:2011年4月(高速・有料道路)／2011年1月(国道・都道府県道)
- ・ 交通規制*1:2011年3月
- ・ 住所検索:2011年3月
- ・ 施設電話番号検索:2011年3月
- ・ 個人宅電話番号検索:2011年2月
- ・ ジャンル検索:2011年2月
- ・ 高速・有料道路料金*2:2011年3月
- ・ 詳細地図:2010年11月

*1 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

*2 料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、2010年6月から始まった高速道路の無料化社会実験事業の情報に対応しています。収録時の料金と実際の料金は異なる場合があります。

地図・検索データの内容についてのお問い合わせ先

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター



0120-210-616

受付時間 10:00 ~ 17:00月~金(祝日・ゼンリン指定休日は除く)

- ※ 携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。
- ※ IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

2011年10月発行

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2011 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2011 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© 2011 AREX CO., LTD.

© 2011 ZENRIN CO., LTD.

© ジオ技術研究所

検索データについて

本機には、以下のデータが収録されています。

- ・「住所」検索:約3,500万件
- ・「電話番号」検索:約1,000万件
- ・「個人宅電話番号」検索:約2,000万件
- ・「名称」検索:約1,000万件
- ・「ジャンル」検索:約200万件
- ・「最寄」検索:約1,000万件

地図表示記号の例

-  都道府県庁舎／北海道支庁舎(オレンジ色)
-  市役所／特別区庁舎(黄色)
-  町村役場／政令指定都市区役所庁舎
-  消防署(含む:分署／支署／出張所)
-  工場
-  港
-  マリーナ
-  史跡／旧跡、観光名所
-  スタジアム
-  運動施設
-  城跡
-  山頂
-  自衛隊
-  墓地
-  サッカースタジアム
-  大学
-  高等学校

立体ランドマークの例

-  東京駅
-  六本木ヒルズ(森タワー)
-  ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
-  東京タワー
-  厳島神社(大鳥居)
-  姫路城
-  鹿苑寺金閣
-  出雲大社(本殿)
-  横浜ランドマークタワー

高速情報アイコンの例

-  TEL 公衆電話
-  トイレ
-  障がい者施設
-  SHACK 軽食
-  レストラン
-  郵便ポスト
-  SHOP 名産
-  HOTEL 宿
-  BANK 銀行キャッシュコーナー

本ディスクの地図・検索データの内容に関するお問い合わせは、株式会社ゼンリンカスタマーサポートセンターへお願いします。

お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙の「地図・検索データの内容についてのお問い合わせ先」をご確認ください。

アウトドア地図に ついて

収録情報について

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものです。(承認番号 平22業複、第617号)

VICSについて

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、VICSセンターで、最新の道路交通情報を一元化して編集処理したものを、ドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。情報は5分ごとに更新されます。

FM多重放送の情報を受信するには、NV-U97VTに付属のFM VICSユニットが必要です。また、電波ビーコンや光ビーコンの情報を受信するには、別売のVICSビーコンユニットが必要です。FM VICSユニットとVICSビーコンユニットは、同時にお使いいただけます。

提供されるVICS情報について

VICS情報には以下のようなものがあります。

渋滞情報: 渋滞地点、渋滞区間など

所要時間情報: 主要地点間の所要時間

交通障害情報: 事故、故障車、工事など

交通規制情報: 通行止め、速度規制、車線規制など

駐車場情報: 駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など

VICS情報の提供方法

VICS情報は以下の3つの方法で提供されています。

FM多重放送: 一般道路(都道府県単位)／高速道路の広域情報

電波ビーコン: 周辺一般道路／高速道路(前方約200km)の狭域情報

光ビーコン: 一般道路(前方約10数km)／高速道路の狭域情報

ちょっと一言

VICSユニット接続時、以下のようなことがあります。故障ではありません。

- 高速道路付近の一般道路走行中に、高速道路のVICS情報を受信する。
- 一般道路走行中に、対向車線のVICS情報を受信する。
- トンネルの中では、VICS情報を受信しない。
- 大型車と並走したり、大型車を追い越したりしたときに、VICS情報を受信しない。
- 幅の広い道路や車線数の多い道路では、VICS情報を受信しない。

VICS情報の表示形態

VICS情報は以下の3種類の表示形態で提供されます。

文字表示型(レベル1)

VICS情報が文字で表示されます。最新の道路交通情報を文字で提供し、ドライバーのルート選択をサポートします。



簡易図形表示型(レベル2)

パターン化された図形や文字によって、渋滞箇所や区間の所要時間が表示されます。走行方向前方の道路交通状況がひと目でわかり、ルート選択の参考になります。



地図表示型(レベル3)

ナビシステムの地図画面に、渋滞情報(赤:渋滞、オレンジ:混雑)や規制情報のアイコンなどが表示されます。



VICS情報有料放送 サービス契約約款 (NV-U97VTのみ)

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
- (4) 当センターとVICSサービス契約を締結した者

第4条 VICSデスクランブラーFM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

次ページへつづく➡

（加入者が行う契約の解除）

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

（料金の支払い義務）

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

（当センターの保守管理責任）

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】

視聴料金315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

ガイドブックデータについて

本機に格納されているガイドブックデータについては、各提供元よりデータを入手し格納しています。各提供元は独自に情報を収集・調査していますが、収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

ガイドブックデータの情報について

本機に格納されているガイドブックデータは、おおむね以下の年月時点の情報に基づいております。

- ・グルメびあ:2010年10月
- ・全国名物料理マップ:2011年3月
- ・地魚が食べられるお店:2010年10月
- ・GDO(ゴルフダイジェストオンライン):2010年12月
- ・びあ こどもと遊ぼう 買う食事:2011年5月
- ・びあ こどもと遊ぼう 遊ぶ見る:2011年5月
- ・全国立ち寄り温泉マップ:2010年10月
- ・全国日帰り温泉マップ:2010年9月
- ・道の駅マップ 全国版:2010年11月
- ・地図で知る日本:2010年8月

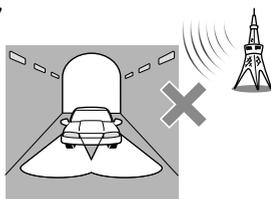
ワンセグの受信について

快適にワンセグをお楽しみいただくためのポイントをご紹介します。

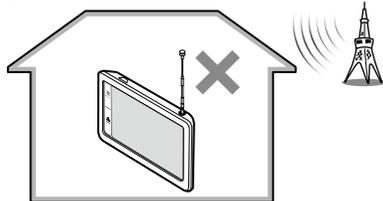
ご使用前の確認

- ・本機は車内でワンセグを受信できますが、放送局からの電波を直接受信するため、受信環境や使用状態によってはワンセグを受信できない場合があります。ご使用前にワンセグの受信環境について確認してください。
- ・使用する場所が**地上デジタル放送のエリア内**か確認してください。ワンセグ放送エリアの詳細については下記のホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)
<http://www.dpa.or.jp/>
- ・ワンセグは地上デジタル放送のサービスの1つです。視聴できるチャンネルは地域によって異なります。
- ・トンネルや地下、建物の奥など、電波が弱い場所や電波が届かない場所では、ワンセグを受信できないことがあります。

トンネル

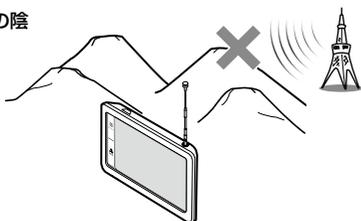


建物の奥

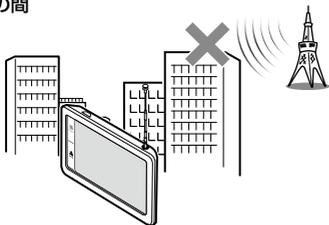


- 地上デジタル放送のエリア内であっても、地形や建物などによって電波がさえぎられ、受信できないことがあります。

山の陰



ビルの間



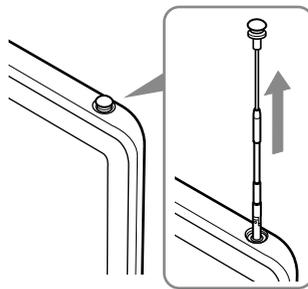
- 故障の原因になりますので、ご家庭のTVアンテナを外部ワンセグアンテナ端子に直接接続しないでください。

ワンセグを見るための準備

本機でワンセグ放送を視聴するには、チャンネルリストの設定が必要です。
ワンセグ放送の電波が受信できるエリア内で、「ワンセグを見る」(103ページ)に従って、チャンネルリストを設定してください。

ワンセグを安定して受信するには

- ワンセグを受信するときは、ホイップアンテナを伸ばしきってください。



ホイップアンテナを伸ばしきらないと、ワンセグの受信感度が著しく悪くなったり、ホイップアンテナが固定されない場合があります。

- 受信状態が最も良くなるようにホイップアンテナの角度を調節してください。
- 取り付け位置を変えてください。
ワンセグを受信しやすいよう、他の機器や金属などの障がい物がない場所を選んでください。

“メモリースティックデュオ”について

“メモリースティックデュオ”（別売）を使うと、下記の機能を使うことができます。

「ナビゲーションのいろいろな操作」

- ・“nav-u”にルートを入力して出発する（アウトドアモード）（78ページ）
- ・アウトドア地図を使うには（80ページ）
- ・GPSログを保存する（83、94ページ）

「編集・設定をする」

- ・「インポート」（「ルートの編集」（アウトドアモードのみ））（88ページ）
- ・マークをバックアップ／リストア／エクスポート／インポートする（「マークの編集」）（90ページ）
- ・「ルートのインポート」（「設定」-「地図表示」）（99ページ）
- ・交通規制情報をインポートする（「設定」-「交通情報」）（100ページ）

「アプリケーション機能を楽しむ」

- ・ワンセグを録画する*（105ページ）
- ・ガイドブックを見る（プリインストール以外のデータを使う場合）（111ページ）
- ・音楽を聞く（113ページ）
- ・ビデオを見る（117ページ）
- ・写真を見る（121ページ）

「パソコンやブルーレイディスクレコーダーと接続して使う」

- ・ブルーレイディスクレコーダーと接続する（おでかけ転送）*（131ページ）

* “メモリースティックPROデュオ”が必要です。

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて大容量のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

本機で対応している“メモリースティック”

本機では以下の“メモリースティック”が使用できます。

- ・“メモリースティックデュオ”（マジックゲート*¹非対応）
 - ・“マジックゲート*¹メモリースティックデュオ”*²
 - ・“メモリースティックPROデュオ”
- *¹ “MagicGate”（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。
*² マジックゲートによってコピーが禁止されているデータの書き込み／読み取りはできません。

本機では、32GB以下の“メモリースティックデュオ”が使用可能です。

ただし、32GB以下のすべての“メモリースティックデュオ”を保証するものではありません。

“メモリースティックPROデュオ”以外の“メモリースティック”は、ワンセグの録画、おでかけ転送に対応していません。

“メモリースティックデュオ”に記録・再生できるファイルサイズは、1ファイルにつき4GB未満です。

対応“メモリースティック”の最新情報は、下記のホームページでご確認ください。

<http://www.sony.jp/memorystick/compatible/index.html>

“メモリスティックデュオ”使用上のご注意

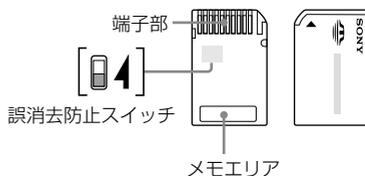
- ・本機は高速データ転送には対応していません。
- ・“メモリスティックデュオ”は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- ・“メモリスティックデュオ”は、小さな子供の手が届く範囲に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。
- ・読み込み中や書き込み中に“メモリスティックデュオ”を抜かないでください。
- ・以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中や書き込み中に“メモリスティックデュオ”を抜いたり、電源を切ったりした場合。
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合。
- ・大切なデータは必ずバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・著作権の対象になっているデータの記録された“メモリスティックデュオ”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

フォーマット(初期化)についてのご注意

- ・すでにデータが書き込まれている“メモリスティック”メディアをフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。**誤って大切なデータを消去することがないようにご注意ください。**
- ・“メモリスティックデュオ”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。
- ・フォーマット(初期化)が必要な場合は必ず、以下の手順でフォーマットを行ってください。
メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[M.S.フォーマット](94ページ)

- ・Windows®エクスプローラーで初期化された“メモリスティック”を入れると、FORMAT ERRORになり、本機では使えません。

“メモリスティックデュオ”の取り扱いについて



- ・端子部には手や金属で触れないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・分解したり、改造したりしないでください。
- ・水にぬらさないでください。
- ・以下のような場所での使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ・誤消去防止スイッチのない“メモリスティックデュオ”を使用するときは、大切なデータを誤って編集/消去しないようご注意ください。
- ・誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- ・誤消去防止スイッチは、先の細いもので切り換えてください。
- ・メモリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- ・持ち運びや保管をするときは、付属の収納ケースに入れてください。

ソフトウェア使用許諾 契約書について

以下では、弊社製パーソナルナビゲーションシステム(型名: NV-U97VT/U97V)用ソフトウェアの使用許諾に関する条件を定めております。当該パーソナルナビゲーションシステムを使用する前に以下をご一読願います。尚、お客様が当該パーソナルナビゲーションシステムを使用した時点で、お客様が以下の条件に同意したものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様(以下「使用者」といいます)と弊社(以下「ソニー」といいます)との間での許諾ソフトウェアの使用権の許諾に関して合意するものです。尚、「許諾ソフトウェア」とは、ソニー製パーソナルナビゲーションシステム(型名: NV-U97VT/U97V、以下総称して「本製品」といいます)用に、本製品とともに、またはCD-ROM、オンラインのアップデートやアップグレードとしてお客様に提供されるソフトウェアで、「GNU General Public License」(<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>)又は「GNU Lesser General Public License」(<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>)が適用されるソフトウェアを除いたもの(以下「許諾ソフトウェア」といいます)を意味します。また、株式会社ゼンリンの地図データおよび検索情報等のデータについては、本契約は適用されず、本社指定の「使用規定」が適用されます。

第1条(総則)

ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条(使用権)

1. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品を使用する目的で、許諾ソフトウェア1部を本製品とともに、または特定の一台のパーソナルコンピューターにおいてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。

2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的目的に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも使用または頒布する事はできません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、ネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条(許諾条件)

1. 使用者は、本製品および許諾ソフトウェアの全て(その複製、関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む)を譲渡し、自らの手元に一切の複製物を残さないことを条件に、前条に規定する使用権を第三者に譲渡することができるものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアを日本国外に輸出又は移送してはならないものとします。
3. 使用者は許諾ソフトウェアに関し逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条(許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許された原権利者(以下原権利者)とします)に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条(ソニーの免責)

ソニーは、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条(第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

次ページへつづく➡

第7条(秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条(契約の解除)

ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条(許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとし、その旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第10条(著作権保護)

使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びそれに関連する法律に従うものとします。

第11条(自動アップデート機能)

使用者がソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに指定PCを接続した際に、ソニーがセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上の目的で許諾ソフトウェアを適宜自動的にアップデートすることに使用者は同意し、アップデートされた許諾ソフトウェアにつきましても本使用許諾契約書の各条件が適用されるものとします。

第12条(その他)

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. 本契約終了後も、第4条、第5条、第6条、第7条、第9条、第12条は有効に存続するものとします。
3. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
4. 本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本機に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフトウェア」)の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合等、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要！！

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の、本機に格納されている本ソフトウェアの使用許諾条件を定めたものです。本ソフトウェアのご使用前に必ずお読みください。本ソフトウェアを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、本書(「取説」)の定めに従い、本ソフトウェアを本機で使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトウェアのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に、以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトウェアを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
3. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトウェアの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトウェアおよび本ソフトウェアを使用することによりなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても、本ソフトウェアの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - (3) 弊社は、本ソフトウェアに関する損害賠償責任を、弊社の故意または重大失による場合を除き、一切負わないこと。なお、この規定は、本ソフトウェアに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。

- (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
4. お客様は、以下の行為をしてはならないものとしめます。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトウェアの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフトウェア(形態の如何を問わずその全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) その他本ソフトウェアについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

本製品には以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。alsa-lib, alsa-utils, busybox, dosfstools, e2fsprogs, gcc(libgcc), glibc, GnuPG, libiconv, Linux Kernel, procps, util-linux お客様はGPL/LGPLの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。本製品で使用しているGPL/LGPL適用ソースコードを希望されるお客様は、以下のWebサイトへアクセスし、入手してください。<http://www.sony.net/Products/Linux/> なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it. For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

その他

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the

files and the date of any change.

- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program. In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
 - a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
 - b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no

more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

- 4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
- 5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
- 6. Each time you redistribute the Program (or any work

based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

- 7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

- 8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
- 9. The Free Software Foundation may publish revised

and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to

use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a

program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not

apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library

by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the

complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted,

and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
 9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
 10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
 11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of

software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

<Eric Young's blowfish implementation>

Copyright (C) 1995-1997 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an Blowfish implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution.

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The license and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution license [including the GNU Public License.]

The reason behind this being stated in this direct manner is past experience in code simply being copied and the attribution removed from it and then being distributed as part of other packages. This implementation was a non-trivial and unpaid effort.

<libjpeg>

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

<libpng>

Copyright (c) 1998-2010 Glenn Randers-Pehrson
Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger
Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

<ncurses>

Copyright (c) 1998-2004,2006 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person

obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

<zlib>

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

<Expat>

Copyright (C) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (C) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM,

DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<NetBSD>

Copyright (C) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass. This product includes software developed by Bill Paul. This product includes software developed by Brini.

This product includes software developed by Causality Limited.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christian E. Hopps.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Gardner Buchanan.

This product includes software developed by Gordon W. Ross.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Mark Brinicombe.

This product includes software developed by Rolf Grossmann.

This product includes software developed by Tools GmbH.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by the RiscBSD team.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner.

Announcement of libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Announcement of libvorbis

Copyright (c) 2002-2004 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

商標と著作権について

- “Memory Stick” (“メモリースティック”)、
“Memory Stick Duo”、“Memory Stick PRO”、“Memory Stick PRO Duo”、
“MagicGate” (“マジックゲート”)、
MAGICGATEおよびは、ソニー株式会社の商標です。
- “nav-u”、**nav-u**、“POBox”およびはソニー株式会社の登録商標です。
- **PetaMap** および“PetaMap”はソニーマーケティング株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
-  **vic's** は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

<新ゴR>

本製品に搭載されているフォントプログラムは株式会社モリサワより提供を受けており、このフォントプログラムの書体名「新ゴR」は同社の商標であり、そのフォントプログラムの著作権は同社に帰属します。

<MPEG-4 Visual>

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG 4 VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) MPEG-4 VIDEO(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもので、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

<mp3>

"MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson."

<MPEG-4 Audio>

["Do Not Copy" Notice] Licensed Products may not be decompiled, reverse-engineered, or copied, except with regard to PC Software, End-Users may make single copies for archival purposes.

使用上のご注意と お手入れ

安全のために



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

正しく取り付ける

本機をご自分で取り付けるときは別冊の「取付と接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。



指示

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



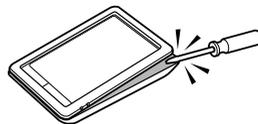
禁止

分解や改造をしない(廃棄時を除く)

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止



24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



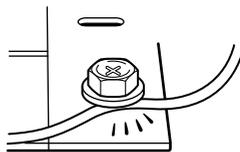
運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

事故や感電、火災の原因となります。次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



次ページへつづく →

法令に従って、前方の視界を妨げる場所に取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



エアバッグの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



本体をダッシュボードに放置しない

ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置すると、電池の液漏れ、破裂によりけがの原因となります。



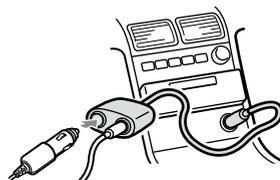
運転者はヘッドホンを使用しない

運転者は運転中にヘッドホンを絶対に使用しないでください。事故やけがの原因となります。



タコ足配線をしない

二又ソケットなどを利用したタコ足配線から電源を取ると配線が加熱し、火災や感電の原因となります。



シガープラグやACアダプターに水などをかけない

水などがかかると火災や感電の原因となります。万一、水などがかかったときは、すぐにプラグを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



シガープラグは確実に挿入する

奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと異常発熱して火災などの原因となります。また、シガープラグを差し込むときや抜くときは、イグニッションスイッチをOFFにしてください。



シガーライターソケットを点検・清掃する

シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。シガープラグが発熱すると、火災などの原因となります。



指示



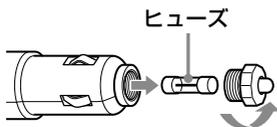
規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。

規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示

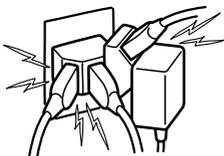


タコ足配線をしな

配線器具をタコ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。



禁止

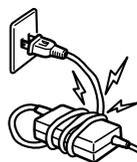


ACアダプターコードや電源コードをACアダプターに巻き付けない

断線して火災の原因となることがあります。



禁止



指定のACアダプターやシガー電源コード以外は使用しない

火災や感電の原因となります。



禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



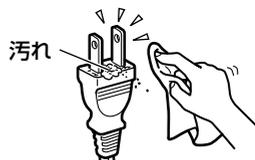
指示

電源プラグは定期的に入入れをする

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。



指示



⚠ 注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり
自動車や周辺の物品に損害を与え
たりすることがあります。

本体を確実に取り付ける

本体を確実にクレードルに取り付けないと、落ちるなどして、事故やけがの原因となることがあります。取り付け後は、確実に取り付けられていることを確認してください。



指示



クレードルを確実に取り付ける

クレードルを付属の説明書の説明に従って、確実にダッシュボードに取り付けないと、落ちるなどして、事故やけがの原因となることがあります。



指示



本体はクレードル以外に置かない

本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やけがの原因となることがあります。



禁止



ヘッドホンで大音量を長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンで耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



禁止



雷が鳴り出したら、電源プラグやUSBケーブル、本体に触れない

感電の原因となることがあります。



禁止



子どもの手の届かない場所に設置する

はずれた部品を飲み込んだり、落としてけがをしたりするなど、事故の原因となることがあります。



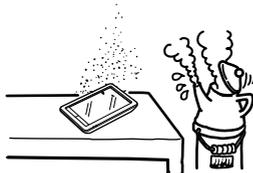
指示

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所への設置や別冊の説明書に記載されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

ヘッドホン使用時に、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。ボリュームは徐々に上げてください。



禁止

ぬれた手でACアダプターやシガー電源コードをさわらない

ぬれた手でACアダプターやシガー電源コードを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードは人が歩く場所に配線しない

電源コードが、人が歩く場所にはみ出ていると、つまずいたり、足をひっかけて落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止



通電中の本体やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

旅行などで長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

長期間電源プラグを差したままだと、火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

アンテナを伸ばして使用するときは人 に向けてない

アンテナを伸ばして使用するときは周囲に充分注意してください。アンテナが他の人に当たり、けがの原因となることがあります。



禁止

本機に強い衝撃を与えない

本機を固いものの上に落としたり強い衝撃を与えたりすると、画面表示部が割れるおそれがありますので、お取扱いには充分注意してください。画面表示部が欠けたり割れたりしたときは、使用を中止し破損部に手を触れないでください。けがをする恐れがあります。



禁止

内蔵電池についての安全上のご注意

電池は使いかたを誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。



- ・電池を水・海水・しょうゆなどで濡らさない。
- ・ストーブなどの熱源のそばに放置しない。
- ・火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しない。
- ・電池に直接はんだ付けをしない。
- ・ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- ・電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
- ・釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしない。



- ・乳幼児の手の届かないところに置く。
- ・電子レンジや高圧容器に入れない。
- ・所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- ・液漏れ、異臭、発熱、変色、変形があるときは使用しない。
- ・電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- ・電池の液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、すぐに医師の治療を受ける。

注意

- ・ 許容温度範囲内で充電する。
- ・ 直射日光の強いところ、炎天下の車内など、高温になる場所に放置しない。
- ・ 静電気(メーカーが保証する値以上)が発生する場所で使用しない。
- ・ 初めて使用の場合に、異臭、発熱などの異常があるときは、使用しないで買い上げ店に相談する。
- ・ 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。

本機の取り扱い

“nav-u”本体を持ち運ぶ場合には

“nav-u”本体をバッグなどに入れて持ち運ぶ場合は、必ず市販の保護ケース(または保護袋)などに入れ、液晶面に強い力が加わらないようご注意ください。

“nav-u”本体、クレードル、FM VICSユニット*のお手入れについて

- ・ 必ず本機の電源を切り、電源プラグまたはシガー電源コードを抜いてから行ってください。
- ・ 画面の汚れを拭きとるときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭きとってください。
- ・ “nav-u”本体、クレードル、FM VICSユニット*は、乾いた柔らかい布、または水をつけて硬く絞った布で軽く拭いてください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジンや、殺虫剤のような揮発性のものは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・ 液体状の洗剤などは使わないでください。“nav-u”本体、クレードル、FM VICSユニット*の内部に入って故障の原因となります。
- ・ 化学ぞうきんを使うと、色落ちや変色することがあります。

* NV-U97VTのみに付属します。

クレードルの吸盤のお手入れについて

吸盤が汚れると、吸着力が低下します。汚れた場合は、付属のスポンジを使って汚れを取り除いてください。柔らかくて毛羽立たない布を水で湿らせ、なでるようにして汚れを取り除くこともできます。

FM VICSユニットのお手入れについて*

粘着シートが汚れると、粘着力が低下します。粘着面が汚れた場合は、柔らかくて毛羽立たない布を水で湿らせ、なでるようにして汚れを取り除いてください。

* NV-U97VTのみに付属します。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴が付くことで、そのまま使うと故障の原因となります。このような場合はリセットボタンを押してしばらく放置しておくことと結露が取り除かれ、正常に戻ります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合は、お買い上げ店やソニーの相談窓口(裏表紙)へご相談ください。

ETC車載機器、無線機、携帯電話、レーダー探知機などについて

本機は、ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機など強い電波を送信したり、受信したりする機器から離れた場所に取り付けてください。これらの機器の近くで本機を使うと、以下のようなことが起きる場合があります。

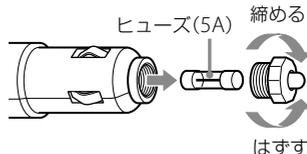
- ・ 本機が正常に動作しない。
- ・ 画像が乱れる。
- ・ 現在地を正しく表示できない。
- ・ ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機などが正常に動作しない。
- ・ ワンセグを受信しづらくなる。

液晶画面の輝点・減点について

画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶画面の性質上発生するものです。本機の画面は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。いずれの場合も使用上、支障はありません。

ヒューズの交換について

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。



内蔵バッテリーについて

内蔵バッテリーを十分に充電しても使える時間が著しく短くなった場合は、内蔵バッテリーが劣化している可能性があります。お近くのソニーの相談窓口へお問い合わせください。

廃棄時のお願い

電池廃棄時のお願い



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池はリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、下記の一般社団法人JBRCホームページを参照してください。

<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

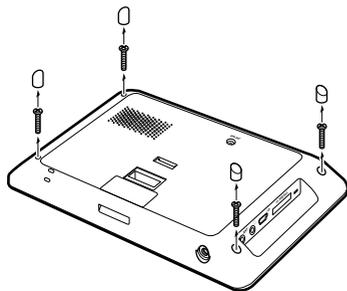
本機を廃棄するときは、下記の手順でリチウムイオン電池を取り出してください。リチウムイオン電池は、リサイクルできます。

ご注意

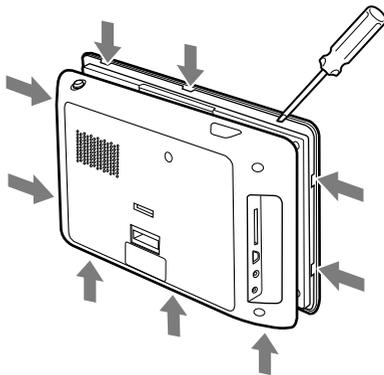
- ・ 廃棄時以外は本機を分解しないでください。
- ・ 廃棄時は、お住まいの自治体の分別方法に従い廃棄してください。

1 “nav-u”本体底面のリセットボタンを押して電源を切る。

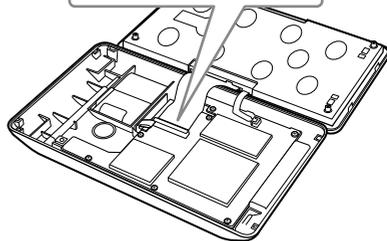
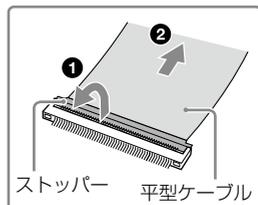
2 “nav-u”本体背面の4つのゴムキャップをはずし、ドライバーで4本のネジをはずす。



3 マイナスドライバーなどでツメをはずし、リアケースをはずす。



4 平型ケーブルをはずす。

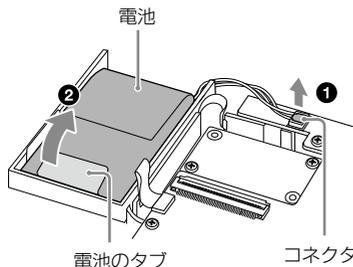


- 1** ストッパーを上に戻します。
- 2** 平型ケーブルを抜きます。

その他

主な仕様

5 電池を取り出す。



- 1 コネクタを上方向に引っ張りはずします。

ご注意

金属製のピンセットなどを使ってはしないでください。

- 2 電池のタブを引っ張り、電池をはずします。両面テープで固定されているので、強く引っ張ってください。

ご注意

ドライバーやピンセットなど先端がとがったものを使ってはしないでください。

リチウムイオン電池についてのご注意

- 取り出した電池は子供の手の届かない所に置いてください。
- 取り出した電池の、その他の注意事項については、「内蔵電池についての安全上のご注意」(168ページ)をご覧ください。

NV-U97VT/U97V

“nav-u”本体

使用温度範囲	5℃～45℃
電源	DC 5V (付属のACアダプター接続時)
消費電流	最大約1.8 A
接続端子	クレードル端子 DC IN 5V端子 USB端子 ヘッドホン端子 外部GPSアンテナ端子 外部ワンセグアンテナ端子

メモリーカードスロット

“メモリースティックデュオ”
スロット(“メモリースティック
PROデュオ”対応)

スピーカー	20×40mmだ円型
外形寸法	約192×115.4×23mm (幅×高さ×奥行き) (突起部含まず)

質量	約440g
----	-------

モニター

種類	液晶カラーモニター
画面の大きさ	7.0V型 154×86、176mm (幅×高さ、対角線)

クレードル

使用温度範囲	5℃～45℃
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
消費電流	最大約700mA (“nav-u”本体接続時)
接続端子	“nav-u”接続端子 DC IN 12V端子 VICS端子

FM VICSユニット(NV-U97VTのみ)

電源電圧	DC12V (NV-U97VTに 付属のクレードル より供給)
消費電流	12V:0.2A(最大)
使用温度範囲	5℃～45℃
外形寸法	約97×15×34mm (幅×高さ×奥行き)

FM VICS用アンテナ(NV-U97VTのみ)

周波数範囲	76MHz～90MHz
出力インピーダンス	50Ω
アンテナケーブル	約2.5m

ケーブル長(NV-U97VTのみ)

VICS接続ケーブル	約500mm
------------	--------

内蔵電池充電時間／使用時間

充電時間	電源を入れた状態で約4時間 (付属のACアダプター、シガー 電源コード使用時) スタンバイ状態で約3.5時間 (付属のACアダプター、シガー 電源コード使用時)
使用時間*	・「スーパースタミナ(画面オ フ)」:約7時間 ・「スタミナ(自動ガイド表示)」: 約3時間 ・「ノーマル(画面オン)」: 約1.5時間

* 測定条件

- ・電池:お買い上げ後、満充電にした状態
- ・音量／画面の明るさ:お買い上げ時の設定
- ・温度:25℃
- ・ルートシミュレーション(擬似ルートガイド状態)で測定

で注意

使用時間は使用状況により短くなる場合があります。

別売アクセサリ

VICSビーコンユニット	NVA-VB6*/VB7/VB8
ビーコンスタンド	NVA-BS6**
カークレードルキット	NVA-CU11J
外部GPSアンテナ	VCA-42
外部ワンセグアンテナ	VCA-121

* NVA-VB6
NV-U97VTに付属されているFM VICSユニットに取り付けます。

** NVA-BS6
NVA-VB6と組み合わせてNV-U97VTに取り付けます。

別売アクセサリについて詳しくは、ホームページで

ご確認ください。
<http://www.sony.jp/nav-u/>

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

困ったときは

困ったときは.....	176
エラーメッセージ.....	184

困ったときは

使用中にトラブルが発生したときは、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

・手順1:本書で調べる

この「困ったときは」をチェックし、該当する項目を調べる。また、「取付と接続」(別冊)にも、いろいろな情報があります。該当する項目を調べてください。

・手順2:“nav-u”関連の下記サポートページで調べる

<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

・手順3:“nav-u”本体をリセットし、再度電源を入れ、症状が改善されたか確認する

ちょっと一言

本機をリセットしても自宅、お気に入り、マーク、編集・設定メニューでの設定項目は保持されます。最後に設定したルートは保存されません。

・手順4:それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

症状	原因および処置
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが確実に接続されていない。シガープラグや各コードが確実に接続されていることを確認してください。(詳しくは、「取付と接続」(別冊)をご覧ください。)シガー電源コードのヒューズが切れている。本書(170ページ)をご確認の上、シガー電源コードのヒューズを交換してください。“nav-u”本体上面のI/⏻ボタンで電源を入れてください。「取付と接続」(別冊)を参考に本機を正しく取り付けてください。ACアダプター(付属)と電源コード(付属)を正しく接続してください。リセットボタンを押してから、“nav-u”本体上面のI/⏻ボタンで電源を入れてください。内蔵電池の残量が少ない。しばらく充電してください。
内蔵電池の充電ができない。	<ul style="list-style-type: none">ACアダプター(付属)で使用しているときは、電源コンセントから電源コード(付属)をはずして、再接続してください。内蔵のリチウムイオン電池の充電可能温度は5℃～45℃です。直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇したり、冬期の使用などで本機内部の温度が低下している場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電しなくなることがあります。<ul style="list-style-type: none">温度が上昇して充電できない場合、充電ランプが点灯しません。温度が低下して充電できない場合、赤色の充電ランプが点灯しますが充電されていません。ACアダプターやシガー電源コードを接続した状態でリセットボタンを押した後は、一度電源を入れないと充電できません。I/⏻ボタンを押して電源を入れてください。(充電中、または満充電されている場合は充電ランプが点灯します。)USBケーブルを使用してパソコンで充電する場合は、本機とパソコンの電源を入れた状態で接続してください。

症状	原因および処置
"nav-u"本体の充電ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> 直射日光などが原因で本機内部の温度が上昇した場合、内蔵電池の劣化を防ぐために充電を中断することがあります。このとき、充電ランプは点灯しません。
タッチパネルが正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 市販の液晶画面保護フィルムは使わないでください。 タッチした位置と反応する位置が大きくずれてきたときは、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[画面]→[タッチパネル調整](92ページ)で、タッチパネルの調整を行ってください。 画面ロックが有効になっている。画面ロックを解除するには、タッチパネルの左側にある現在地ボタンを長押ししてください。
GPSが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> 「現在地表示について」(134ページ)をご覧ください。 障がい物の影響でGPS衛星の電波が受信できない。見晴らしの良い場所に移動してください。 近くにETC車載機器やレーダー探知機などを設置している。強い電波を送信したり、受信したりする機器が取り付けられていると、GPS感度が悪くなったり、誤動作の原因となります。できるだけ離れた場所に取り付けてください。 屋内ではGPS衛星の電波が受信できない。見晴らしの良い屋外の場所に移動してください。 GPSの受信状態が弱い。メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[測位情報](94ページ)でGPSの受信状況を確認してください。 車体の一部がGPSアンテナの受信を妨げている。取り付け位置を変更してください。 熱線防止ガラスの一部にはGPSの電波を通さないものがあります。
現在地がずれる。	<ul style="list-style-type: none"> GPS衛星からの電波の誤差が大きい。誤差は最大で数百メートル生じます。 GPS衛星からの電波が受信できない。「現在地表示について」(134ページ)をご覧ください。
ルートを正しく探索できない。	<ul style="list-style-type: none"> 出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(39ページ)をご覧ください。 探索条件を設定しても、道路状況により条件に合わないルートをひく場合があります。
ガイド音声がか聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さすぎる、または消音になっている。ツールバー上の  をタッチして音量を調整してください。内蔵電池で操作している場合、音量はわずかに小さくなります。 「ガイド音声」が「OFF」になっている。(92ページ)
雑音が多く、音が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> 近くでパソコンや携帯電話などの電気製品を使用している。携帯電話などを本機から離してください。
「渋滞回避オートリルート」を「OFF」にしても、リルートされる。	<ul style="list-style-type: none"> ルートガイド中、以下のような場合には、「渋滞回避オートリルート」を「OFF」にしても、リルート(再探索)されます。 <ul style="list-style-type: none"> －現在地がルートから外れる。 －曜日・時間帯規制のある道路に近づく。 －VICSビーコンユニット(別売)で、光ビーコンの事象規制情報を受信する。

症状	原因および処置
25m表示にしているのに、速度を出すと勝手に50mスケールに切り替わる。	<ul style="list-style-type: none"> 50m未満の縮尺で自車の速度が60kmを超えると、安全確保のために自動で縮尺を50mにします。 表示している位置の該当縮尺における地図データがない場合は、データが存在する広域縮尺に自動で変更されます。
画面が正常に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 高温時は画面が暗くなったり、ぼやけたりします。低温時は表示が遅れることがあります。これらの症状は、本機が使用温度範囲に戻ると正常に戻ります。 オートディマースенサーを手などでふさいでいないか確認してください。オートディマースенサーの位置については、「各部の名前とはたらき」(14ページ)を参照してください。
画面が突然消える。	<ul style="list-style-type: none"> 「省電力モード(画面オフ)」の項目が「スーパースタミナ(画面オフ)」または「スタミナ(自動ガイド表示)」になっている。画面をタッチすると、画面が再点灯します。(92ページ) 画面を常時点灯させたい場合は、メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→「省電力モード(画面オフ)」(92ページ)で「ノーマル(画面オン)」を選んでください。
メニュー操作が行えず、走行中を示すメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 安全のため走行中は以下の操作ができません。操作は安全な場所に停車して行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> - メニュー - 画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させる → 「ナビ」 → 「マーク登録」の「名称」、「よみ」、「グループ」、「マークアイコン」、「サウンド設定」 - 「マーク編集」 - 「ナビモード切替」 - 画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させる → 「最寄」 - 画面下部の住所または道路名称をタッチしてツールバーを表示させる → 「行き先」
時刻の合わせかたがわからない。	<ul style="list-style-type: none"> GPS衛星からの電波を受信したり、ワンセグを受信すると、正しい時刻に自動で調整されます。手動での時刻調整は必要ありません。
何も操作していないのに、デモンストレーションが始まる。	<ul style="list-style-type: none"> 「オートデモスタート」が「ON」になっている。メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→「デモンストレーション」→「オートデモスタート」(22、94ページ)を「OFF」にしてください。
“メモリースティックデュオ”(別売)が読めない。	<ul style="list-style-type: none"> “メモリースティックデュオ”(別売)を数回抜き差ししてください。 “メモリースティックデュオ”(別売)のデータをパソコンなどにコピーしてから初期化してください。(94ページ)
クレードルの吸盤の吸着力が低下した。	<ul style="list-style-type: none"> 吸盤が汚れると、吸着力が低下します。吸盤の吸着面が汚れた場合は、付属のスポンジを使って汚れを取り除いてください。柔らかくて毛羽立たない布を水で湿らせ、なでるようにして汚れを取り除くこともできます。
FMVICSユニットの粘着シートの粘着力が低下した。(NV-U97VTのみ)	<ul style="list-style-type: none"> 粘着シートが汚れると、粘着力が低下します。粘着面が汚れた場合は、柔らかくて毛羽立たない布を水で湿らせ、なでるようにして汚れを取り除いてください。

症状	原因および処置
音楽ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ音楽ファイルの入った“メモリースティックデュオ”（別売）を挿入しておく必要があります。 • 音楽ファイルやフォルダーの名前が長すぎたり、階層が深すぎると認識されない場合があります。拡張子を含めた音楽ファイル名と、その音楽ファイルが保存されているフォルダーのアドレスを足して、半角233文字以下になるように、名前を短くしたりフォルダーの階層を減らしてください。フォルダーのアドレスは、Windows エクスプローラーのアドレスバーで確認することができます。 • 本機では、以下の音楽ファイルを再生できます。 <ul style="list-style-type: none"> MP3形式 <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: mp3 – サンプル周波数: 32/44.1/48kHz – ビットレート: 32kbps ~ 320kbps、可変ビットレート (VBR) 対応 ATRAC形式* <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: oma – サンプル周波数: 44.1kHz – ビットレート: 48kbps ~ 352kbps (66、105、132kbpsはATRAC3) – 非暗号化ファイルのみ ATRAC Advanced Lossless形式* <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: oma – サンプル周波数: 44.1kHz – ビットレート: 64kbps ~ 352kbps (132kbpsはATRAC3 base layer) – 非暗号化ファイルのみ WMA形式* <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: wma – サンプル周波数: 44.1kHz – ビットレート: 32kbps ~ 192kbps、可変ビットレート (VBR) 対応 リニアPCM形式 <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: wav – サンプル周波数: 44.1kHz – ビットレート: 1,411kbps AAC形式* <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: m4a、3gp – サンプル周波数: 8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48kHz – ビットレート: 16kbps ~ 320kbps、可変ビットレート (VBR) 対応 HE-AAC形式* <ul style="list-style-type: none"> – 拡張子: m4a、3gp – サンプル周波数: 24kHz – ビットレート: 32kbps ~ 144kbps、可変ビットレート (VBR) 対応 <p>* 著作権保護されているファイルは再生できません。</p> <p>ご注意</p> <p>すべてのエンコーダーには対応していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 音楽機能の起動中に、ワンセグの録画が始まると、録画ランプが赤色に点灯し、地図画面または録画中のワンセグ視聴画面に切り替わります。録画中は、音楽機能を使用できません。ワンセグの録画について詳しくは、「ワンセグを録画する」(105ページ)をご覧ください。

症状	原因および処置
ビデオファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • あらかじめビデオファイルの入った“メモリースティックデュオ”（別売）を挿入しておく必要があります。 • 本機では、以下のビデオファイルを再生できます。 最大画サイズ – WQVGA (480×272) 形式 – おでかけ転送* – 拡張子: mgv、mp4 – ワンセグビデオ* (録画機: NV-U97VT/U97V/U77VT/U77V/U76VT/U76V/U75V、PSP) – 拡張子: ets – AVC Baseline Level 3形式 – 拡張子: mp4、m4v – 最大ビットレート: 10 Mbps – MPEG4 Simple Profile形式 – 拡張子: mp4、m4v – 最大ビットレート: 平均4 Mbps (ピーク時 6 Mbps) – VC1 Simple Profile/Main Profile形式 – 拡張子: wmv – 最大ビットレート: 平均3 Mbps (ピーク時 6 Mbps) <p>* おでかけ転送、ワンセグ録画で使用できるのは、“メモリースティックPROデュオ”のみです。</p> <p>ご注意</p> <p>すべてのエンコーダーには対応していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ機能の起動中に、ワンセグの録画が始まると、録画ランプが赤色に点灯し、地図画面または録画中のワンセグ視聴画面に切り替わります。録画中は、ビデオ機能を使用できません。ワンセグの録画について詳しくは、「ワンセグを録画する」(105ページ)をご覧ください。
ビデオファイルがコマ落ちする。	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオファイルによっては、コマ落ちなどが発生する可能性があります。
ビデオファイルの再生中に、画面のサイズが突然変わる。	<ul style="list-style-type: none"> • 「画面サイズ」を「ノーマル」、「フル」にして、ビデオファイルを再生している場合、ビデオファイルによっては本機の負荷が大きくなる場合があります。このような場合、画面サイズが自動的に「オリジナル」に切り替わります。画面サイズの設定について詳しくは、「設定を変更する(設定メニュー)」(121ページ)をご覧ください。
写真ファイルを表示できない。または認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ写真ファイルの入った“メモリースティックデュオ”（別売）を挿入しておく必要があります。 • フォルダー名やフォルダー構成が間違っていると認識されません。フォルダー名やフォルダー構成が正しいか、また写真ファイルが「DCIM」フォルダーの中に入っているか確認してください。(122ページ) • 「DCIM」フォルダーの「DCIM」が、半角で入力されているか確認してください。 • 本機に対応していない種類の写真は認識されません。本機で再生できる写真ファイルは、2,460万画素以下のJPEG形式(拡張子JPG、JPEG)のみです。(122ページ) • 写真のファイルサイズによっては、表示できないことがあります。 • パソコンで“メモリースティックデュオ”（別売）内のファイル名やフォルダー名を変更すると認識されないことがあります。 • パソコンで加工した写真は、表示できないことがあります。

症状	原因および処置
ワンセグの映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 走行中は安全のため音声のみ出力され、映像は表示されません。走行中にドライバー以外の方がワンセグを視聴する場合は、“nav-u”本体をクレードルからはずしてご覧ください。 • ホイップアンテナを伸ばしきってください。 • 視聴している場所、地域がワンセグの放送エリアではない。ワンセグの放送エリア内で視聴してください。ワンセグ放送およびサービスエリアの詳細については、Dpa(社団法人デジタル放送推進協会)のホームページ(http://www.dpa.or.jp/)をご覧ください。 • 電波の受信状態が悪い場所では、ワンセグを視聴することはできません。電波の受信状況が良好かどうか確認してください。 • 電波が弱い。電波が弱いと、コマ落ちしたり急に暗くなったりすることがあります。ホイップアンテナの角度を調節してください。 • 屋内で使用している。鉄筋造りのビルなどでは電波が受信しにくくなります。窓際や屋上など電波を受信しやすいところでお使いください。 • 金属製の机や台の上に設置している。電波を受信しにくくなりますので、設置場所を移動してください。 • 正しいチャンネル設定が行われていない。再度チャンネルを設定してください。チャンネル設定について詳しくは、「チャンネルリストの設定を変更するには」(104ページ)をご覧ください。 • 外部ワンセグアンテナ(別売)を使用している場合は、確実に接続されているか確認してください。 • 受信地域が変わると映像が写らない場合があります。「チャンネルスキャン」もしくは、「地域選択」をしておってください。(103ページ) • 放送エリア内であっても、地形や建物などによって電波がさえぎられる場合や、電波の伝わりかた、本機を置く場所や向きなどによっては、ワンセグを視聴できないことがあります。
特定の放送局が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 正しいチャンネル設定が行われていない。再度チャンネルを設定してください。チャンネル設定について詳しくは、「チャンネルリストの設定を変更するには」(104ページ)をご覧ください。
字幕が表示されない、または二重音声などが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 視聴している番組が字幕表示、二重音声などに対応していません。 • 字幕表示、二重音声などに対応しているのは、本機で録画したワンセグビデオのみとなります。
番組表の数が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> • 放送局または時間帯によって、番組表の数が少なくなることがあります。
ワンセグの録画ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • 以下のときは録画ができない、または録画が正しく行われないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> － 受信状況が良くない場合 － ワンセグの受信ができない場合 － USB接続をしている場合 － 本機の電池残量が少ない場合 － “メモリースティックPROデュオ”(別売)以外の“メモリースティック”(別売)を挿入している場合 － すでにワンセグビデオが3,200件ある場合 • 予約が重複していた。予約が重複した場合は優先順位に従って録画をするので、優先順位の低い予約は、番組の一部またはすべてが録画されません。(107ページ) • 電池を使い切った状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされ録画予約が正しく動作しないことがあります。 • “メモリースティックデュオ”(別売)に録画できる空き容量がありません。新たに録画する場合は、ビデオファイルを削除してください。(120ページ)

症状	原因および処置
ワンセグの予約登録ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • 予約が100件登録されている。本機で登録できる予約件数は最大100件です。新たに予約を登録する場合は、現在登録済みの予約を削除してください。(109ページ)
録画できなかった番組一覧の原因に「USB接続中・電池残量不足など」と表示されている。	<ul style="list-style-type: none"> • 録画できない原因として、以下の可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> – USB接続をしている場合 – 本機の電池残量が少ない場合 – 録画予約が重複している場合 • 予約が重複していた。予約が重複した場合は優先順位に従って録画をするので、優先順位の低い予約は、番組の一部またはすべてが録画されません。(107ページ) • 電池を使い切った状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされ録画予約が正しく動作しないことがあります。
録画したワンセグビデオがコマ落ちしている、または正常に再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 録画時の電波が弱い。電波が弱いと、コマ落ちしたり急に暗くなったりすることがあります。録画する場合は、ワンセグ放送の受信状態を良くしてください。(145ページ) • 予約が重複していた。予約が重複した場合は優先順位に従って録画をするので、優先順位の低い予約は、番組の一部またはすべてが録画されません。(107ページ) • 電波の受信状況が良くない状態で録画されたタイトルを再生した。受信できなかった部分で再生中に画像や音声がとまったり乱れたりする場合があります。録画する場合は、できるだけワンセグの受信状態を良くしてください。(145ページ) • 電波の受信状況が良好な状態で録画されたビデオファイルが、再生中に画像や音声が止まったり乱れたりする。正しく記録されています。早戻しなどの操作をして、もう一度再生をしてください。
以前録画したワンセグビデオがなくなっている。	<ul style="list-style-type: none"> • 上書き録画の設定がされている可能性がある。「上書き録画設定」を「ON」にして録画予約をしている場合、「上書き録画設定」を「OFF」にしてください。(108ページ)
FM VICS情報を受信できない。 (NV-U97VTのみ)	<ul style="list-style-type: none"> • FM VICSユニットが正しく接続されていないと、FM VICS情報を受信できません。接続状態は下記の手順で確認できます。 <ul style="list-style-type: none"> メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[機器情報](94ページ)をタッチします。正しく接続されている場合は、「VICSユニット:接続(FM)」と表示されます。「未接続」と表示されている場合は、正しく接続されていません。 <ul style="list-style-type: none"> – クレードルとFM VICSユニットをVICS接続ケーブルで接続してください。 – “nav-u”をクレードルに取り付け、クレードルにシガー電源を接続してください。 – 車のエンジンをかけてください。シガー電源コードのランプが緑色に点灯します。点灯しない場合はシガー電源コードを接続しなおしてください。 • VICS接続ケーブルの抜き差しを行ってください。 • リセットボタンを押してください。 • VICSセンター側のメンテナンスにより、VICS情報が停止している場合があります。

症状	原因および処置
<p>FM VICS情報を受信しづらい。 (NV-U97VTのみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> VICS受信状況は下記の手順で確認できます。 メニューボタン→[設定]タブ→「交通情報」→「VICS放送局選択」(91ページ)をタッチします。  <p>電波の強さのレベルはアンテナのマークで表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> FM放送を受信するとFM放送局名が表示されますが、VICS情報の取得を完了するには時間がかかる場合があります。 VICS情報を取得できるエリアは音声放送に比べて狭いため、FM放送局名が表示されたりFM放送を聞くことができても、VICS情報を取得できないことがあります。 VICS情報の取得が完了すると、地図画面の左下にVICS FMのマーク  が表示されます。 VICS情報に渋滞情報がない場合は地図上に渋滞表示が出ません。 アンテナマークの位置に「圏外」と表示されている場合は、FM放送の受信しにくい場所にいるか、放送局から離れている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> FM VICSアンテナが正しい位置に正しく取り付けられているかを確認してください。車種によっては、電波を通さないガラス(熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透過ガラスなど)を使用している場合、受信感度が低下する場合があります。

エラーメッセージ

メッセージ	原因および処置
地図データが壊れています。	このメッセージが表示されたときは、nav-uツール(PCアプリケーション)を使用して地図データを再転送することで修復することができます。 それでも解決できなかった場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。
本体の地図データを読みませんでした。	
地図データがありません。	
検索中に不具合が発生しました。 地図データを入れ替えてください。	
フォーマットに失敗しました。	“メモリースティックデュオ”(別売)が壊れているか、フォーマット中に抜いた可能性があります。再度フォーマットするか、他の“メモリースティック”(別売)対応機器でフォーマットしてください。再度フォーマットしてもエラーメッセージが表示される場合はソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。
このグループは名称変更、削除できません。	「未設定」グループは、マーク登録時にグループを設定しなかった場合に標準で付与されるものです。「未設定」グループは名称変更したり削除することができません。
ファイル名として使用できない文字列を指定しています。	Windowsで取り扱えない文字列を指定しています。別の名前を指定してください。
ファイルアクセス中にエラーが発生しました。	途中で“nav-u”本体とパソコンの接続が途切れた可能性があります。接続を確認して再度実行してください。
マークデータが正常に読み込めません。	正しいマークデータではない可能性があります。nav-uツール(PCアプリケーション)で作成したマークファイルか、“nav-u”本体で作成してエクスポートしたマークファイルのみをお使いください。
メモリースティックからデータが読み出せません。 正しく挿入されていないかデータが壊れている可能性があります。	“メモリースティックデュオ”(別売)のデータが壊れています。nav-uツール(PCアプリケーション)を使ってデータを転送してください。
目的地に到達するルートを見つけることができません。ルート設定地点を変更してください。	出発地と目的地の位置関係や、交通規制情報などによっては、正しいルートが表示されなかったり、ルート探索できないことがあります。詳しくは、「正しいルートが見つからないときは」(39ページ)をご覧ください。
このコンテンツは再生できません。	本機では再生できない形式のファイルです。再生できるファイル形式については、「音楽ファイルを転送する」(114ページ)、「ビデオファイルを転送する」(117ページ)、「パソコンの写真ファイルを転送するには」(122ページ)をご覧ください。
ビデオの再生負荷が高いため、画面サイズ変更します。	画面サイズを「ノーマル」、「フル」にして、ビデオファイルを再生している場合、ビデオファイルによっては本機の負荷が大きくなる場合があります。このような場合、画面サイズが自動的に「オリジナル」に切り替わります。画面サイズの設定について詳しくは、「設定を変更する(設定メニュー)」(121ページ)をご覧ください。

索引・付録

索引.....	186
ジェスチャー操作一覧.....	190

あ

アイコンサイズ 98
アウトドア地図 80
アウトドアモード 75
明るさ調整 92
案内 96
案内前のルート確認 97

い

行き先 70
「行き先」メニュー 45
一般高速切替 69
一方通行 98
移動距離 67
移動速度と高度 98
インポート 88, 90
インポート
(アウトドアモード) 78
インポート
(交通規制情報) 100

う

右折／左折専用車線 96

え

エクスポート 90

お

オートディマーセンサー 14
オートデモスタート 94
音楽起動／終了
(ツールバー) 66
音楽を聞く 113
音声案内 96
音声信号(ワンセグ) 110
音声信号(ワンセグビデオ)
121
音量 92

音量(ツールバー) 70

か

ガイド音声 92
ガイド再開 69
ガイド終了 69
ガイドブックで探す(「行き先」
メニュー) 48
ガイドブックで探す(「最寄検
索」メニュー) 60
ガイドブックを見る 111
外部GPSアンテナ端子 15
外部ワンセグアンテナ端子 15
画面 92
画面サイズ(ビデオ) 121
画面サイズ(ワンセグ) 110
画面中心の住所表示(スクロー
ル時) 93
画面ロック 73
カロリー計算設定 94
かんたん最寄で探す 61

き

キーボードの切替 93
機器情報 94
季節規制考慮 96
機銘板(“nav-u”本体) 15
機銘板(クレードル) 16
吸盤 16
吸盤LOCK/RELEASEレバー
16
吸盤PUSHボタン 16
吸盤保護カバー 16

く

区間ごとの条件変更 86
繰り返し再生(音楽) 116
繰り返し再生(写真) 124
繰り返し再生(ビデオ) 120
グループ削除 90

グループ新規作成 90
グループ並べ替え 90
グループの編集 90
グループ(マーク) 89
グループ名称変更 90
クレードル接続端子 15

け

経過時間 67
経由地 39, 45, 69, 86, 88
経由地
(アウトドアモード) 77, 78
経由地スキップ 69
現在地 20
現在地(アウトドア地図) 81
現在地から 63
現在地ボタン 14
現在ルート消去 87, 88
現在ルート編集 86, 87, 88
検索範囲 63

こ

広域画面 32
交差点拡大図 96
高速情報アイコンの例 140
交通規制 100
交通情報 91, 100
交通情報地図表示 100
勾配 82
合流 96
この地点から 63
困ったときは 176

さ

最高速度 67
再生画面 68
サウンド設定 89
サウンドテーマ切替 92
削除(ビデオ) 120
グループ削除 90

し
ジェスチャー操作 190
市街詳細地図の表示 98
時刻の調整 21, 95
事故多発地点 96
自転車位置変更 95
システム初期化 94
システム設定 92
施設アイコン 90
「自宅/お気に入り」
メニュー 63
自宅/お気に入り編集 91
自宅登録 36, 94
自動縮尺変更 99
自動スタンバイ(30分) 93
自動選局 91
自動調整 92
字幕表示(ワンセグ) 110
字幕表示設定
(ワンセグビデオ) 121
車種設定 92
写真を見る 121
シャッフル(音楽) 116
シャッフル(ビデオ) 120
ジャンルで探す
(「行き先」メニュー) 49
ジャンルで探す
(「最寄検索」メニュー) 58
住所で探す 45
住所表示 93
渋滞回避オートリルート 100
渋滞予測探索 100
充電する 17
充電ランプ 14
縮尺 32
出発地を変更する 87
出発日時(日時を指定してルー
トを探索) 57

手動選局 91
詳細画面 32
詳細情報(音楽) 116
詳細情報(ビデオ) 120
省電力モード(画面オフ) 92
消費カロリー 67
情報(小)+地図 67
情報(大)+地図 67
自律航法 134
新規ルート作成 87, 88
信号 98

す
スーパースタミナ
(画面オフ) 92
ズームスクロール 98
スクロール 30
スタミナ(自動ガイド表示) 92
スピーカー 15
スポット 111
スマートIC考慮探索 96
スライドショー 123
スライドショー再生範囲 124
スライドショーの間隔 124
スライドショーリピート 124

せ
積算距離 67
積算距離初期化 95
設定 92
選局自動切替 91

そ
走行軌跡 98
走行軌跡の消去 98
操作音 92
測位情報 94
速度 67

た
タッチパネル 15
タブ 16
探索開始 87, 88
探索条件 96

ち
地図 68
地図+地図 68
地図カラー 98
地図記号 98
地図について 136
地図の向きを変更する 33
地図の向きを変更する
(徒歩モード) 73
地図表示 98
地図表示記号の例 140
地点自動並べ替え 87
地点履歴 55, 56
チャンネルスキャン 103
チャンネルリストの設定を
変更 104
注意案内 96
注意地点 96
昼夜カラー自動切替 98

つ
追加(経由地) 86, 88
ツールバー 65
ツールバー表示(地図) 93

て
テーマ切替(メニュー) 92
デモ開始 94
デモンストレーション 94
電源の状態 44
電池の充電時間/
使用時間 72, 76

電池の状態 28
電話番号で探す 46

と
到着日時(日時を指定してルートを探索) 57

到着予想時刻 28
道路幅 98
都市高速入口案内表示 97
徒歩モード 71
徒歩ルート探索条件 96

な
内蔵GPSアンテナ 14
ナビ 69
ナビモード切替 91
並べ替え(写真) 124

に
二重音声(ワンセグ) 110
二重音声
(ワンセグビデオ) 121
日時指定 57
日時を指定してルートを探索 57
入力文字の自動確定 93

の
ノーマル(画面オン) 92

は
バージョン情報 95
ハイウェイマップ 41
ハイウェイマップ表示 97
パソコンとの接続 129
バックアップ 7, 90
早見再生 120
ハンドストラップ穴 15

ひ
ビーコン図形情報 91
ビーコン文字情報 91
ビデオ起動/終了
(ツールバー) 66
ビデオファイルを削除する 120
ビデオを見る 117
標高グラフ 81
標高グラフ表示 93
表示切替 66

ふ
フェリー考慮 96
踏切 96
フラッシュメモリー 7
プリセットスケール 98

へ
平均速度 67
平均速度の停止時間考慮 95
ヘッドホンジャック 15
編集・設定メニュー 86

ほ
ホイップアンテナ 14
方面看板表示 96
保存ルートで探す 57
保存ルート呼出 87
本体検知部 16

ま
マークアイコン 89
マーク削除 89
マークで探す 53
マーク登録 69, 70
マークの表示 98
マークの編集 89
マーク編集 69, 89, 90
マップマッチング 134

め
名称で探す
(「行き先」メニュー) 51
名称で探す
(「最寄検索」メニュー) 59
メニュー画面 44
メニューボタン 14
“メモリースティック” 147
“メモリースティック”
アクセスランプ 15
“メモリースティックデュオ”
スロット 15
“メモリースティック”の
初期化 148

も
目的地
(アウトドアモード) 77, 78
目的地周辺 63
目的地方向 63
文字サイズ 98
文字入力 26
「最寄検索」メニュー 58
最寄 70

ゆ
郵便番号で探す 45

よ
よみ順 89

り
リアル交差点ガイド表示 97
リストア 90
リセットボタン 15
立体ランドマーク 98
立体ランドマークの例 140
リピート(音楽) 116
リピート(ビデオ) 120
履歴で探す 55
履歴を消去 56

る

- ルート確認 70
- ルートカラー 99
- ルートシミュレーション
65, 93
- ルート詳細 64
- ルート探索条件 86
- ルートのインポート 99
- ルートの自動再探索 40, 71
- ルートの編集 86, 88
- ルートを保存 57

ろ

- 録画ランブ 14

わ

- ワンセグ起動／終了
(ツールバー) 66
- ワンセグを見る 102
- ワンセグを録画する 105

アルファベット

D

- DC IN 12V端子 16
- DC IN 5V端子 15

E

- EPG(電子番組表) 104

F

- FM-VICS図形情報 91
- FM-VICS文字情報 91

G

- GPS 134
- GPS衛星 134
- GPS受信確認 94
- GPSログ 83
- GPSログ設定 94

M

- M.S.フォーマット 94

N

- “nav-u”接続端子 16
- nav-uツール 126

P

- PCアプリケーション 126
- PetaMap 111

R

- RELEASEボタン 16

S

- SA/PA 100

U

- USB端子 15

V

- VICS 141
- VICS交通情報考慮探索 100
- VICS端子 16
- VICS放送局選択 91
- VICSポップアップ 100

数字

- 2D/3Dマップ切替
(全画面) 98
- 2D/3Dマップ切替
(2画面) 98
- 2画面表示 35

記号

- I/O(パワーオン／スタンバイ)
ボタン 14

ジェスチャー操作一覧

画面に円や直線を描くようにタッチすると(ジェスチャー操作)、よく使う機能を簡単に使えます。ジェスチャーは、画面に指を確実にあてた状態で大きく描いてください。

アプリケーション	機能	ジェスチャー操作
ナビゲーション	プリセットスケールに変更する	
	自宅までのルートを探索する(「自宅」が登録されている場合のみ)	
	までのルートを探索する(「★1」(お気に入り1)が登録されている場合のみ)	
	までのルートを探索する(「★2」(お気に入り2)が登録されている場合のみ)	
ワンセグを見る	表示サイズを変更する(フル/オリジナル)	
	チャンネルを切り替える(チャンネルが設定されている場合のみ)(チャンネル-/+)	
	受信可能な放送局を探しチャンネルを切り替える(シーク-/+)	
ガイドブックを見る	スポット詳細画面でページ送りする(1ページ前/1ページ後)	 (画面上部のタイトル部で操作する)
音楽を聞く	操作パネルの表示/非表示	タッチする
	頭出しする(1つ前/1つ後)	
	フォルダーを切り替える(1つ前/1つ後)	
ビデオを見る	操作パネルの表示/非表示	タッチする
	頭出しする(1つ前/1つ後)	
	フォルダーを切り替える(1つ前/1つ後)	
写真を見る	スライドショーを始める(操作ボタンが表示されている場合のみ)	タッチする
	別の写真に変更する(1つ前/1つ後)	
	フォルダーを切り替える(1つ前/1つ後)	

ご注意

十字カーソルが表示されているときは、ジェスチャー操作は使えません。ジェスチャー操作は、現在地ボタンをタッチしてから行ってください。

